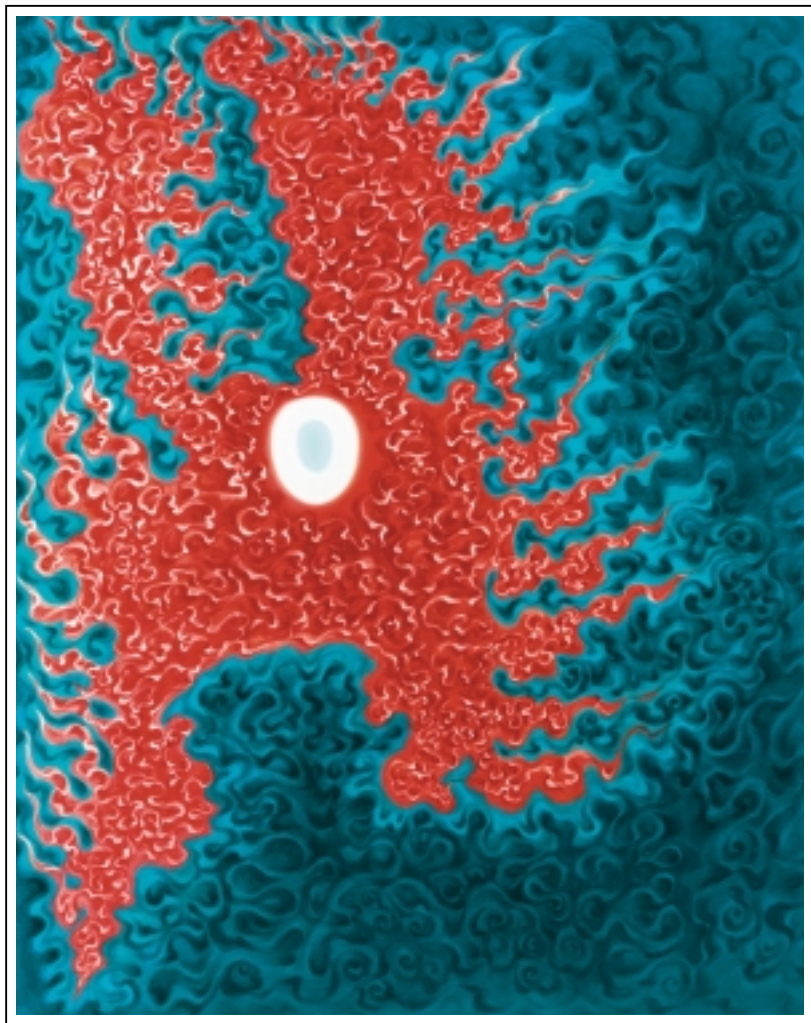


# 人類の目覚め



ベンジャミン・クレーム 著 石川道子 訳



この書を敬愛する我が師に捧げる。  
オーバーシャドウによる師の臨在が  
そのインスピレーションである。

人類の目覚め 目次

謝辞 3

著者序文 11

「新たなる奉仕」覚者による記事 20

人類の目覚め 24

カリユガ 24

控えめな発言 32

目的と意味 35

歎び 38

自己尊敬 43

神聖の気 48

復興 50

教育の仕事 59

慎ましい誇り 64

マイトレイヤの公の出現 67

マイトレイヤと覚者方の働き方 104

何をなすべきか 137

教えの勉強と実践 168

予想される出来事 現在および近未来 187

「最初のステップ」覚者による記事 202

「人の子」覚者による記事 205

マイトレイヤの手形（写真） 210

光のパターン（写真） 212

伝導瞑想について 214

大祈願 216

新しい時代の祈り 218

語彙集 220

ベンジャミン・クレームの著書 236

参考文献 244











ベンジャミン・クレーム



## 著者序文

本書『人類の目覚め』は二〇〇七年に出版された『全人類のための世界教師』の姉妹編のような意図で作成された。前書では、全人類のための世界教師として人間の日常生活に出て来られるキリスト・マイトレイヤの特質<sup>II</sup>計り知れない愛と智慧と力を備えた人類史上比類のない偉大なるアバターであり、そしてわれわれすべての友であり兄である方について、そして彼の出現から派生する多くの効果についてかなり詳しい検討がなされた。

『人類の目覚め』はマイトレイヤがアクエリアス（宝瓶宮）の時代の世界教師として公に御自身を人類の前に現して、全人類に同時に語りかける日、「大宣言の日」に焦点を当ててまとめられた。私の師である覚者が、その日に予想される人類の反応を感動的に綴られた記事「新たな奉仕」とそれについての私の注釈が掲載された。その記事は以前に出版された『マイトレイヤの使命』第三巻の第三章に掲載されているが、人類史上前例のないこの出来事の重大さにあらためて読者の注目を喚起すべく、ここに再収録した。その後

続く質疑応答は、シエア・インターナショナル誌に載せられた記事の中から特にマイトレーヤの出現と大宣言に関連するもの、および覚者がこの記事の中で強調されている事柄に関連するものを中心に掲載した。幾つかの例外を除いて、いまだ書物として出版されていないものである。

キリスト・マイトレーヤの降臨の理由やマイトレーヤが御自身に課せられた途方もない仕事の特質、彼が注目を向けられる優先事項についてより詳細に吟味された記事「マイトレーヤの優先事項」(『マイトレーヤの使命』第三巻、第一章)も是非参照されることをお勧めしたい。

私の東京講演(二〇〇七年)の中から、マイトレーヤの公の出現と大宣言の日に関わる部分の説明のみを抜粋して次に掲載したが、この情報の全体像の詳細に関しては、『全人類のための世界教師』の序説を参照されたい。

## マイトレーヤの出現

世界の株式市場が崩壊するとき、それが最終的な崩壊であることが明確になるや否や、マイトレーヤは世界の公の場に姿を現すだろう。アメリカのある主要ネットワークテレビの招待に応じて、インタビュアーに姿を現すだろう(すでに招待は出されており、出演のタイミ

ングはマイトレイヤが決められる。その後、日本をはじめ、世界のあらゆるネットワークがこの途方もない人物とのインタビューを申し込むだろう。しかし彼は、マイトレイヤとかキリストとしてではなく、単に一人の男として、途方もない智慧と愛を備えた人物として、教師としてテレビに現れるだろう。

マイトレイヤは宗教の教祖として来られるのではなく、靈的（スピリチュアル）教師として来られる。われわれは靈的とは何かについての見解を広げなければならぬ。生活のすべての側面を靈的なものにしなければならない。現代の問題は、生活のすべての側面が商業化されていることにある。世界の市場フォース（エネルギー）がわれわれのなすことすべてに浸透している。商業至上主義は世界にとって原子爆弾よりも危険であると、マイトレイヤは言われる。

われわれが世界の資源を公平に分かち合うとき、瞬く間に戦争やテロは過去のものとなり、信賴の状況が生まれるだろう。信賴があるとき、人類は共に座して、あらゆる問題に対する答えを徹底的に検討することができるようになる。

マイトレイヤはこのようなことを、より雄弁に、しかもより単純に語るだろう。そのような方を探しなさい。そしてもし彼が真実を語っていると思うならば、彼に従い、先頭に

立つて自分を変え、犠牲を行う者になりなさい。十分に大勢の人々が、マイトレーヤではなく、マイトレーヤの考え方に、アイディアに、助言に従うとき、彼は全世界に向けて話をするだろう。その日を「大宣言の日」と呼ぶ。その日に、マイトレーヤは世界中すべてのテレビの画面に同時に（地域によって時間は異なるが）姿を現し、御自分の本当の御身分を明らかにして、世界全体に向けて話をされるだろう。それはわれわれの人生の中で最も劇的な感動的な体験であり、その規模において人類歴史上最大の比類なき出来事となるだろう。

人々はあらかじめマスコミに予報された時間にテレビのスイッチを入れ、それまでにはよく知られるようになっていいる人物であるマイトレーヤのお顔を画面に見るだろう。キリスト教の聖典に述べられているように「すべての目が彼を見る」のである。マイトレーヤは全知遍在であり、全世界をオーバーシャドウして、世界中のすべての大人たちと思念伝達（テレパシー）によるコミュニケーションを行うだろう。マイトレーヤの声は聞こえないだろう。すべての人間がマイトレーヤの思考を、アイディアを、希望を、計画を、沈黙のうちに分れたち自身の母国語で心のうちに内的に聞くだろう。日本人は日本語で、フランス人はフランス語で、ドイツ人はドイツ語で、中国人は中国語でというように。

彼は世界の歴史について簡単に述べ、人類がいかに年を経た存在であるか、この時点まで進化するのにいかに長い間かかっているかを、そして人類の前方に横たわるものを、未来の科学を示されるだろう。われわれが非常に高位のレベルから、物質主義の中にとつぷりと浸かったこのレベルにまで落ちてしまったことを示し、分かち合いの原則を受け入れて、ひとつの兄弟同胞感を表すことで、再び、競争ではなく一体性につながる豊的な道を歩むことができることを示してくださいさるだろう。

新しい時代、統合の時代とはそのことである。統合とは分離分裂した様々な部分を共に引き寄せ、一体性を、和合をつくることを意味する。それが進化の過程の目標であることが分かるだろう。多様性の中の和合、遍満する和合の中の最大の多様性である。

マイトレーヤの思いが伝えられている間、彼の体現する愛のエネルギーが途方もない力ですべての人間の心（ハート）に流れ込むだろう。これが彼の呼びかけに対して直観的な心（ハート）からの反応を呼び起こすだろう。そして肉体のレベルでは世界中で何千人もの人々が病の自然な奇跡的な治癒を体験するだろう。この三つの方法で、この方が、この方がこそが仏教徒の待望するマイトレーヤ仏陀、弥勒菩薩みろくぼさつ、キリスト教徒の待望するキリスト、イスラム教徒のイマム・マーディ、ヒンズー教徒にとつてのクリシュナ、またはカルキア

バター、ユダヤ教徒にとってのメシア、あるいは世界教師、どのような名前で待望されていようと、この方こそが自分たちが待ち望んできた方と知るだろう。その日が人類の未来のすべてを規定するだろう。

二〇〇八年三月　　ロンドンにて　　ベンジャミン・クレーム

「間もなく、世界はその直中に壮麗なる輝きを見るだろう。間もなく、人間はマイトレーヤの姿に歓喜の涙を流すだろう。間もなく、彼らは救助の仕事を自分たち自身で担い、人間の真の和合を確立するだろう。かくなるだろう」

〔覚者の記事　『偉大なる主、お出まし給う』より〕







# 人類の目覚め

# 新たなる奉仕

## 覚者による記事

人類がキリストを見るまでの時間は実に短いゆえに、その重大な出来事に対する予想される反響をいくらかでも考慮しておくことは賢明であろう。第一に、人間は新しい状況に、全く未知の不思議な状況に目覚めるだろう。生きている人間の経験の中でそれに似たようなものは何もないだろう。その特別の日に思考が放送されるのを、以前に聞いたことのある人間はどこにもいないだろう。人間が彼らの神性への呼びかけを、地上における彼らの存在へのチャレンジ（挑戦）を聞いたことはかつてないだろう。そのひとときの間、各人が一人ずつ、厳肅に、独りで、自分の人生の目的と意味を知り、幼年時代の恵みを、自我欲に汚されていない志向の純粹さを、新たに経験するだろう。これらの貴重な数分の間、人間はいのちのリアリティ（実相）に完全に参加することの喜びを新たに知り、遠い過去の記憶のように、お互いがつながり合っていることを感じるだろう。

突然、人間は今までの自分たちの人生が薄っぺらなものであり、人生を貴重なものにするすべてのこと 同胞愛と正義、創造性と愛 が大多数の者にとって欠けていることを悟るだろう。多くの者は初めて、自分が価値ある存在であることを、物事のもくろみの中で大切な存在であることを知るだろう。不慣れな自己尊敬の感覚が彼らの現在の絶望感に取って代わるだろう。あらゆる種類の麻薬は人間に対する支配力を失うだろう。慎ましい感謝と良きものを切望する思いのうちに、涙が静かに流れるだろう。

その時以後、新しい神聖の気がこの地球に充滿するだろう。人はしばらくの間、忍び足で歩くだろう。しかしながら、間もなく、世界に必要とされる変化は膨大で、多様であり、忍耐と献身、想像力と信頼が必要とされることを悟るだろう。やがて、至るところにおいて、人は再建の仕事に、世界の復興の仕事に従事するだろう。貧しく飢える者たちの救援が誇らかに行われ、そうして人間の直中ただなかにある冒流ほうりゅうに永遠に終止符が打たれるだろう。大勢の人間が初めて、必要が満たされるといふ幸せを静かに味わうだろう。もはや、飢餓のために死んでいく形骸けいがいが豊かな者たちのスクリーンに映し出される恥はなくなるだろう。もはや、人は自分たちの兄弟が目の前で死んでいくのを眺めることはないだろう。そのようにして、人類種族の歴史の中の暗黒の一章は終わるだろう。

規模において比類のない変化が、人間の心（ハートとマインド）をつかむだろう。新しいものの猛襲（じゆうせき）の前に生き延びるのは、過去のものの中の最良のものだけだろう。日ごとの変容が記録されて、人はそれを比較し、感嘆するだろう。新しい世界は真つ昼間の輝く光の中で建設されるだろう。すべての者が、それぞれの方法で参加し、各人がそれぞれのビジョンを加えて総体に貢献するだろう。

多くの者にとつて、キリストの臨在そのものが問題を提起するだろう。彼らが長い間持っていた信念がその根底から揺さぶられるだろう。彼らにとつて、新しい啓示の意味を理解しようとするとき、己の心を探る期間が必然となるだろう。古くからの信念はなかなか死なず、その過程においてひどく傷つくだろう。にもかかわらず、何百万の人々はうれし  
い心（ハート）で反応し、彼らの直中にいる大教師を喜んで受け入れるだろう。時を経るにつれて、マイトレーヤという方に表されるキリストが再び地上を歩いておられるという一般の認識に対立する者は、ほとんどいなくなるだろう。

この時のための準備の仕事を先導してきた比較的少数の者たちは、彼らに別の奉仕の分野が提供されることを発見するだろう。広大な範囲の教育の仕事である。あらゆるところから質問が出されるだろう。長い間感じられていた知識への渴望（せきぼう）は堰を切ったように溢

れ出して、その堤防を破るだろう。多くの者が、この出来事の背景と歴史を知りたがるだろう。他の者にとっては、差し迫った将来のことが主な関心事であろう。さらに他の者はすべての説明を分析し、質問する必要を感じ、結局最後にいずれにしても、彼ら自身の信念以外には満足しないだろう。であるから、偏狭と高慢という非難を避けるために、説得と臨機応変の才が日課とならなければならない。

世界的に様々な協会や団体が彼らの役割を果たして、必要な教えの広範囲な配布を保証するだろう。提供される教えはまだたくさんあるが、しかし、すでに授けられた教えで人間の手の中であつて開かれもせず、読まれてもいないものがたくさんある。多くを読む習慣を身につける努力をすることを勧告する。系統だった教えの勉強とマイトレイヤの教訓を實際に生きる真摯な努力が、教えるために必要なバランスと権威を与えるだろう。各人が、そのようにして準備を整えて、この新たな奉仕の機会に自分自身を供することができる。それを敏捷に、そして慎ましい誇りをもつてつかみ取ることを勧告する。

(シエア・インターナショナル誌一九九四年八月号掲載「覚者は語る」より)

## 人類の目覚め

【以下の記事はアメリカのサンフランシスコで一九九四年に開かれた伝導瞑想大会・研修会におけるベンジャミン・クレームの基調講話である。】

### カリユガ

『第一に、人間は新しい状況に、全く未知の不思議な状況に目覚めるだろう。生きている人間の経験の中でそれに似たようなものは何もないだろう』

あなたたちがこれについて考えたことがあるかどうか知りませんが、これは明らかに真実です。マイトレーヤが新しい時代の世界教師として語り、秘教の伝統の学徒である私たちが当然と知っているアイデア、つまり私たちがマイトレーヤの臨在を伝える過程の中



で、ある程度馴れ親しんでいるアイディアを語り、人類全体を啓蒙するとき、ほとんどの人間にとってそれはとてつもない啓示を聞くように感じるのです。世界は全体的にハイアラキーの存在を知りません。キリストが存在すると聞いたことはあるけれど、天のどこか遠いところに住んでおられて、世の終わりに雲に乗って戻って来られると聞かされていまず。ご承知のように、それが正統派のキリスト教徒の一般的な期待です。私たちの直中に大教師が到来することについて、他の宗教も同様であり得そうにないシナリオを持っています。イスラム教徒はイمام・マーディを待っていますが、同じく世の終わりに、審判の日にのみやって来られる、世界の中心であるダマスカスに来られる。突然現れて、「私はやって来た、私にパンをください、衣服をください」と言われるのだというアイディアを持っています。ヒンズー教徒は彼ら自身の解釈でカリユガの時代の終わりにカルキ・アバターを、つまりクリシュナの再臨を待っています。

私は先日聞いたのですが、サイババ（南インドのブタパルティにアシュラムをもつ偉大なるアバター）がカリユガの時代は今や終わりに来たと言ったと最近発表されたということです。私は、彼はそれを数年前に言われたと思ったのです、シエア・インターナショナル誌にもそのように発表しました。私たちはいつも出来事の起こる先端にいるようです。私の師（覚者）も力

リユガは確かに終わりつつあったことを確認してくださいだったので、その当時それを発表しました。スワミ・プレマナンダもそれを確認されました。しかし、プツパルティから絶えず流れてくる噂によると、サイババは、カリユガは今や終わり、今週、すなわち一九九四年七月十八日(月)から二十二日の今日(金)までがこの地球の生命<sup>いのち</sup>にとって最も重要な時期の一つである、と言われたそうです。サイババは、私の知る限りでは、なぜそんなに重要なのかについては説明しなかつたようです。もちろん私はいつものように私自身の情報源に早速確かめたところ、まさに、サイババが言及しておられたことは、今週が地球にとつて試験とテストの重大な期間のクライマックスに達しており、地球は、つまり人類だけではありませんが主として人類は、このテストの期間を多かれ少なかれ無事に切り抜けたということです。

例えば、宇宙のレベルで、マイトレーヤの指揮下にある光の勢力<sup>フォース</sup>と、ある特定の宇宙の悪の勢力<sup>フォース</sup>との間で大きな戦いが続けられていました。これが最近、地球の靈的ハイアラキの勝利でクライマックスに達しました。マイトレーヤは公に出現するためにまさにこの時を待っておられました。ご承知のように、前回は、すなわち一九八五年にマイトレーヤがロンドンでジャーナリストの一団の前に姿を現そうとされたときにも、やはり宇宙レベル

でこれらの勢力とこの惑星のハイアラキーとの間で大きな戦いがありました。それもまた私たちのハイアラキーの勝利に終わりましたが、マイトレーヤがジャーナリストの前に姿を現す計画は犠牲にされました。しかけられた総攻撃を封じ込めるのに、ハイアラキーが全力で立ち向かうことが必要とされたからです。

そのような状況が起こったときの徴候を私は感じます。というのは、そのような戦いが行われている期間、それについて人類は全く何も知らないのですが、その期間中、私の師である覚者はまさに非常に遠くに感じられるのです。私は彼の遠さを感知することができません。彼は私に伝えてくださり、質問にも答えてくださいますが、彼の答えは一連の網を通して、あたかも幾つものフィルターを通して伝わって来るような感じですが、つまり彼は実際、どうぞ私を煩わせないでくれと言っているのです。治療の要請については速やかに受け付けてくださいますが、光線構造の要請とか、どうでもよいような些細な質問（それがたくさんあるのですが）はある倦怠感をもって扱われます。というのは、そのような戦いが起こっている間、私が必要と思うことに対して扉は開かれてはいますが、覚者方すべてが完全に集注し、瞑想しているからです。マイトレーヤを長として覚者方が世界に公に出現するための準備として起こっているこの重大な戦いに、ハイアラキーのすべての覚者方

と同様私の師は完全に集注していたのです。

マイトレーヤは特定のネットワークテレビ局のインタビュアーの招待を承諾されて以来、それを行うための可能な限りの最良の瞬間を待っています。それは世界における霊エネルギーが最高の時であり、霊エネルギーの予備が十分に蓄えられており、人類の正しい反応を（できる限りにおいて）保証できるような時期です。そのようなインタビュアー放送が無駄にならず、人類の良い肯定的な歓迎の反応が最大限に得られるようなタイミングです。

ですから、マイトレーヤは春の霊的三大祭が終わるまで待ちました。これらの祭の間に、とてつもないエネルギーが世界に注がれました。平衡の霊のエネルギー、仏陀のエネルギー、統合の大聖アプタのエネルギー、その他の様々なエネルギー、マイトレーヤを通して集注されたアクエリアス（宝瓶宮ほびんぐわう）からのエネルギーなどです。これらすべてのエネルギーの力、強度はとてつもなく増大しています。特に、統合の大聖のエネルギーは、かつてないほど強力に感じられます。過去六カ月間は、シャンバラのエネルギーもまた非常に強力です。これは普通ではありません。通常は統合の大聖アプタまたはシャンバラのエネルギーのどちらかなのです。これが、攻撃をかけてきたこれらの宇宙の勢力フォースに対してとてつもない防壁を築いてくれました。つまり霊ハイアラキーが世界に公に顕現することを阻はもつとする

物質性の勢力のいわば土壇場の攻撃だったのです。彼らはそれに成功しなかったし、これからも成功しないでしょう。

そしてマイトレーヤと他の覚者方の公の顕現のための道は今や開かれました。サイババが七月十八日から二十二日のこの期間は非常に重要な期間であると言われたとき、彼はこのことを意味したのだと思います。(運命の神の)車輪の回転が変わりました。私たちは今やアクエリアス(宝瓶宮)の時代にいます。マイトレーヤは、地球の自転の速度が遅くならない象徴的に太陽により近づけられたと言われましたが、それが車輪の回転でした。それが今クライマックスに達したところの過程の始まりであったのです。私たちはカリユガの時代の終わりにおり、カリユガの終わりにカルキ・アバターが到来することができる。そしてマイトレーヤがもちろん、そのカルキ・アバターです。

マイトレーヤが話をされるとき、たとえ大宣言の日であろうとも、「私はキリストである」とは言わないだろうと思います。おそらく、「何百万の人間は私をキリストとして待っている。そして彼らの期待を成就するために私はやって来た」というような言い方をするかもしれません。

彼は世界全体に向かって、自分が過去二千年以上の間、「天」にいたのではなく、ヒマラ

ヤに住んでいたという事実を、そして彼は同じように高度に進化した者たち（覚者たち）の大きな一団の長であることを、そして彼らもまた世界に戻りつつあり、その数は増大するだろうということを、紹介するでしょう。すでにマイトレイヤも含めて十四人の覚者方が私たちの日常世界に出て来ています。

これは人類にとっては啓示でしょう。私がジュワル・クール覚者に同意できないことが一つあります。彼が、ハイアラキーについての概念は一般の人々にまで浸透したと言われたことです。もちろん、アメリカのロサンゼルスやサンフランシスコなどカリフォルニア州の幾つかの地域ではたぶん本当でしょうが、カンサスとかクリーブランドとかデトロイト市ではどうでしょうか。マンチェスターやバーミンガムでは？ プレーメンでは？ 横浜では？ いいえ。世界中の多くの地域で、いやむしろ大部分において、ハイアラキーについての概念は人々の意識の中に全く入ったことはありません。

しかし、彼らは「大宣言の日」に初めてそれについて聞くのです。それについて知っておられる方から、覚者方のグループ全体を導かれるリーダーの方から、それについて聞くのです。覚者が述べているように、『各人が一人ずつ、げんじやく厳肅に独りで』心（ハート）の中にこの声を聞くのです。大多数の人類にとって、覚者方とか、智恵の大師方とか、天ではな

く実際にテレビに現れているキリストについて聞いたこともなかった人類の大多数にとって、この体験がどんなものか想像できませんか。キリストがテレビの画面に現れて、メンタルオーバーシャドウによるとてもない方法で人類すべてに初めて語り掛けるのです。それが何を意味するか、人類の大多数の、世界に住む六十五億の人間のおそらく大多数の意識に与えるショックを想像できますか。

私自身、この出来事の巨大さをまだ把握していませんでした。何度も何度もそれについて話をしてきましたが、しかしこの瞬間まで（そしておそらくこの瞬間でさえも）それのとてもない影響を、その出来事の大きさを、この出来事のユニークさ、新しさを把握できませんでした。歴史上で初めて、世界的規模の思念伝達（テレパシー）による接触が起こるのです。全世界が一人の人間と接触を持ち、彼の言葉が各人の心（マインド）の中に彼ら自身の国語で直接に語りかけてくるのです。「それぞれに厳粛に」全く独りで経験するのです。あらゆる人間がテレビの画面を見るでしょう。お互いに見合って、「私が聞いていることをあなたも聞いているのか」確かめようとするでしょう。なぜなら、その声の調子ゆえに、思考の調子、アイディアの厳粛さ、これらの概念の広大さゆえに、人々は自分たちの人生で全く経験したことの無いことを経験するでしょう。それは驚くべきことです。私た

ちはこの惑星の歴史の中のユニークな瞬間に立っています。

### 控えめな発言

「全く未知な不思議な」状況、新しい状況です。突然、人々は大悟された方たちが私たちの直中に降りて来るのにUFOを待つ必要がないことを知るので。そのお方がおそらくあなたが出会うことのできる最も啓発された方でしょう。そして彼は一人ではありません。同様に啓発された人々の一団を引き連れており、彼らもまた私たちの中に住むでしょう。私たちは彼らを知り、教えを受け、導きと助言をいただけるのです。それは、途方もなく人類の不安と抑鬱された心の重荷を軽くすることを意味するに違いありません。大体においてストレスと不安の中に生きる人類が、マイトレーヤの希望と関心の言葉を聞くとき、それが持つ影響を想像することができますか。

飢えていようが、百万長者であろうが、ほとんどの人々がストレスの中に生きています。今日生きている人々は、いくらかでも敏感な人は、ストレスの中で、緊張状態の中で生きています。魂としての彼らの感受性ゆえの内的な期待感、しかし何が起きているのかを知らずにエネルギーに対して多分否定的に反応し、それを自分たちの欲しない方向へ押



しやるうとする単なる押し付けと感じます。またこれらのエネルギーを喜んで受け入れる人々もおり、そしてそれがそこにあることを知らずにそこから建設的なアイディアを引き出し、これらのエネルギー体験に形態を与えるでしょう。人々はあらゆる異なった反応を、エネルギーに対してのみではなく、これらのエネルギーを携えて来られる方、「いのちの水を運ぶ者」に対して抱くでしょう。その日に、彼が御自身を「水を運ぶ者」と呼ばれるかどうかは知りません。私の推測では、そう呼ぶだろうと思います。しかし単なる推測にすぎません。

『その特別の日に思考が放送されたのを、以前に聞いたことのある人間はどこにもいないだろう。人間が彼らの神性への呼びかけを、地上における彼らの存在へのチャレンジ（挑戦）を聞いたことはかつてないだろう』

そうです。チャレンジ（挑戦）なのです。マイトレーヤは世界に一つの選択を提示するでしょう。私たちが現在ののような古い貪欲で利己的な生き方を続けて、自分たち自身を破壊するか、あるいはいのちのリアリティ（実相） 魂の一体性の事実、ゆえに一つのグループとしての人類の一体性、転生している魂の一団としての事実 を新たに把握すること

によつて、一人ひとりの裡つらにある神聖な能力をついに顕現するようになるか、これは人類の大多数にとつて啓示です。

すでに何百万の人間は魂の存在を信じています。魂という觀念を信じていますが、魂が本当に何であるかということについてはほとんど知らないように思います。ほとんどのキリスト教徒にとつて（キリスト教徒だけではありませんが）、魂とは天のどこかにある非常に素晴らしく、美しく、強力で、神聖なる存在であり、死ぬとき、その方の御前に出て初めて知ることができる、そしてそれが本来の自分であることを認知するのだ、と思つています。そしてそれでお終いです。それからわれわれは魂として（お望みならば）ハーブの音色と共に存在し続けるだろう。そしてある日、世の終わりにキリストが降臨するだろう、そして「天」においては大いなる喜びがあるだろう、それはわれわれはキリストの「からだ」であるという熱狂的な認知であろう、と。

これは美しい觀念ですが、神秘的な觀念です。真理はさらにもっと美しく、もっと素晴らしいのです。その神性はこの物質界において顕現するように計画されているのです、プログラム化されているのです。それは「天」におけるいかなる歓喜よりもずっと大きな神秘であり、ずっと素晴らしい美です。魂のリアリティ（実相）を、あの神性を、物質界にも

たらしめて、それを覚者として、クリシュナムルティのような、レオナルド・ダ・ヴィンチのような存在として顕現することは、「天」における融合という神秘的な観念よりもはるかに大きな神秘であり、美であります。

それが人類にとっての突然の啓示でしょう。人々は自分たちが魂であることを知るでしょう。それについて明確にはつきりと説明されるでしょう。そして人類はそのリアリティ（実相）を直ちに把握するでしょう。その神性を私たちが自分たち自身の裡に感じられるような方法でそれが提供されるでしょう。マイトレーヤが体現しておられるキリスト原理のエネルギーが「とてつもない強力さで」放出されるでしょう。あたかも「わたしが人類全体を抱擁する」かのようなであろう、とマイトレーヤは言われます。それは私たちすべてにとって計り知れない体験でしょう。

### 目的と意味

『その貴重なるひとときの間、各人が一人ずつ、厳肅に、独りで、自分の人生の目的と意味を初めて知るだろう』<sup>1</sup>

このオーバーシャドウの間、マイトレーヤの言葉を聞きながら、人々は初めて、霊が魂

として下降し、パーソナリティー（肉体人間）として物質界に反映されているというリアリティ（真相）の輪郭を把握するでしょう。そのことすべてが何百万の人間に突然明らかになるでしょう。たとえ完全に理解されなくても、初めて把握されるでしょう。秘教の教えに興味を持つ人々が当たり前のこととして考えていること、たとえそれを本当に理解し現実として体験していなくても、当然と思っている観念を聞くということは、ほとんどの人間にとつてとてもない出来事です。ですから、マイトレーヤが世界をオーバーシャドウしている間、おそらく長くても三十五〜四十分ぐらいの間、各人が「それぞれに厳粛に、独りで」、このことを初めて知るでしょう。世界は、初めて、全く静止するでしょう。他に何もできないでしょう。すべての人間が、彼ら自身の言語でその言葉を聞き、耳を傾け、体験するでしょう。その観念を体験しながら、マイトレーヤが心（ハート）から心（ハート）に語りかけるにつれて自分たち自身を見つめるでしょう。彼らの注目は彼らの現実（ハート）の裡にある彼らの存在そのものに集注されるでしょう。その時間の間、人類は突然、本来の自分たちを、転生している魂であり、神聖なる存在であることを経験するでしょう。

それから、私たちすべてに神性の感覚を授けてくださったから、マイトレーヤはその神性に向けて挑戦されるでしょう。世界の必要を、世界に何百万もの飢えたる人々の存在する事実を、「人類の直中ただなかにあるこの冒流ぼうつく」について、彼は語るでしょう。それが、生まれ変わよみがえり甦よみがえった人類を待つ第一の任務であることを示すでしょう。豊かな世界の直中にある飢えと飢餓の問題に取り組むことなしに、人類はマイトレーヤが初めてその感覚を授けてくださったその神性を示現する方向への一步を踏み出すことができないことを示されるでしょう。人類はそれを傾聴しながら、自分たちが神聖なる存在であることを感じるでしょう。それまで考えていたこととは全く違っていることを自分自身で知るでしょう。自分たちの幼年時代を、そのころの感覚を思い出すでしょう。覚者が非常に美しくそれを表現されました。『各人が一人ずつ、厳粛に、独りで、自分の人生の目的と意味を初めて知り、幼年時代の恵みを、自我欲に汚されていない志向の純粹さを、新たに経験するだろう』

子供の美しさは転生している魂のあらゆる志向を持っており、しかも全く懷疑心や冷笑で汚されていないことです。子供はこれが世界にとって最善であることを知っています。子供は言います、「もし世界に病気があるなら、魔法にかけてなくしてしまえばいい。世界中の病気を全部魔法のように消してしまえたら、どんなに素晴らしいだろう」と。子供は

皆、世界の病氣を取り除くために魔法というアイディアを使いたがります。全く非利己的な志向です。心（ハート）が語る時、キリストのエネルギーが人類の心（ハート）を通して流れ、私たち一人ひとりの内にあの幼年期の純粋な志向を目覚めさせるとき、世界は彼の方に向くでしょう。

歎び

『その貴重な数分の間、人間は大生命いのちのリアリティ（真相）に完全に参加することの歎びを新たに知り、遠い過去の記憶のように、お互いがつながり合っていることを感じるだろう』

人々は初めて、それまで自分が人生のまねごとをしていたにすぎないことを悟るでしょう。人生とは真に何かというその中核に本当に触れたことはなかった。おそらく子供としてはあったかもしれませんが。しかし子供が自動的に、本能的に行うような方法で、一瞬一瞬、人生が実際に何であるか、あるがままを、単純に、直接的に、自然に体験することは決してなかったのです。いのちがあるがままに一瞬一瞬の経験に完全に没頭し、集中するということが、世界中のすべての大人を取り囲む緊張とか「忙しさ」とかあらゆる心配や

問題で覆われてしまっています。いのちの美を完全に楽しむあの感覚を、リアリティ（実相）の中に完全に没頭するあの感覚を、長期にわたって体験できる人はほとんどいません。その時間の間、その半時間かそこらの間、人類全体が完全に生き生きと生きるといふあの幼年時代の歓びを経験するでしょう。生き生きとした存在とは単に肉体的に生き生きとした、健康なというような感覚のみではなく、あらゆる異なったレベルにおいて、いのちのリアリティ（実相）と完全につながっているという全き感覚です。それは新しいことです。然るに人々は「そうだ、それはすべてに関わることなんだ」と感じるでしょう。彼らはたとえお互いに会わなくてもお互い同士つながっていることを感じるでしょう。なぜなら世界中にいるすべての者が、この同じ体験をしていることを知るからです。もちろん人によって、その体験の度合いは異なるでしょう。人によっては、自分が聞くすべてについて心配するでしょう。他の人々は心（ハート）を開いてそれを受け入れ、その至福があるがままに体験するでしょう。

『遠い過去の記憶のように』人々は、彼らの意識の中心において、過去世を、過去の経験を、魂の経験を、物質界における人生と同時に肉体の転生の外にあるいのちについての感覚を持つでしょう。それがすべての存在の、人間の、意識の中核にあるのです。そしてそ

の瞬間に、人々は自分たちの以前の転生経験すべてとつながっていることを、そしてその接触によって、それがリアリティ（実相）であり、すべての者にとって本当であることを知るでしょう。私たちすべてが皆、唯一なる偉大な超魂の部分であります。その事実が、物質界においては同胞愛の感覚を、連結感を与えるのです。それはほとんどの人間の場合、「遠い過去の記憶のように」、ずっと昔のことがよみがえるように感じるでしょう。「そうなんだ、それが真理なのだ！ その通りなのだ！」と。マイトレーヤの語ることの真理が、エネルギー的に、そして意識において、記憶の感覚において、一つの経験となるでしょう。言葉が、言葉の意味が、情報が、そしてキリスト原理の実際の経験がそのすべてをすべての人間の裡に目覚めさせるでしょう。

『突然、人間は今までの自分たちの人生が薄っぺらなものであり、人生を貴重なものにするすべてのこと　同胞愛や正義、創造性や愛　が大多数の者にとって欠けていることを悟るだろう』

同胞愛が何であるかを知る者は非常に少ない。正義は多くの者によって夢見る夢であり、そのために非常に多くの人々が苦闘し、いまだ世界的規模で達成されたことはありません。



ん。ある人々はある程度の正義を達成しました。労働組合は彼らの職場における正義のために戦い、人々は政治的正義のために、経済的正義のために戦いました。ほとんどの人々が絶えず正義のために戦っているようです。なぜなら、それは人間の心（マインド）の中にある第一の概念だからです。それは正しい関係を意味します。それが正義の意味です。人々は、彼らの最善最良の瞬間に、人生の意味は正しい関係を示現することであることを本能的に知ります。しかし、正義のないときに、それがどうして可能でしょうか。

ある人々は不正義によって激しく掻き立てられ動機づけられます。ある人々は反応することができず、長い間不正義の下で苦しみます。しかし、誰もが、存在の中核から、正義を願望します。不正義を、それ自体のためだけで好む人がいるとは想像できません。成り行きにまかせているか、または利己的な行動によって、それを実際に引き起こすかもしませんが、しかしそれが考え得る最も良い関係であると断言する人はいません。そんな愚かな人はいません。愛と同じように、正義も私たちの神聖なる存在の特質の表現として受け取られます。そしてそれは分割できないものです。正義は一つであり、愛は一つであり、自由は一つです。それを人々は願望します。たとえ逆のことをやるかもしれないとしても、正義を願望します。人々はしばしば、自分たち自身が示現できないことに憧れます。

それゆえに憧れます。自分たちの行動の中に、性格の中に、良く表現されていないところのものを人は願望します。それは罪悪感の根底であり、また大きな革命的な仕事の土台にもなり得ます。

『多くの者は初めて自分が価値あることを、物事のもくろみの中で大切な存在であることを知るだろう』

世界中の多くの人々が、金持ちの家族が権力を持つ環境に生まれて来なければ価値のない存在だという考えを持っています。自分の欲望を成就させるために、強力な頭脳や大きな野心や気力やエネルギーを持たなければ、自分は価値がないと考えます。落伍者のように感じます。何世紀もの間の不公平な政治、経済の構造が、ほとんどの人々が持っているこの錯覚をつくりました。他の人々の利益のために存在する単なる日雇い労働者、小作人、いわゆる「労働者」にすぎない、働き蜂にすぎないという錯覚です。

もし権力を持つ家に生まれて来れば、もし父親が金持ちで、多くの遺産や権力のある地位を残してくれば、もしそのような状況から出発できるならば、その人が非常に高度な人間でない限り、その状況に甘える傾向があります。それがつくる不正義を利用して、

それをさらに強力にするとか。パーソナリティー（肉体人間）の欲望の原理が、権力を持つ人々がすでに所有する特権をさらに増大するために使われてきました（もちろん、すべての場合がそうであると言っているわけではありません。素晴らしい改革者も存在しました）。だからこそ、世界の変化は非常に遅々としているのです。世界に必要とされる変化が何かを知っている権力者はたくさんいますが、それを実際に行おうとはしません。逆に、彼らはしばしば、はっきりと認識しているながら、他の人々の不利益を強化する傾向があります。自分たちの財産をさらに増やし、地位をさらに強力にする傾向があります。それは彼らにとつては自己欺瞞じこぎまんの過程です。彼らは現状を維持しています。あるいは維持しようと努めています。その「現状」は生活のあらゆる面でいま変化しようとしています。そしてこれらの変化を顕示する時が来ました。この理由のために、マイトレーヤの言われることの多くは、現在権力と特権を持つ非常に多くの人々にとって大変不快なことでしょう。

### 自己尊敬

『不慣れな自己尊敬の感覚が彼らの現在の絶望感に取って代わるだろう。あらゆる種類の麻薬は人間に対する支配力を失うだろう』

ほとんどの人は絶望感から麻薬に走ります。彼らは「靈的に飢えている」とマイトレイヤは言われます。彼らには希望も未来も見えません。やることなすことがうまくいかないように思えます。社会の尺度の中で彼らの地位は非常に低いので、誰でもが憧れるけれどもほんの少数の人々しか実際に達成できないところのもの、すなわち権力や富や愛情や尊敬などを彼らが達成できる可能性はありません。麻薬を使う多くの人々が達成できる可能性のないその野心を達成するためには、多くのエネルギーと、それから「運」と呼ばれるものと、非常な努力がいります。彼らはエネルギーがないことを知っています。麻薬から抜けなければ希望は全くありません。麻薬を使っていると野心も持ちません。野心という観念以上のものを持ちません。何にもまして、彼らはその状況から抜け出ようとする意志を持ちません。絶望感とはそのことです。やりぬく意志の欠如です。もし状況に意志が適用されなければ何も変わりません。しかし自己尊敬の念が絶望感に取って代わると、すべてが可能になります。そしてこの新しい自己尊敬の発見に社会的政治的經濟的变化が伴うと、そしてすべての人間が属する場を持ち、すべての人間が価値ある存在だという規準を確立すると、私たちは全く新しい社会を持つでしょう。

『慎ましい感謝と良きものへの切望のうちに、人間の涙が静かに流れるだろう』

人々は冷笑的ですが、心の内では本当に冷笑的なわけではありません。ほとんどの人間が、至るところにいる人間の大多数が、良きものを切望します。良きものを切望するのは、それが持つに値する唯一のものだということを知っているからです。私たちが正しい関係と呼ぶもの、正しい人間関係は人間に運命づけられ、達成されるべきことであるのみではなく、それは良いことである、期待できること、必要とされることであることを知っています。

誰もが愛を切望し、愛情を、調和を、自分たちの創造性を発揮することができるような環境の確立を切望します。ほとんどの人にとってこれは入手不可能です。ほとんどの人にとって創造性は夢であり、創造的になる機会すらないままに子供のころにそれは死にまじった。それが世界の六十五億の人間の大多数にとつての現実です。創造的になる機会や教育や経済的余裕のある人々は比較的少数であり、幸運な者たちです。それは彼らが特に優れているからではなく、様々な状況が一緒に重なって、ある人々はそのような種類の「幸運」を持つようになり、ある人々は塵箱に放り込まれるような人生に巡り合うのです。

それは主に政治的、経済的問題です。人類が今日通っているのは豊的危機です。私たちは自分が誰かを知りません。私たちは自分の存在のリアリティ（実相）を忘れてしまった

のです。その靈的危機は政治的経済的分野を通して集中されており、私たちが「靈的」な政治経済制度を創造しなければ、平和や正義を知ることにはできないでしょう。そして人類の進化はこの惑星上では終わるでしょう。それが人類の危機の特性なのです。自分が本来、誰かを発見することです。

マイトレーヤの大宣言のあるその数分の間、半時間くらいの中に、人類は自分が誰かを悟ります。各人が、マイトレーヤによるオーバーシャドウを経験するにつれて、キリスト原理を体験し、彼が話していることに目覚め、そして自分たち自身の靈的特性の現実に目覚めます。「そう、これだ、私はこれが欲しい、それは良いものだから欲しい。私はこれをいつも欲していたのだ。少年のころ、少女のころ、これを世界のために夢見たのだ。私はそれを忘れてしまっていた。この三十、四十、五十年の間、それを考えてもみなかったのだ……」。人々は正しい関係についての幼いころの志向に新たに目覚めるでしょう。人々はこれを欲しがります。切望します。誰もが心の内で正義を、善を、正しい関係を、すべての者のための自由の感覚を切望します。そして「慎ましい感謝のうちに涙が流れるだろう」。

『その時以後、新しい神聖の気がこの地球にみなぎるだろう』

その瞬間から後、しばらくの間、この感覚がみなぎるでしょう。この日の、この半時間ほどの経験が人々の心（ハート）の中に続くでしょう。かつてなかったほど新鮮に感じるでしょう。人々は言うでしょう、「いつもこのように感じる事ができればなあー、いつもこのようであれたら素晴らしいだろうなあー。子供のころはこのように感じたのを思い出すよ。」

人々は初めて、子供たちが持っているあの新鮮さとバイタリティー（活力）と高揚した精神と快活さを再び感じるでしょう。ほとんどの大人たちはその感覚を失ったのです。なぜなら絶えず心配事を抱えているからです、「どうやって家賃を払おうか、月謝を払おうか、医者費用を払おうか」と。人々は心配と不安でいっぱいです。商業至上主義が本当に人生を支配してしまつたのです。だからマイトレーヤはそれを「原子爆弾よりもずっと危険である」と言われるのです。それは人々からのちを奪い取ります。絞り切つたレモンのように人々のいのちを最後の一滴まで絞り取ります。

『人々はしばらくの間、忍び足で歩くだろう』

素晴らしいではありませんか。人々は忍び足で歩くだろう。あまり騒ぐな、この驚嘆を

壊してしまうかもしれない、静かにしなさい、大声を出さないで、心（ハート）の中にこれをとどめておきたい……人々は自分でどうしていいか分からないでしょう。この感じを保っておきたがるでしょう。もちろんそれは永遠には続きません。でもしばらくは続くでしょう、そして自分が神聖さに触れたというこの感覚は残るでしょう。

## 神聖の気

『神聖の気がみなぎるだろっ！』

人々がマイトレーヤを見ると、あなたがマイトレーヤを見ると、覚者が意味するところが何かを知るでしょう。マイトレーヤをとりまく特質は、何にもまして靈的清浄さ、神聖さと言えるでしょう。彼はこの世的でない、非物質的なもの、私たちが神と呼ぶところのものについて想像し得る限りのすべてを体現しておられる、と私は思います。彼は神ではありません、しかし神の神聖さ、清浄さで満ちています。純粋な愛と意志と智慧が彼を取り囲んでいます。それが彼から放射されているのであり、その日に放射されるでしょう。その大宣言の日に、彼に傾聴し、彼のエネルギーを経験するすべての人々、いやほとんどの人々の裡にその同じ感覚を喚起するでしょう。



人生は神聖なものであるという感覚が人々の心（ハートとマインド）に再び新たになるでしょう。しばらくの間、誰もこの感覚を、自分が人生を新たな見方で見たという感覚、それは神聖であり、清らかであり、それを示現するのは、その神聖さが顕現されるのを妨げているあらゆる混乱を取り除くのは、自分にかかっている、というその感覚を邪魔したくないでしょう。マイトレーヤは政治的、経済的、社会的問題と、そのいのちの神聖さを示現することを一緒に結び付けるでしょう。人々はそれを把握するでしょう。そして『しばらくの間、忍び足で歩くだろう』。素晴らしいことです。

しかしながら、間もなく人間はそれがそんなに容易なことではないことを知るでしょう。問題はまだ存在し、まだ対処されていません。キリストが私たちの直中におられるからというだけで、問題から目を背けることはできません。それは現実にあるのです。私たちは物質界に住んでいます。しばしの間、神の神聖さを体験し、それが人生の本当の特質であるということを知りましたが、同時に、その神聖さを示現するためには、物質界における生活が変わらなければならぬことも知っています。私たちはもはや何百万の人間がお互いを殺し合ったり、飢え死にしたりするのを眺めていることはできません。

『世界に必要とされる変化は膨大で多様であることを、悟るだろう』

非常に複雑であり、非常に多くのことが『忍耐と献身、想像力と信頼』を必要とするでしょう。覚者方はよくご存じであるということ、マイトレーヤはよくご存じであるということ、人々は信じなければならぬでしょう。これらの変化が本当に彼らの人生を容せるといことを人々は信じなければなりません。あの半時間ほどの間に体験したあの神聖さを続けて示現することを妨げる主な障害物は、私たちが世界につくり上げた古い政治的、経済的分割であるということです。何百万もの人間が飢え死にし、何百何千万もの人々が動物同様の生活を強いられるというひどい経済状況です。お隣ではなくアフリカやインドや南アメリカなど遠い所ですけれど、これらの問題に取り組まなければならぬことを悟らなければなりません。そして人々はいのちのリアリティ（実相）に目覚めるでしょう。

## 復興

『間もなく、至るところにおいて、人は再建の仕事に、世界の復興の仕事に従事するだろう』

覚者方が彼らの霊的エネルギーで、彼らの周囲すべてを活気づけるでしょう。問題につ

いてそしてその解決についての覚者方の洞察は明らかであり、論理的でしょう。至るところにいる彼らの弟子たちである男女が、民主的な方法によって影響力のある権力の地位に選ばれ、必要とされる変化を実施させるでしょう。

人々は至るところでこの仕事に従事するでしょう。「貧しく飢えたる者たちの救援が誇らしげに」行われるでしょう。第一の優先順位はこの世から飢餓を永遠に取り除くことであると、マイトレーヤは言われます。「そうして人間の直中にある冒瀆に永遠に終止符が打たれる」でしょう。飢餓を終わらせ、ひもじい者に食を与え、貧しい者を復帰させることが、大宣言後の第一の優先事です。大規模に取り組まねなければなりません。それに対処するために新しい国際連合の機関が設置されるでしょう。その頭には覚者か、少なくとも第三段階のインシエートがなるでしょう。そしてその活動を通して世界を再建するでしょう。世界の産物の分かち合いが速やかに進行するでしょう。

もちろん人類がそれを受け入れなければなりません。私たちの自由意志は決して侵されないでしょう。マイトレーヤと覚者方が公に知られるようになるとき、諸政府は彼らに助言を求めるでしょう。どうすればよいでしょうか、アドバイスは何でしょうかと聞くでしょう。問題の膨大さゆえに、必要の緊急性のゆえに、あらゆる資源が活用されるでしょう。

大宣言の後の数カ月、あるいは一二年の間に達成されるものと比べたら、これまでにならぬ救済機関が行ってきた努力は大海の中の数滴のようなものでしょう。

『何百万の人々が、初めて、必要が満たされるといふことの幸せを静かに味わうだろう』  
私たちはお腹がすくと何か食べるものを買に行きます。レストランに行ったり、冷蔵庫の中を探して何かを取り出します。静かな満足なんて考えません。しかし、もしあなたが開発途上国に住んでいれば、もしあなたが全くの貧困の中に生きる十三億の人口の一人であるなら、もしあなたが文字通り飢え死にしている三千八百万の一人なら、それはできません。まず冷蔵庫などはないし、たとえあつたとしてもその中には食べ物はないでしょう。なぜなら先進国の私たちが食糧のほとんどを占有しているのですから。

第三世界に住む大多数の人々にとってそれが現実です。もちろん、第三世界にも必要なものを食べることができる人々はたくさんいます。彼らは幸運です。しかし非常に多くの人々はただ食べ物を買っていくわけにはいきません。お金を持っていません。彼らは何も持っていないのです。彼らにできることは、干害で収穫がだめにならないように、来年の収穫に備えて植える種を少しでも確保しておきたいと望むだけです。

そうして、覚者の言われる『人類の歴史の中の暗黒の一章は終わるだろう』『もはや、飢餓のために死んでいく形骸が富める者たちのテレビのスクリーンに映し出される恥はなくなるだろう。もはや、人は自分たちの兄弟が目の前で死んでいくのを眺めることはないだろう』。それはあまりにも長い間続いた悲劇です。

『規模において比類のない変化が人間の心（ハートとマインド）をつかむだろう。新しいものの猛襲の前に生き延びるのは過去のものの最良のものだけだろう』

新しいエネルギーの道を遮るもの、これらのエネルギーがつくる新しい機構、それは統合に関連する、例外なしにすべての国のすべての者のための自由と正義と分かち合い、それらを達成しようとする道を阻むものは何であれ、落伍していくでしょう。広げないでしょう。

『過去のものの中の最良のものだけ……』もちろん、すべての時代の終わりにはいつも良いいものがあります。その時代の業績、何百万の人間の志向、分かち合う用意、救助機関、国際連合や、舞台の背後にあって人と人とを結び付け国際主義と協力の感覚を提供する種々の国際的団体のような組織は維持され、大きくなるでしょう。それらは新しい状況の

中でのみ成長することができます。しかし、邪魔をする者たち、競争と市場のフォースと貪欲に基づいた狭い国家主義的な機構は「新しいものの猛襲」の前に、新しい時代のアイディアに対抗するのは不可能なことを知るでしょう。最初になくなるのは世界の株式市場でしょう。それは今まさに崩壊しようとしている、とマイトレーヤは言われます。それは崩れるでしょう、なぜなら、正しい関係の確立の邪魔になるからです。それは国家間の貿易にさえも実際には何の関係もありません。それは時代錯誤であり、マイトレーヤはそれを非常に的確に「賭博場」と呼びました。それが将来の時代に演ずる役はありません。

『日毎の変容が記録されて、人々はそれを比較し、感嘆するだろう』

人々はメロドラマやコメディなどを見る代わりに、ローマ、モスクワ、テルアビブ、シアトル等々で起こっていることを見ようとテレビのチャンネルを回すでしょう。世界にどんな新しい驚嘆すべきことが達成されたか、公平、正義、正しい関係を世界に確立することにおいてどんな新しい記録が破られたか これらすべてが記録され毎日報道されるでしょう。人々はそれらを比較しながら言うでしょう、「まだあれをやっていない。あれやらねばならない」等々と。このような種類の競争と対抗意識は、これらの目標を達成するために非常に肯定的な援けとなるでしょう。人々は言うでしょう、「もし彼らにあれができ

るのなら、私たちにもできる」。そうして毎日の記録が出されるでしょう。どこそこで飢餓の終止を達成、どこそこの人々は復帰し住居が与えられた、等々。これらすべてが記録され、すべての人々が次々と起こっている変容について知るでしょう。サッカーの試合やワールドカップを見るような、素晴らしいゲームでしょう。『新しい世界は真つ昼間の輝く光の中で建設されるだろう』

『多くの者にとって、キリストの臨在そのものが問題を提供するだろう』

このアイディア全体を厭う人々が、変化を望まない人々がたくさんいます。『彼らの長い間持っていた信念が、その核まで揺さぶられるだろう』。キリストがテレビに現れて、人類との間に思念伝達（テレパシー）の連結を確立して、「わたしが世界教師である。あなたたちが待望してきたのはわたしである」というようなことを言われるかもしれません。どのように表現されるか分かりませんが、何らかの方法で、彼はすべての者たちによって待望されていた者であることを知らせるでしょう。彼らは、彼を待望していることを必ずしも意識していません。『彼らは、彼を待望していることを必ずしも意識していません。』

人によっては非常な困難を感じるでしょう。『彼らにとって、新しい啓示の意味を理解し

ようとするとき、自己の心を探る期間が必然となるだろう。古くからの信念はなかなか死なず、その過程においてひどく傷つくだろう。もしあなたが伝統固執主義的／原理主義的なキリスト教徒やヒンズー教徒や仏教徒やイスラム教徒であるならば（これらの人々にとつて彼らの宗教は真剣であり、その信念を非常に深刻に、狂信的に保持しています）、これは彼らを非常に当惑させるでしょう。彼らの多くは、現在、マイトレーヤをアンチ・キリストだと信じています。ですから、アンチ・キリストだと思っている者が彼らに美しく素晴らしき未来のビジョンを語りかけるのを見ると、彼らは本当に動揺するでしょう。それを信じて良いのか悪いのか分からないでしょう。

彼らも同じ体験をし、キリストのエネルギーを感じ、そのエネルギーをこの人が体現していることを知るでしょう。そのエネルギーは悪い感じがしない。事実、心地よい、教会に行つたときのような感じであり、あるいはそれよりもずっと良いのだが、等々。そして言うでしょう。「この人は変装したイエスかもしれない。彼の手に穴が見えない。だからイエスではあり得ない。しかし、もし彼がイエスでなければ誰なのか。アンチ・キリスト、そうだアンチ・キリストに違いない。アンチ・キリストのような感じがしないけど。もしこれがアンチ・キリストならば、まあ彼は大丈夫だ……。」。彼らは本当に大変でしょ



う。彼らの隣人に尋ねるでしょう。「言われたことを聞いた?」「ええ、聞いたよ、素晴らしいね。」「まあ、考えてみる必要があるな。」「でも彼が言ったことは本当だと思わない?」「かもしれない、しかし彼はイエスは神であると言わなかった。」「イエスは神だとは言わなかったけど、彼はたくさん良いことを言ったよ。」「でも、彼はイエスが神だと言わなければいけない……」。彼らは問題を抱えるでしょう。

そうして、彼らは世界におけるあらゆる変化を見るでしょう。やがて、非常に多くの人々がこれらの変化に参与し、この経験全体が非常に立派なものになり、彼らはそれに対抗するのがますます困難になるのを知るでしょう。究極的に彼らは言うでしょう、「彼はキリストだ、それを信じる」と。原理主義者にとっては悲しい時となるでしょう、なぜなら、彼らの信念の終わりを見るようになるのですから。彼らはそれを新しい時代のアイディアで置き換えなければなりません。それらは彼らにとって呪うべきものです。彼らはニューエイジタイプの人々が本当のことを言っていたことを、アンチ・キリストが人類に強要しようとした陰謀でも攻撃でもなかったことを受け入れなければなりません。これらのことを消化するのはとても大変なことでしょう。

『古くからの信念はなかなか死なず』　そして彼らはその信念を何百年もの間抱いてき

たのです。『そしてその過程においてひどく傷つくだろう。にもかかわらず、何百万の人々はうれしい心（ハート）で反応し、彼らの直中に大教師を喜んで受け入れるだろう。時を経るにつれて、マイトレーヤという方に表されるキリストが再び地上を歩いておられるという一般の認識に対立する者は、ほとんどいなくなるだろう』

人類にとって、何という認識でしょう。もしあなたが前もって用意されていれば、そのような体験はしないでしよう。ある意味で私たちはこれについて知っているのです、そのような体験ではないでしょう。このシナリオを私たちはすでに一通りやってみたのです。それを生きてきたのです。啓示は十分にあるでしょうが、私たちは、当たり前と思っているリアリティ（実相）に突然、目覚めるといふ体験をし損なうでしょう。実際にそれについて体験することは想像することさえできないようなものでしょうけれども。あのエネルギーがあなたの心（ハート）のチャクラを通して注がれるのを感じるとき、マイトレーヤの言葉をあなたの心（マインド）の内にあなた自身の言語で聞くと、あなたは言うでしょう、「こんなふうだとは思ってもみなかった。こんなにも強力でこんなにも変容させることができる」とは想像だにしなかった」。

## 教育の仕事

『この時のための準備の仕事を先導してきた比較的少数の者たちは、彼らに別の奉仕の分野が提供されることを発見するだろう。広大な範囲の教育の仕事である』

これが何を意味するかわかりますか。人類の大多数はこれについて何も知りません。そして知りたがるでしょう。彼らは尋ねるでしょう、「マイトレーヤとは誰か?」「彼はどこから来たのか?」「これらすべての歴史的背景は何か?」「もし彼が言うことが本当ならば、そして世界はそのように変わるならば、私はどこに位置するのか? 私の株や債権はどうなるのか? 私の仕事は?」。私たちのほとんどにとって大変でしょう。

広大な範囲の教育の仕事……あらゆる側から質問が来るでしょう。私たちは 情報センター になるでしょう。

『あらゆるところから質問が出されるだろう。長い間感じられていた知識への渴望は堰を切ったように溢れ出してその堤防を破るだろう』

人々は知識に飢えています。現在この情報にあまり関心を向けない人々が突然、今まで気付かなかったような情報への渴望を感じるでしょう。いくら聞いても聞き足りないでし

よう。与えられたものを消化できないでしょう。それでももつともつと欲しがらるでしょう。『多くの者がこの出来事の影響と歴史を知りたがるだろう。他の者にとっては、差し迫った将来のことが主な関心事である』

これはどのように達成されるのですか？ マイトレーヤは、または覚者方はこれについて何と言われたのですか？ 何が起ると思えますか？ 私に何ができますか？ 私は何を学ぶべきでしょうか？ どうやって自分を開発すべきですか？

『世界的に様々な協会や団体が彼らの役割を果たして、必要な教えの広範囲な普及を保証するだろう』

秘教の教えを知っているのは私たちが唯一のグループではありません。この知識を他の何百もの協会や団体と分かち合っています。あるものは私たちよりもずっと古いです。ハイアラキーの事実について、進化の過程の事実、人間の霊的構造、等々について人類に知らせる役割を長期にわたって果たしてきた協会があります。これらが皆、知識を広めようとし、やがてすべての人々が知るようになるでしょう。

すべての人が必要とする最も重要な知識は人類の霊的構造に関する知識だと、私は思い

ます。すべての人が自分が魂であるということを知る必要があります。私たちはモナッド、神の閃光、聖なる真我であり、それがそれ自身を魂の界に、個性化した人間の魂に、つまり偉大なる超魂の部分である魂に反映しているのであり、カルマ（原因結果）の法則との関係で再生誕の法則を通して、進化の旅路を完了して完全になるまで何度も何度も繰り返して来るのだということを知る必要があります。それが基本的な知識であり、すべての人間が知る必要があると思います。それを彼らが知る時、それだけでお互い同士の本当の関係について、そして彼らと神との真の関係について理解するでしょう。そこから教育の仕事が進みます。瞑想がこれらの別々に分離した単位、人間の男女、魂、真我を融合する手段として多くの人々の目標になるでしょう。しかし人々は教育されなければなりません。これらのことを学び、その現実性を見なければなりません。それは続けられていく教育の仕事です。

多くの協会が彼らの役割を果たして、『必要な教えの広範囲な普及を保証するだろう』と覚者は言われます。『提供される教えはまだたくさんある』と言われます。マイトレーヤは、毎日とか毎週とか、おそらく頻繁に教えを説かれるでしょう。彼はすでに一連の教えを提供してくださり、それらは『シエア・インターナショナル』誌に発表されました<sup>註</sup>。教

えはマイトレイヤと何人かの覚者方の両方から提供されていくでしょう。しかし覚者が言われているように、『すでに授けられた教えで人間の手の手の中にあつて開かれもせず、読まれてもいないものがたくさんある』。たくさんのお教えが存在します。神智学協会の教え、アグニヨガの教え、アリス・ベイリーの教えはほとんど読まれていません。それらについて知っている人々にさえも読まれていません。

入手できる情報、例えばアリス・ベイリーの教え、についての人々の関心の欠如に私は驚かされます。人々は正しい書物を紐解けば簡単に入手できるような知識についての質問を私にします。怠け者なのです。私にただ与えてもらいたいのです。すでに存在する書籍を読もうとしないのには驚きます。知るためには読まなければなりません。そして読んだものを消化しなければなりません。ですから、注意深く読まなければなりません。もし勉強しなければ一体どうやって知ることができるのですか。勉強する訓練をしなければなりません。覚者が言われることをやらなければなりません。

『系統だった教えの勉強とマイトレイヤの教訓を実際に生きる真摯な努力が教えるために必要なバランスと権威を与えるだろう』

あなた自身が知らなければ、どうやって人に教えることができるのですか。他の人々に伝えるためには、あなた自身が勉強しなければなりません。

さらに「マイトレーヤの教訓を実際に生きる真摯な努力」が必要です。経験の重みほど人々を確信させるものはありません。もしあなたがすでに何かを経験したのならば、それについて語るができます。その経験を言葉に表現するのに困難があるとしても、生きた知識についてのあなたの経験を述べるためのあなたが語る言葉は、何ものにも勝る方法でそれを聞く人々に伝わるのです。単なる読書から得た知識がどれだけあろうと、実際に生きることに取って代わることはできません。誰でも本を読むことはできます。しかし、最大限の努力をもって教訓を生き、実践してのみ、マイトレーヤの教訓があなたの人生に影響を及ぼし、説得力を持ち、教えが伝えようとしているあの真の生き生きとしたいのちのエネルギーを持つのです。教えは、それが生きたものであるときにのみ、人々に何かが伝わるのであり、それが単に本からの知識ではなくあなたの経験の一部であるときにのみ、あなたの真の経験であるときにのみ、それが生きたものになるのです。もしあなたがあなたの人生に影響を与え、変えたのならば、それについて語るができます。それを他の人々に対して真実味のあるものにし、生きたものにすることができます。そうでな

ければ不可能です。

慎ましい誇り

『各人が、そのようにして準備を整えて、この新たな奉仕の機会に自分自身を提供することができる。勧告は、それを敏捷に、そして慎ましい誇りをもってつかみ取りなさい』

何という美しい言葉でしょう。慎ましい誇り。それがグループにとっての前進への道です。もしあなたが、大宣言の後、新しい方法で奉仕することを望むならば、知識を、経験を切実に欲している世界があることを見いだすでしょう。瞑想が何であるかを知りたがり、参加したが、どうすれば関わることをできるかを欲するでしょう。他の人々の経験がどんなものであったかを、どうしてそれをやるようになったのか、それが彼らをどのように変えたのかを知りたがるでしょう。

人々は知りたがるでしょう、なぜなら、すべての人が、その日、つまり大宣言の後は、世界はもはや同じではあり得ないことを悟るでしょうから。新しい世界が、新しい律法が、新しい文明が徐々に育つでしょう。今まで、私たちが人生について知っていたことが、当たり前だと思ってきたことが一掃されてしまうでしょう。最初の日というわけではあり



ませんが、それは急速に起こるでしょう。人々は新しい洞察を、新しい教えを、新しい啓示を要求するでしょう。それらはもちろん、主にマイトレーヤと覚者方から来るでしょう。しかし弟子道をたどる者たちすべてに果たすべき役割があります、彼らのエネルギーを教えの普及に投じることができず、必要に応じて、そして召集されるにつれて。

註『いのちの法則』にまとめて出版されている。



## 質疑応答

### マイトレーヤの公の出現

「大宣言の日には、わたし、マイトレーヤ、人の子が現在あなたがたの中に住んでいることを全世界が知るであろう。わたしは、神の子供たちとしてのあなたがたの前に横たわる可能性を示しにやって来た。わたしの心（ハート）はあなたがたの反応を知っており、あなたがたの選択を教えてください。そして大きな喜びが湧く」（マイトレーヤのメッセージ『いのちの水を運ぶ者』第一三七信より）

質問 マイトレーヤの出現には特定の日付がありますか。

答 ほとんどの人々は、世界的な出来事（世界教師の到来は確かに世界的な出来事です）は正確な日付に従って起こると想像しています。すべてのハイアラキー的決定は、石に刻

まれた日付で指定されていると考えているようです。これは全く違います。覚者方は特定の時期に特定の出来事が起こることを予測されますが、人類には自由意志があり、その出来事の正確なタイミングについて大きな影響力を持っていることをご存じです。覚者方は二千年周期で働きますから、彼らにとって正確なタイミングは大きな考慮の対象ではありません。マイトレーヤがいつ公の仕事を始められるかの正確な日付は誰にも分かりませんが、それが非常に間もなくであることは誰もが理解できます。

## 機会の窓

マイトレーヤにとって日付は（テレビに現れる日付さえ）ありません。ただ「機会の窓」というものがあります。この窓は絶えず変化しています。それは宇宙のエネルギーの流れをマイトレーヤが理解しておられるので、その結果分かるのです。そのエネルギーには有益なものや有害なものがあり、それらは絶えず変化しています。これがマイトレーヤにとって難しいことです。彼の洞察と智慧のすべてを使い、宇宙意識の二つのレベルの状態で、巨大な宇宙のアバターお二方（平和・平衡の霊と統合のアバター）によってオーバーシヤドウされることで彼に開かれる宇宙的な理解をもつてしても、機会の窓を単に可能性と

して見るのです。それが接近するや否や、何か他のことがまた状況を変えてしまいます。それが何度も何度も起こるのです。

視界に機会の窓が近づいているのをマイトレーヤが知るのは、特定の宇宙エネルギーが流入して、一定の周期の間保たれるだろうということを見ることができからです。しかし、そのとき人類にその機会の窓を捉える用意ができているか、メディアはそれに反応するか、さらに、私たちが想像し始めることすらできない他の様々な要素を、マイトレーヤは考慮に入れなければなりません。ですから、私たちはやきもきする思いを捨てなければなりません。大宣言の日はいつなのか、マイトレーヤ御自身は知らないのです。全く見当がつかないという意味ではありません。しかし覚者方は時間という枠の中で考えませんから、日を定めることは的外れなのです。

マイトレーヤをご覧になるのは一連の機会の窓であり、その中に彼が一つの瞬間を判断することができる様々な統計を構成するあらゆるフォースがあるのです。例えば、人類の状態、特に私たちが自分のために何をするか、それから特に物質性の大主の活動など、これらすべてを考慮に入れなければなりません。物質性の大主、すなわち混乱のフォース（エネルギー・勢力）はぼんやりと座しているわけではありません。彼らはこれまでになく

活発に活動しています。なぜなら、彼らの時代が終わることを　マイトレーヤが前面に出て来られるや否や、そして人類が覚者方を見て、再建の過程を始めて、人類を彼らが影響できるレベルより上位に持ち上げるや否や終わることを　知っているからです。物質性の大主たちは代理人を通して、つまり世にいる男女を通して働きます。その中にはマスコミやその他の分野で非常によく名の知られている人々がいます。特定の国々のリーダーたちや、特定の金融関係の人々の中には、この出来事に真っ向から反対している人々がいます。様々な反動的な政治的、宗教的グループを通して、これらの破壊的フォース（勢力）はマイトレーヤの公の出現を阻むために働いています。

ハイアラキーの外的顕現にできるだけの力で抵抗している人々の中には、社会でよく名前の知られた人々がいます。彼らにとってそれは彼らの権力の終わりを意味しますから。彼らは権力欲に支配されています。彼らの主要な関心事は何千何万人もの彼らの従業員を、あるいは世界中の何百万の人間の心（マインド）を支配する力を維持することなのです。彼らは権力を求め、人生における本当の関心事は、お金を稼ぐ以外に、人々の心（マインド）を支配して、自分たちが正しいと考える方向へ、つまり過去の古い、貪欲で、利己的で、分離的な方向へ向くよう人々の考えを制御することなのです。ある意味で、彼ら

はそれしかできないのです。彼らの特性とエネルギーによって支配されているのです。そして彼らは、ハイアラキーの外的顕現の過程に抵抗して大きな防波堤を築いています。それはうまくいかないことは必然です。時間の問題だけです。

質問 マイトレーヤは、なぜ公に姿を現すのにこれほど時間をかけているのですか。

答 私たちの観点からは、マイトレーヤは長い時間をかけているように思われます。しかし覚者方の観点からは、瞬きする間でもありません。何よりもマイトレーヤが待っているのは、世界の経済制度の実際の崩壊、世界中の株式市場の崩壊です。これらが人類の病を象徴しています。つまり、投機です。人類はより豊かになるためにいつも投機しています。豊かになることに集中しています。私たちは自分たちと世界の存続にとって危険なほど物質性の深みに落ち込んでしまいました。マイトレーヤはそれを市場のフォース（エネルギー）への盲目的な追従と呼びます。市場のフォースにはそれなりの役割があります。が、市場のフォースを盲目的に追いかけることは破壊にしかつながらないと言われます。彼は市場のフォースを「邪悪なフォース」と呼びます。なぜなら、それには分割、分離、不平等が内在しているからです。それは多くの人々の犠牲の下に少数の金持ちを利するか

らです。

質問　マイトレーヤが世界支配者の座を占めるまでにあとどのくらいですか。彼に対抗する勢力があるのですか。

答　まず、訂正させてください。マイトレーヤは「世界支配者」としての座につくことはありません。彼は支配するために来るのではなく、教え、鼓舞するために来るのです。人類は教師方のインスピレーションの下で自らを統治しなければなりません。彼が世界の中に現れる正確なタイミングは記されていませんし、マイトレーヤ御自身にさえも分かりません。それは彼の教え、変化への準備、現在の経済構造の崩壊（そのみが人類を現実に見直させるでしょう）に対する人類の反応に左右されます。これらのことが十分に進行すれば、マイトレーヤは、必ず彼の存在を知らせると言われました。まず最初にテレビのインタビューで公に話すときでも、彼はマイトレーヤという名前は用いないでしょう。人類に分かち合いと正義と平和を呼びかける彼の要求に反応する機会を与えるためです。彼の名前や地位によってではなく、彼のアイディアに賛同して反応する機会を与えるためです。

対抗する勢力は多く、途方もなく強力です。それらは長年にわたる貪欲、利己主義、自



己満足の力です。それはこれらの悪に長年人類を閉じ込めてきた邪悪な勢力でもありません。しかしながら、いまだかつてこれほどの力を備えた教師、アバターはいませんでした。マイトレーヤの言われるとおり、「終わりは初めから知られている」。彼の使命の成功は保証されています。

質問 ベンジャミン・クレーム氏の最初の本『マイトレーヤと覚者方の降臨』において、「大宣言の日は……一九八二年五月からおよそ十八カ月後に起こるでしょう」と述べられています。あれから二十二年経ちましたが、何も起こっていません。なぜあのような無責任な主張をされたのですか。

答 ハイアラキーの当初の計画は、もし世界のメディアが、彼を探し、招待するという象徴的な行を行うなら、マイトレーヤは一九八二年五月の終わりに御自身を明らかにすることでした。このことを可能にするために、私は記者会見を開いて、マイトレーヤの居場所を明らかにし、メディアに対して人類全体に代わってこの象徴的な行動を取るよう伝えることを要請されました。そして私は一九八二年五月十四日にアメリカのロサンゼルス市で記者会見を開きました。アメリカの主要なメディア全部に加えて、ロンドンからB

BC(英国国营放送)のジャーナリストが出席しました。九十人以上のマスコミの代表者が私の情報を聞ききました。私は、マイトレーヤがロンドンのアジア人居住区に住んでいることを初めて明らかにしました。そしてロンドンにジャーナリストを派遣し、象徴的に探す行為をすれば、マイトレーヤは出て来られるだろうと話しました。残念ながら、メディアは何もしなかったので、人類の自由意志を侵さないようにしながら、マイトレーヤは長い出現の道程をたどらなければならなくなりました。

興味深いのは、マイトレーヤのアイディアの線に沿って世界を変える必要を認識している人々、そして彼を見、彼のために働くことを望んでいる人々が、一九八二年よりもはるかに増えていることです。私の講演会の聴衆は、当時の何倍にもなっています。一九八二年には人類はマイトレーヤを受け入れる準備ができていなかったのかもしれませんが。

質問 メディアは、われわれの情報を事実に関連させるのが困難だから何もしないので、事実あるいは証拠が欠けているからですか。

答 ネルソン・マンデラ氏が、二十七年間の牢獄生活の後に、突然釈放されて、新しい南ア連邦の大統領になったのは事実です。それは事実であり、その事実が『シェア・イン

ターナショナル』誌に掲載されています。マイトレーヤがマンデラ氏の独房を訪れて、大統領に手紙を書いて、南ア連邦の将来について討議するために会いたいと伝えることを、彼に提案したのです。マンデラ氏は笑って、「私はこの刑務所の所長にさえ会うことができないうことができないのに、大統領などとてもない」と言いました。マイトレーヤは、「それはよく分かっている。しかし、とにかく手紙を書きなさい。あなたが手紙を書けば、あとはわたしがやる」と言われたのです。そしてその後のことは、マイトレーヤが行ったのです。彼は大統領が祈りを捧げているときに接近して、南ア連邦の人種隔離政策（アパルトヘイト）を終わらせる時期が来たということを経験して、彼の心（マインド）に刻みこんだのです。大統領は祈っていたので、それを心（ハート）に刻みました。神が彼の祈りに答えられたと思ったのです。彼は真摯なクリスチャンでした。彼は神に語りかけ、何をすべきかを問いました。そして答えを得たのです。「人種隔離政策を終わらせる時期が来た」と。その結果は皆さんが知っているとおりです。<sup>註</sup>

これらは事実ですよ。メディアはそれを信じるか、信じないかのどちらかです。しかしこれらのことは途方もないストーリーです。彼らはそれを知っています。彼らは人生の大半をこのストーリーのために費やしている人々ですから。

私が一九八二年五月十四日にアメリカのロサンゼルスで記者会見を行い、およそ百人近くの記者団に話をしたとき、このストーリーの全部を話しました。集まったジャーナリストは様々な分野の人々でした。徹底した原理主義者もいました。全くこの話に反対している人々もいました。しかし、多くのジャーナリストはオープンな心（マインド）で聞いていました。世界に分かち合いと正義の必要について触れたとき、彼らは拍手をしたのです。誰にも拍手などしたことはないあの頑固なジャーナリストたちが私のこの話に、この単純なストーリーに拍手をしたのです。最後に私は、ジャーナリストがロンドンへ行って、マイトレイヤを探す形だけでも行うことを、もし彼らがそれをすれば、マイトレイヤは前面に出て来られるだろうという話をしました。

BBC（英国国営テレビ）は、時を同じくして放映した番組の最後に、この記者会見の様子を衛星中継でつなぎ生放送をしました。私が、マイトレイヤが住んでおられる場所として発表したそのロンドンに彼ら（BBC）はいたのです。アメリカのメディアはBBCに、それについてどうするのかを尋ねたところ、彼らは「何もしない」と言ったのです。アメリカ人は言いました、「なぜ何もしないのか、これはすごいストーリーではないか」。BBCは「すごいストーリーだということは分かっているが、もっと確実な証拠を待っている」

と言ったのです。

その「もっと確実な証拠」は、彼らが私の頼んだことをやることによってのみ、すなわちロンドンに行つて、アジア系移民社会の中で、形だけでもマイトレーヤを探そうとすることによってのみ、得ることができたのでした。

これらのジャーナリストたちの中の力のある地位にいる人々が、マイトレーヤにお会いして信じたならば、そして同僚たちに「確かに本当だ、このストーリーは本当だ。私は彼に会つたよ、途方もない方だ」と言っていたならば、一九八二年の時点ではそれで十分だったとマイトレーヤは言われました。

メディアは、情報を彼らの膝の上に置いてほしいのです。そして私たちは彼らの膝の上とその情報を置くのですが、それでは十分ではありません。彼らはマイトレーヤを見たいのです。そして、マイトレーヤが バルコニー に姿を現すや否や、彼らは行動するでしょう。

一九九〇年四月にマイトレーヤがロンドンで主催された会議に招かれて、マイトレーヤにお会いしたジャーナリストが大勢いました。約四十名の非常に重要な地位にいるジャーナリストがそれに出席していました。彼らは、私と同じように、このことをよく知ってい

ます。しかし、それについて何かをしようという責任を担いません、なぜなら、彼らの職が危うくなるからです。彼らには妻や家族に対する責任があります。容易ではありません。

註<sup>11</sup>ネルソン・マンデラ氏は釈放され、人種隔離政策は終わり、ついにマンデラ氏は南ア連邦の大統領に選ばれたのである。

質問 『ハイアラキーの外的顕現』の中でジュワル・クール覚者が述べていることと、外的顕現の前にキリストの再臨が起こるといふあなたの意見の違いをどう説明されますか。

「第一段階は、大師方の管理下にあるいくつかのアシラムが物質界に出現することである。それは一般的な認知を呼び起こすと共に、ハイラーキーの存在事実と秘儀の復興を人々に保証することになる。後に、こうした段階が成功を収めた場合、キリストの再臨を皮切りに、他のもつと重要な再出現が可能になるであろう」<sup>註</sup>

答 私は単に要請されたとおりに私の体験を知らせているだけです。ハイアラキーの計画はしばしば詳細で厳密ですが、流動的で状況の変化に適應するものでもあります。一九七七年七月のマイトレイヤの入場に先立って、五名の覚者が、一九七五年に、ニューヨーク、ロンドン、ジュネーブ、ダーズリン、東京に顕現されました。これらの覚者方は「一

般的な認知を呼び起こす「ことは求めず、それぞれの都市と国の弟子たちと密接に働いておられます。今では十四名の覚者方とマイトレーヤが世界におられます。

註「日本語訳『ハイラーキーの出現』二二五頁

質問 マイトレーヤがアメリカで最初のテレビインタビューに出演するのは今から三年以内か、三年から七年以内か、それとも七年以上先でしょうか。

答 あなたはどう思いますか。私に予言させたいのですか。マイトレーヤが正確な日付をご存じかどうか私は知りません。それはハイアラキーが日付を決めて、それに向けて働くというようなことではありません。マイトレーヤは可能性を見越しておられ、何千もの可能性があります。彼が出現するにあたって考慮しなければならぬ事柄は、何千もあります。いつが最も都合か、宇宙や他の惑星レベルからの巻き返しが最も少ないのはいつなのか、などです。

しかし、このことは言えません。それはあなたが驚くほど早いでしょう。ある日テレビに出演した人を見て心が揺さぶられるでしょう。「これがキリストだろうか?」「これは誰

だ？ イمام・マーディか？」と問うでしょう。マイトレーヤは最初にアメリカのテレビに出演されます。アメリカのテレビを知っているなら、それが容易なことではないことが分かるでしょう。アメリカは非常に競争に条件づけられており、現状にしがみつき、変化を好まず、競争への必要に合わせるために必要な物事をアレンジしようとはします。

彼らが、マイトレーヤをすぐにキリストだと思うかどうかは分かりません。むしろ反キリストだとも思いません。彼らは、マイトレーヤを見たことも聞いたこともありません。私が彼について話したことを知っているだけです。多くの人はそれを全く好みません。そのような変化を欲しません。気候変動に関する京都議定書ですら受け入れたくないのです。アメリカの大企業にドルが流れ込むことを止めるような、いかなる行動も欲しません。ですから私が話すとき、多くの人は私が反キリストについて話しているのだと考えます。

しかし 彼ら とは誰でしょうか。 彼ら とは主に、キリスト教の伝統固執主義（原理主義）者のグループです。マイトレーヤはもちろん彼らのことを愛されます。彼はしばしば彼らの前に現れますが、彼らはその方がマイトレーヤであることを知りません。それを知ればショックを受けることでしょう！



アメリカは全く半々に分裂しています。マイトレーヤを歓迎する人々が大勢いる一方で、彼を反キリストだと思う人も大勢いるでしょう。

質問

(1) アメリカで最初の主要なテレビインタビューを行う人はマイトレーヤを個人的に知っているのですか。(2) その人はマイトレーヤを世界教師だと信じていますか。(3) その人は、たとえばあなたの話を完全に信じていないにしても、この情報に共感的ですか。

答

(1) いいえ。(2) おそらく信じていないでしょう。(3) 分かりません。

質問

マイトレーヤはなぜ他の国ではなくアメリカに現れるのですか。

答

彼は他の国にも現れません。彼は何百万の人々に話しかけることのできるようなやり方で、まずアメリカに現れるのです。それから日本です。世界で最も巨大で影響力のあるメディア・ネットワークを持つのはどの国だと思いますか。彼がアメリカの主要ネットワーク・テレビに出演すれば、即座に何百万の人々が彼の声を聞くことができ、アメリカだけではなく、インターネットを通じて、世界中で知ることができます。

やがて、大宣言の日の後、彼が人類に知られ、受け入れられるようになったとき、彼は

世界中を巡回するでしょう。

質問 なぜマイトレーヤはイラクとの戦争を防ぐために、今テレビに出て来られないのですか。

答 覚者方にとって、人間の自由意志は侵すべからざるものです。彼らは決して私たちの自由意志を侵害しません。マイトレーヤが計画を立てるとき、あることをいつ行うかを決めるのに、何千もの異なった側面を考慮に入れる必要があるかもしれません。その計画は固定したのではなく、柔軟で融通の利くものです。しかし、人間の自由意志は決して侵害されません。

イラクとの戦争を始めるといふ決定はアメリカ政府によってなされたものであり（他の誰もそんな戦争を欲してはいません）、マイトレーヤが「それを防ぐために」公に現れることは、そのような攻撃がいかに間違った破壊的なことであっても、人類の自由意志の侵害になるでしょう。決定をするかしないかは、マイトレーヤの決めることではありません。それに加えて、マイトレーヤが出て来られるときには、質問者が考えているような影響力を直ちに及ぼすことはないでしょう。

法は守られねばなりません。覚者方は法 生命いのちの法、進化の法 に従うから覚者なのです。できること、しなければならぬこと、してはならないことがあります。私たちは何でもやります。私たちはお互いの自由意志を侵害し合っています 殺したり、傷つけたり 言葉や行為でそれを行っています。だから私たちは問題を抱え、病気になる、苦しむのです。

質問 イラクとの戦争を防ぐためにハイアラキーにできることはありますか。

答 いいえ、人間の自由意志を侵害せずにできることはありません。政府の指導者たちのマインドに印象づけをすることは可能ですが、不幸なことに、今回の場合、印象づけに対する好意的な反応が起こる望みは高くありません。

質問 最初はマイトレーヤの名前が出されないのだとしたら、最初のテレビインタビューでどのように紹介されるのですか。

答 普通一般の男性として、私たちの中の一人としてですが、私たちが耳を傾けるならば助けとなるアイディア、助言、観点を持つ人物としてです。最初はかなり抑えた、慎ま

しいものとなるでしょう。テレビではマイトレーヤは招かれた聴衆に向けて語るではありません。聴衆を怖がらせないように、いくぶん控えめでなければなりません。

質問 彼はどうやってテレビ局に招待されるのでしょうか。どんな資格で出演するのでしょうか。

答 彼は名前を持つでしょうが、マイトレーヤという名前ではないでしょう。要するに、そのアイデアが非常に高度の、人々が信奉者になるような存在から来るものだと思うことを、マイトレーヤは欲しないということです。彼は信奉者を欲しません。彼はこう言われます、「わたしを追いかけるなら、あなたはわたしを見失うだろう。わたしをあなたのポケットに入れようとするなら、あなたは決してわたしを見つけれないだろう」。キリスト教徒は、彼を彼らのポケットに入れようとするでしょう。イスラム教徒も、ヒンズー教徒も、とりわけ仏教徒がそうするでしょう。問題はありません。もし彼がテレビで話そう招かれれば、別のチャンネルでもっと多くの人々に話すよう招待されるでしょう。それは単純なことです。大宣言の日には、多くの人々がうすうす感じてはいるが確信がないこと、つまり彼が世界教師であることをお認めになるでしょう。

彼は、ある人物として、彼のアイディアについて話すよう招かれるでしょう。彼は最初は控えめで、私が言っているようなことを言わないでしょうが、周囲の人々が反応するにつれて調子を強めていくでしょう。もし彼が私の言うようなことを言えば、人々は彼から離れるでしょう。彼は伝統固執主義的（原理主義的）なキリスト教徒やユダヤ教徒、イスラム教徒などと、そうでない人々の間に違いを認めません。彼には、何らかの形で彼を体験した何千もの信奉者があり、彼らは彼を知っています。説明しにくいのですが、彼は完全に寛容であり、排他的ではありません。

質問 マイトレーヤがテレビに出演する「形式」を、もう一度はつきりさせていただけますか。例えばテッド・コッペル（アメリカの著名なニュースキャスター）のような人が彼をインタビュウするのですか。

答 マイトレーヤはマイトレーヤという名前は使わないでしょうが、「私たちの中の一人」として、主要なテレビで「テッド・コッペルのような人」にインタビュウされるでしょう。必ずしもテッド・コッペルとは限りませんが。

質問 インタビューの間にもし聞かれたら、マイトレーヤは御自分がキリストまたは世界教師であることを認めるでしょうか。

答 最初は、否です。彼は直接答えない方法を取るか、その質問は生じないでしょう。もちろん、彼は次第に多くの人々に御自分の正体を認めるでしょう。既に彼はあらゆる分野で多くの指導者たちに会ったり、姿を現していることを忘れてはいけません。彼らは前面に出て来て支援するよう鼓舞されるでしょう。これは必然的に大衆を刺激し、勇気づけ、分かち合いと正義を要求する声を加えて、大宣言の日のための道を整えるでしょう。

質問 最初のインタビューの後で、彼らの体験やマイトレーヤのアイデンティティーを是認するために公の立場を取る外交官や指導者、政治家やジャーナリストたちは大勢いるでしょうか。

答 きつといると思います。もちろん、そのような地位の人々が前面に出て来るのを鼓舞するためには、数回のインタビューと積極的なメディアの反応が必要でしょう。これまではひどく勇気が欠如しています。

質問 マイトレーヤからのメッセージをウェブサイトで読みました。その中でマイトレーヤは、彼が非常に間もなくやって来るので、それは「本当に驚きとなるだろう」と述べています。(1)これは、マイトレーヤの公の働きのためのすべての条件が満たされたことを意味するのですか。(2)こう語るとき、マイトレーヤは、主要なインタビューについて言及しているのですか。

答 (1)ほとんど(満たされました)。(2)主要なインタビューとは限りません。

質問 マイトレーヤがマスコミのインタビューに出始めるとき、自分が誰であるかを明らかにしないとしても、グループ内の人がマイトレーヤを認知した場合でも、マイトレーヤを認知するための個人の自由意志を侵害することになるので、このグループの外にいる人々(家族や友人も含めて)に対してそのことを指摘しないほうがいいのですか。

答 はい。私は何度かグループの共働者たちにそうあるべきだと明言してきました。それは非常に重要なことです。特にマスコミとの関係において、彼らの自由意志が侵害されてはならず、マイトレーヤに対して、彼がキリストとか世界教師だからというのではなく、一人の人間として彼が言うことに反応する必要があります。

質問　マイトレーヤがマスコミを通して語りかけ、私たちが彼を認知したとして、彼がまだマイトレーヤであると名乗っていない場合、私たちはマスコミに対してどのように振る舞うべきでしょうか。

答　マイトレーヤと覚者方がこの世におられることを知らせる以外に、私たちがマスコミに対してなすべきことは何もありません。マスコミに彼を指し示すことは、私たちの仕事ではありません。すべての人類と同じように、彼らは自分自身で認知しなければなりません。正しいにせよ間違っているにせよ、人々がマイトレーヤをキリスト、イمام・マーデイ、弥勒菩薩、メシア、カルキ・アバターであると信じて、それゆえに彼の助言を受け入れるならば、それは彼らが自分自身で世界と人類のための変化を起こすことを望んでいるからではありません。私たちは、彼がマイトレーヤやキリストやメシアだからではなく、彼が言っていることに同意するから、彼が世界のために必要であると言っていることを自分も欲するからマイトレーヤを認知するのではなく、彼が世界教師や偉大な豊的存在だからではなく、すべての人のための正義と分かち合いと自由を欲するから、彼を認知するのではなく、彼を認めなければなりません。



質問 マイトレーヤは、最初のインタビューのとき、肉体的に御自身の姿で、つまり、彼の現実の姿のとおりに見えますか。それとも、通常人々の前に現れるときのようにならば、変装 をしておられますか。

答 彼が人々の前に現れるとき、通常は ファミリア と呼ばれる、彼の意識の一部で創造した人物を使います。しかし彼が世界に公に現れるときには、マイトレーヤという名前には使いませんが、彼自身の姿で、今彼が世界に現れているとおりの、御自分で創造した肉体で現れるでしょう。

質問 (1)マイトレーヤは最初のテレビインタビューのときに、ケニヤのナイロビに現われた時のような姿形に見えるでしょうか。(2)大宣言の日にはどうですか。

答 (1)いいえ。(2)いいえ。

質問 マイトレーヤをテレビで見るとき、私たちは彼の光線やエネルギーを感じるだろうとあなたの師は言われました。それは祝福の起こる大宣言の日の前触れのようなものですか。

答 それは霊的な経験になるでしょうが、常にその人のレベルに応じたものです。人々は自分が受けることのできるものしか受けることができず、その人自身であることしかできません。即座にマイトレーヤを、ありのままの霊的巨人として感じ認知する人々もいるでしょう。彼の言葉に反応し、それが彼らの正義感や目的を満足させる人々もいるでしょう。しかし霊的放出は常に起こります。私はインタビューの日のそれが、大宣言の日と同じくらい強力だとは思いません。

質問 マイトレーヤは「この原則（分かち合いの原則）が受け入れられたら、わたしは自身を宣言する」と述べたと言われています。これは、マイトレーヤのテレビインタビューや株式市場の崩壊についてのあなたの予測とは非常に異なっています。あなたとマイトレーヤのどちらが正しいのですか。

答 もちろんマイトレーヤが正しいです。そして私も正しいです。人類が分かち合いの原則を受け入れるまでは、彼が御自分の正体を宣言されることにはないでしょう。これは大宣言の日にマイトレーヤが全世界の前に姿を現すことにつながるでしょう。テレビインタビューや株式市場の崩壊はその前に起こるでしょう。

質問 (1) マイトレーヤはいつも、すべての人々の想念に気づいていますか。(2) 私たちが彼のことを考えると、彼はそれに気づきますか。例えば、私たちが『シェア・インターナショナル』誌を手にとり取って、マイトレーヤについて読むとき、彼の注目の断片がそれに引きつけられますか。(3) 彼はどんな楽器でも手に取って最も難しい曲でも弾きこなすことができますか。(4) 彼は絵の傑作を描くことができますか。(5) シェークスピアよりも偉大な劇を書くことができますか。(6) エルピス・プレスリーのように歌うことができますか。

答 (1) はい。(2) はい。(3) はい。(4) はい。(5) はい。(6) いいえ！

質問 マイトレーヤの放射されるオーラは、彼が住んでいるロンドンからどこまで届くのですか。

答 全世界を包んでいます。

質問 (1) ハイアラキーの観点から見て、人類は現在(二〇〇二年)マイトレーヤのアイデアに対してどのくらい受容的でしょうか。(2) 増大する恐怖心と緊張は、人々を彼の優先事項に対して心理的に閉ざしますか。

答 (1)二十五パーセントは非常に受容的です。四十パーセントはかなり受容的で、三十パーセントは受容的ではありません。(2)いいえ、その反対です。恐怖心は人々を今日のアメリカのようにヒステリックに行動させるか、問題への答えを探すかのどちらかです。

質問 (1)マイトレーヤは政治家やジャーナリストに会い続けていますか。(2)会った人々は彼に質問していますか。(3)彼らはマイトレーヤが誰であるか知っていますか。(4)彼らはマイトレーヤをあなたの仕事や情報と結び付けていますか。

答 (1)政治家には会っていますが、ジャーナリストには会っていません。(2)はい。(3)概して、知りません。(4)数人はそうしています。

質問 私はマイトレーヤの出現について混乱しています。自由意志を侵害しないことと同様に、カルマの法則も考慮に入れられるということは理解できません。ときどき不安になるのは、これらのことを考慮するのが、「光」の勢力の代理人だけだということです。神の名の下に(他の多くの人々と共に)自爆する用意のある気の狂った人々が大勢います。彼ら

はカルマや自由意志などを問題にもしないし、気づいてもいません。

もしも彼らが大規模なテロ活動（核兵器、化学兵器、生物兵器）をやり遂げたならば、この惑星も人類も存在せず、マイトレーヤの出現も起こらないでしょう。それはカルマ的にどのくらい正しいのですか。

答 もちろん、まさにそのために、この時代がこのように大きな緊張と危機に満ちているのです。にもかかわらず、マイトレーヤと覚者方はカルマの法則に従わなければなりません。たとえ私たちが従わないとしても。マイトレーヤは介入すべき時 また介入すべきでない時 を正確に知っており、そしてカルマの法則の内部に留めることのできる時を知っておられることを信頼しなければなりません。

質問 最も重要なことは、マイトレーヤが現れるかどうかではなくて、私たちがハートから行動し、愛を完全なものとし、愛を表現することではないですか。それが真我実現への唯一の道ではないですか。

答 失礼ながら、それは素晴らしい言葉ではありますが、それが現実でしょうか。それが世界中で普通に行われている方法でしょうか。もしそうであるなら、なぜ私たちはこれ

ほど深刻な問題を抱えているのでしよう。豊かさの中での貧困と飢餓、戦争や戦争の脅威、環境破壊、大規模な犯罪や麻薬問題、世界中でますます洗練されるテロリズムの増大

数え上げればきりがありません。世界全体がハートから行動せず、完全な愛を表現していないのは明らかです。もしかしたら質問者は例外かもしれませんが。もしかしたら彼（彼女）は確かにハートの道を実践しており、愛を行動に移しているのかもしれませんが。もしかしたらすでに覚者であり、マイトレーヤや彼の教えを必要としていないのかもしれませんが。しかしながら、その他の私たちにとっては、生き延びるためには、マイトレーヤと彼のグループ（覚者方）の援助と助言が不可欠なのです。彼は、未来への私たちの生命線なのです。

質問 大宣言の日にマイトレーヤが人類をオーバershadowするとき、すべての人が肉体的にそれを感じる事ができるのですか。

答 マイトレーヤのエネルギーが、すなわちキリスト原理が強力に放射されるとき、それはあなたも彼が全世界を抱擁するかのようであろうと、彼は言われました。キリスト原理のエネルギーが私たちのエーテル体の四つのレベル（亜界） 物質のガス状態のすぐ上

位に位置する、より精妙な物質界 を通って流れるでしょう。もしその人が自分のエーテル体にいくらかでも敏感であるならば、それを非常に強烈な肉体的感覚として経験するでしょう。もしそうでなくても、オーバーシャドウの間、おそらく頭のとっぺんに圧力のようなものを感じるでしょう。

質問 聖書の言葉に、キリストは「栄光の輝き」の中に戻って来られるだろうとあります。私たちが見て、認知することのできるマイトレーヤの栄光の輝きはどこにありますか。

答 この「栄光の輝き」とはもちろん、すべての人々によって認知されるマイトレーヤの霊的御身分に対する象徴的な言葉です。これは彼が全人類をオーバーシャドウする大宣言の日に起こるでしょう。

質問 大宣言の日にテレビのスイッチを入れることを私たちはどのようにして知るので  
すか。

答 あらかじめマスコミによって知らされているでしょう。様々な国がそれぞれに、マイトレーヤは全世界に向かって話をするということ伝えるでしょう。その方を、それま

でに見聞きしていたその方を人々はすでに知っているでしょう。その方が全世界に向けて同時に話をされるのです。すべての放送ネットワークが衛星中継で連結されるでしょう。そのような放送手段は実際この出来事のためにあるのです。オリンピックやワールドカップを見るためではありません。それによって人類史上初めて、世界教師が世に出て来られて、全人類に直接に話をする事ができるのです。

質問 テレビを持っていない人々はどのようなのですか。

答 彼らはマイトレーヤの言葉を心（マインド）の中に聞くでしょう。それが思念伝達のコミュニケーションです。テレビを見ている必要はありません。しかし、彼の顔は見えないでしょう。ちょうどそのとき、車の下にもぐって、修理をしているかもしれませぬ。しかし、彼の言葉は聞こえるでしょう。そうしたら、手を休めてそれに聞き入ることですね。

質問 大宣言の日には、マイトレーヤの顔はテレビを見る人々に（人種や文化の違いによって）それぞれ異なって見えるのでしょうか、それともすべての人に同じ姿形で見えますか。



答 すべての者に同じ姿形で見えるでしょう。

質問 子供も大宣言の日の祝福を体験しますか。

答 大宣言の日には、十四歳以上の人々はすべてマイトレーヤの言葉を彼らの心（マインド）の中で、自国語で聞くでしょう。それは、それより若い子供たちが祝福を体験できないということではなく、むしろその反対でしょう。しかし、子供のマインドがメッセージを受けて、関連づけることができるかどうかの問題です。

十四歳までは、普通の子供たちはメンタルな集中力をほとんど持たないので、自分が聞いていることを理解することはできないでしょう。しかし各々の発達状態に応じて、子供たちの理解度も異なるでしょう。マイトレーヤはそれぞれの子供の進化段階、チャクラの状態、エネルギーをどれだけ吸収できるか、どのくらいなら安全かなどを正確にご存じます。

すべての人間の健康状態、年齢などが考慮に入れられるでしょう。これはすべてに遍在なされる御方によるオーバーシャドウの奇跡なのです。

質問 大宣言の日に、奇跡的な治癒を受けることのできる条件は何ですか。

答 その人のカルマと信です。カルマ（原因結果の法則）が許し、その人の信によって、キリスト原理のエネルギーがマイトレイヤから放出される時、それに対して心（ハート）が開かれる人々が癒されるのです。

質問 マイトレイヤが大宣言の日に思念伝達のテレパシーで私たちに交信することは、一体どうして可能でしょうか。私たちの大多数は落ち着きなく、壊れたメンタル（頭）・マイクを持っているのに。この慢性症状は規則的な深い瞑想によらなければ直らないのではないですか。

答 はい、人類の大多数は意識的なテレパシーを可能にするだけの内的な精神の集中力も磁力的なオーラも持っていないのは確かです。しかし大宣言の日は、マイトレイヤのためのユニークな出来事であり、状況であると考えなければなりません。彼にとつて分離した存在はありません。彼は全知遍在です。彼は人類の心（マインド）を一時的にオーバーシヤドウして、私たちの心（ハート）を彼のメッセージに対して開かせるのです。

質問 大宣言の日の後、すべての人がマイトレーヤの存在と、智慧の覚者方の一団の存在を認識するのですか。

答 すべての人かどうか分かりませんが、人類の大部分は大宣言の日に彼の言葉をテレパシー（思念伝達）を通して聞き、その時からメディアはマイトレーヤの助言と優先事項を知らせるのに大いに時間と労力を捧げることは明らかでしょう。マイトレーヤが伝えるテレパシー的なメッセージを記録することはできないため、記憶の間違いや、彼の言葉の意味を間違って引用することは避けられません。しかしマイトレーヤは、それ以降のインタビューで、彼の言葉の正しい意味を通常のやり方で明らかにすることができるでしょう。

質問 マイトレーヤが公に現れるとき、彼や他の覚者方は、『シエア・インターナショナル』誌の「編集長への手紙」で報じられているように人々に現れ続けるでしょうか。

答 はい、必要に応じて。

質問 大宣言の日にマイトレーヤが公に御自身について世界に発表した後、彼が覚者方を世界に紹介するまでにどのくらいかかるでしょうか。

答 大宣言のオーバーシャドウの間に、マイトレーヤはおそらく彼の弟子たちとして、覚者方についてのアイディアを紹介されるでしょう。その後間もなく、少なくとも何人かの覚者方を紹介されるでしょう。

質問 イエス覚者も御自身を世界に知らせるでしょうか。

答 大宣言の日にマイトレーヤが覚者方の存在についての概念を紹介され、その後間もなく、覚者方は一人ずつ前面に出て来られて、御自身を知らせるでしょう。イエス覚者は最初に公に現れる覚者方のお一人でしょう。

質問 ほとんどのキリスト教徒はイエス覚者を認知し、受け入れ、そのためにマイトレーヤは反キリストであるという恐怖心が取り除かれると思いますか。

答 この質問に対する短い答えは、はい、そう思います。イエス覚者はおそらくすべての覚者方の中で最もよく知られた方であり、何百万の人々が、おそらく漠然と彼に従うことでしょう。それは良いことです。なぜなら、マイトレーヤとイエス覚者の目的は同じですから。

質問 キリスト教徒はマイトレーヤよりもイエス覚者を崇拜し続けるのではないですか。

答 多くのキリスト教徒は（大宣言の日の後も）イエス覚者に従うかもしれませんが。なぜなら彼の名前を知っているからです。彼らはイエス覚者をキリストと見なし、マイトレーヤを彼の副官だと思うかもしれませんが。それは真に重要なことではありませんし、マイトレーヤがそのことで気分を害されるとは思いません！

質問 マイトレーヤが世界に御自身を公にされるとき、人々は彼に対してどう反応するでしょうか。

答 それが誰かによって反応は変わるでしょう。宗教的背景や、あるいはその人が思考においてパイス的であるかアクエリアス的であるかによって変わると思います。世界は二つに分割されています。競争する人々と協力する人々です。マイトレーヤは協力を支持されますが、競争なしには生きていけない人々、パイススの意識を持つ人々は、平和の条件としての分かち合いと正義というアイデアを拒絶しがちでしょう。彼らが戦争を欲しているという意味ではなく、何かを放棄しなければならぬなら平和を欲しないという意味です。彼らは、世界のある部分でそれと正反対のことが行われているならば、公正な

社会は永久にあり得ないということが分かりません。世界はひとつであり、すべての人々がそれに早く気づくほど、私たちの住む世界は良くなるでしょう。

それはあなたが誰であるかによります。あなたが飢えており、ひもじいならば、マイトレーヤが飢える人々に食を与え、世界資源を分かち合うことについて語るとき、あなたはもちろん彼についていくでしょう。世界人口の三分の二を占める、世界の持たざる者たちが彼の周りに集うでしょう。それは巨大な世界世論を築くでしょう。その集中され、教育され、エネルギーを与えられ、適切に導かれた世論は、どんな政府もそれに対抗できない力となります。世界が真にひとつとなり、新しい社会の形を描く機構をつくり始めるのはもう間もなくでしょう。

質問 指導者たちは大宣言の日のマイトレーヤの話にどう反応するでしょうか。

答 それは彼らが誰であるかによります。マイトレーヤに反応する人々は誰か？世界のリーダーたちよりも重要なのは、世界の一般大衆、例外なく世界のすべての国にいる善意の男女です。指導者は、人々をおとなしくさせるためにしなければならぬことをします。もしも、至るところにいる人々が立ち上がって正義と平和と分かち合いを要求し

たら、指導者たちはそれに応えるでしょう。フランスで、英国で、ドイツで、日本で、アメリカで、指導者たちは民衆の声に反応しなければならぬか、あるいは彼らに発砲するか、どちらかです。

マイトレーヤがこの世にいることを知っている社会的に高い地位にある人々が、外交官、政府、産業界、金融界、宗教界の中にいます。彼らはマイトレーヤを見たことがあり、彼が現れて、彼らに語りかけたロンドンでの会議に出席しました。彼らはマイトレーヤが誰であるかを知っており、彼の頭が「水平線の上」に見えてくるのを待っています。そうしたら彼らは語り始めるでしょう。人々は彼らに従うでしょう。現在のリーダーたちが導く必要はありません。彼らの時は限られています。彼らは主に過去の人間であり、過去に退いていくでしょう。

## マイトレーヤと覚者方の働き方

「大宣言の日が来るとき、この兄はこれまでに何度もあなたがたに教えを説き、神への道を示し、神の真理の教えを伝えた者であることを知るであろう。我が友よ、その真理をさらに拡大する時が来た。神を識ることは創造的行為であることを、神を識ることは神そのもののなかに入り込むことであることを、あなたがたに示す時が来たのである。このようにしてのみ、我々の存在の真理を知ることができる。来るべき時には、この知識はあなたがたのものとなるのである

つ」(メッセージ第百十二信より)

質問 マイトレーヤが公に受け入れられたとき、人類との関係でマイトレーヤは実際どのように働かれるのですか。彼が物事を指示するのですか、それとも人々の問いかけに反応して助言されるだけなのですか。

答 マイトレーヤは、助言し、指導し、教えるためにここにおられます。私たちの行動



を指示したり禁止したりするためにおられるではありません。彼は教師です。彼の直近の弟子たちである覚者方は、マイトレーヤと同じように、援助と助言を行うための高度な知識と経験をお持ちです。しかし私たちは、自分たちがしなければならぬことを欲しなければなりません。マイトレーヤは私たちの思考の全体的な方向性を示されるでしょう。つまり、人類の一体性の感覚、世界資源を分かち合うことの絶対的な必要性、国際問題解決のために戦争とテロリズムを終わらせることです。私たちがそれを理解したことを示すならば、最大限の援助と助言が与えられるでしょう。しかし私たちは、自分自身で進んで喜んで変化を起こすことを求めなければなりません。覚者方は私たちに命令するために来るではありません。マイトレーヤは言われます。「わたしは大計画の設計者にすぎない。わたしの友であり兄弟であるあなた方が、真理の輝ける寺院の建設者である」。真理の寺院とは新しい文明のことです。

質問 マイトレーヤは実際的な事柄 家族、隣人、人間関係など に焦点を当てるでしょうか。

答 はい。マイトレーヤは実際的な問題に関わる実際的な方です。これが彼の優先事項

註

です。覚者方は神秘家ではありません。私たちが神秘家なのです。私たちはすべてを神秘的なことにしてしまいます。覚者方は「智慧を知る者」たちです。知識に愛が加わったものが智慧です。これが「智慧を生きること」であり、正しい関係の中で無害に生きる実際のな智慧こそ、彼らが関わっているものです。マイトレーヤはとても素朴な男であることが分かるでしょう。彼は霊的巨人です。いのちと愛の関係に関わっています。

註＝マイトレーヤの優先事項に関するより詳細な検討については、『マイトレーヤの使命』第三巻の第一章を是非参照されたい。

質問 マイトレーヤは、現在世界で最も緊急の問題は何だと考えておられますか。

答 マイトレーヤが関心を持っておられる最も重要な活動は、この豊かな世界で飢えのために死んでいく何百万もの人々を救うことです。この恥辱ほど彼の心を動かすものはないと彼は言っておられます。「分離という罪悪はこの世から追放されなければならぬ。これがわたしの目的であると断言する」。ですからマイトレーヤの最初の目的は、人類に、私たちがひとつであり、同じであることを示すことです。どこに住んでいようが、肌の色が

何であろうが、背景や信条が何であろうが、すべての人にとって必要なものは同じです。

同じくらい重要で緊急なのは、私たちの資源の誤用によって破壊されているこの惑星を救うことです。今日の政府は、科学者からの警告が出されてから長い年月が経って、ようやく地球温暖化が現実であることを認識しています。地球温暖化は今ではある程度理解されていますが、それについての人間の責任はまだすべての国家によって認識されていません。私たちが認識しなければならぬ最も重要なことの一つは、地球温暖化の少なくとも八パーセントは人間の責任であり、これが続けば私たちの日常生活は劇的な影響を受けるといふことです。対処法を正確に知っておられるのはマイトレーヤと覚者方だけですが、私たちはすでに第一歩（CO<sub>2</sub>の排出量の削減など）を知っています。しかし、行動の切迫性をおそらく政府は完全に理解してはいません。マイトレーヤは、この行動がいかに緊急を要するかを強調されるでしょう。地球上の森林伐採 中南米で一年間にベルギーと同じ大きさの原始林が伐採されています は、世界に不可欠な酸素の供給に巨大な影響を与えています。

マイトレーヤが強調される第一の行動は、世界の資源を分かち合うことの必要性です。これはその他の、国内外のあらゆる問題を解決するための道を開く信頼感を生み出すでし

よ。

質問 何百万もの人々を飢餓から救うための段階的な計画 最初に緊急援助、それから国連を通しての新しい分配制度 が存在するとあなたは言われましたが、この惑星を再生復興させるための過程を始めるためには、どんな手段を取るべきでしょうか。同じように、まず緊急行動計画があるのだとすれば、何をすべきでしょうか。

答 差し迫った優先事項は、汚染と地球温暖化に対処することです。最悪の、最も危険な汚染は、原子力発電所と原子力産業全体から出されています。これをできるだけ早く止めなければなりません。

覚者方は汚染を世界の最大の殺人者だと言われます。特に核放射能による汚染です。それは人間の免疫システムの活動を低下させるので、人々は肺炎とか流感、エイズなど多くの病気に罹りやすくなります。私たちが吸っている空気、水、土壌は完全に汚染されており、私たちの生存のために、子孫の生存のために必要なこの惑星を破壊しております。

地球温暖化の、例えば氷山への影響は、今や誰にとっても明らかです。森林再生の大規模な計画が私たちの注目を待っています。もちろん達成するには時間がかかるでしょうが、

今からでも始めることはできます。

マイトレーヤの大宣言後に起こる重要なことの一つは、環境を浄化し、この地球を再び存続可能なものにするために、人類の注目がしっかりと向けられることです。世界の飢餓に苦しむ何百万の人々の必要が満たされるや否や、分かち合いの過程が実行されるや否や、すべての人間の注目は生態系の維持に向けられるでしょう。マイトレーヤ御自身が言われました 地球の環境を救うことが、老若男女すべての人間の第一の優先事項にならないければならない、と。

質問 カナダの油田の二百年分の貯蔵（BBCニュースより）や、さらに大量の石炭が燃やされなかつたとしても、地球温暖化がすぐに止まらないのだとすれば、次の何世紀かの間に、多くの海岸都市を住めなくするような北極と南極の氷解を覚悟しなければならぬのでしょうか。

答 そのリスクを減らすための手段が取られるでしょう。

質問 もし地球温暖化が大きな問題なのだとすれば、マイトレーヤはなぜ「地球を太陽

に少しだけ近づけた」のか説明していただけますか。それは温暖化を悪化させるのではないですか。そうだとすれば、もしマイトレーヤがこの奇妙な行動を行わなければ、気候変動は結局のところこれほどひどいものになっていなかったと考えられますか。

答 地球温暖化の二十パーセントは、地球が少し太陽に近づけられたことよって起こっています。八十パーセントは資源の誤用とガスの排出が原因です。マイトレーヤはなぜこのことを行ったのでしょうか。それは法の下で、人類の恩恵のために行われたと考えるべきです。このおかげで、現在一年のほとんどが氷に覆われている北部ヨーロッパやアジア、カナダ、ロシアの多くの地域で、食料の生産が可能になるでしょう。それはまた、私たちの側で地球温暖化を制限するための努力の必要性を強めるでしょう。

質問 『シエア・インターナショナル』誌二〇〇三年六月号の、マイトレーヤの教えについての記事の中で、次のように書かれています。「暖かい気候、早い春の訪れ、あなた方のまわりの生命の開花を楽しみなさい。それはオゾン層の穴や『温室効果』とは何の関係もない。起こっているのは、地球の回転速度が遅くなり、地球が太陽に近づけられたことである。このために、世界を養う穀物や野菜が増えるだろう<sup>註</sup>」。もし『温室効果』や地球

温暖化が深刻な地球的問題であるとしたら、なぜこのマイトレーヤの教えからの引用は、地球温暖化が肯定的な出来事であると述べているのですか。

答 程度の問題です。地球の回転速度の減速は法によってコントロールされています。その影響は予測可能であり、限度内に収まっています。『温室効果』や汚染の結果である地球温暖化は、その反対に、（汚染を止めること以外には）コントロール不可能なものであり、かなりの程度予測不可能で不可逆な環境的脅威を引き起こしています。

註『いのちの法則』二八三頁参照

質問 私がマイトレーヤの話を最初に知ったのは、一九八〇年代の初めに「第三次世界大戦は起こらないだろう」というタイトルの新聞広告を見たときでした。私はマイトレーヤの存在と出現を疑いませんし、反戦デモにも参加していますが、今ではあの新聞広告は少し樂觀的過ぎたのではないかと思っています。

答 多くの人々が今でも第三次世界大戦を恐れており、最近の、単独で先制攻撃で行われたアメリカとイギリスのイラク侵略によって、世界の緊張が非常に高まったことは本当

です。「タカ派の」指導者たちによって公然と唱えられている長期的なアメリカの野心は、調和的で協力的な関係を築くには役立ちません。しかしながら、これらの現実的な問題にもかかわらず、ハイアラキーは正義と平和が徐々に鼓舞されていくことを疑っていません。

マイトレーヤは、あなたも確信されているとおり、世界の破壊を見るためにやって来られたわけではありません。今日、平和は選択肢ではなく、人類が生き延びるための必須条件です。ですから、マイトレーヤは、彼の計画を成功させるために、あらゆる手段を尽くされることは確かです。

質問　マイトレーヤの優先事項の一つは中東紛争の解決策を見いだすことであり、それは彼が実際に公になるまで解決しないだろうとあなたは言われました。それは、中東の異なった信条の人々（イスラム教徒、ユダヤ教徒、キリスト教徒）が、世界教師としてのマイトレーヤに反応して、彼が万民のためにやって来たということを認め、彼らの分離主義がその反応から変化し始めるからでしょうか。

答　すべての宗教の原理主義者はおそらく最後までマイトレーヤを認知せず、反応しな



いでしようが、徐々に認知するようになるでしょう。

パレスチナ・イスラエル問題は、中東問題の中心にありますが、マイトレーヤの行動を通してのみ解決されるでしょう。しかし、マイトレーヤでさえ解決策を押し付けることはできず、助言するだけです。しかし、彼が世界の数え切れない人々から受け入れられ、霊的教師として、指導者として尊敬されているということが、最も狂信的なイスラエルのユダヤ人とパレスチナのイスラム教徒にとって、共存の必要性を受け入れるのを容易にするでしょう。それはパレスチナ人に正義が与えられたときにのみ起こり得るでしょう。完全に正義が行われたときにのみ、イスラム教徒にとってその解決策は受け入れられるものとなり、渋々ながらイスラエル人にも受け入れられるものとなるでしょう。彼らは徐々に共存することを学び、正義の状態の中でのみ共存することができるでしょう。さもなければ、必然的に両者の間の戦いは続くでしょう。

中東問題が解決しない限り、世界に平和が存在することは決してなく、平和が存在しなければ、人類の未来は非常に危ういことを私たちは知っています。イスラム教徒はイマム・マードイを待望し、ユダヤ教徒はメシアを待っています。多くの人々はマイトレーヤをそのような存在として認知するでしょう。このことが、彼らのお互いに対する立場を和

らげると確信します。

しかし重要なことは、パレスチナ人に正義が与えられなければならないということです。西岸地区はパレスチナ人の祖国としてヨルダンの故フセイン国王から与えられたものであり、それが意味するのは西岸地区全体であり、これまでパレスチナ人に与えられた小さな部分のことではありません。主にレバノンに留まっている四百七十万人の難民を祖国に帰還させる必要があり、エルサレム イスラム教徒、ユダヤ教徒、キリスト教徒にとつて非常に重要な都市 の地位は、これら三つのグループすべてにとつて開かれた中心的な都市に変わる必要があります。この和解をもたらすにはマイトレーヤの出現が必要だと思いますが、そうなるでしょう。

質問 それには時間的な期限があるのでしょうか。

答 時間的な期限は私たちがつくるものです。その地域の人々の意志の問題です。彼らが期限を設けます。彼らが変化を望み、紛争解決を受け入れ、公正な和平を可能にするならば、それは非常に短期間に起こるでしょう。それは双方の狂信的なグループの抵抗にかかっています。しかし世界全体が変わるとき、これらの小さな地域も、それがいかに重要

な場所であろうと、平和的解決をもたらす変化に抵抗することはどんどん難しくなるでしょう。

やがてすべての人々が平和な世界を欲するでしょう。気の狂った戦争屋だけが戦争を欲し、彼らのビジネスや特定のグループの利益のためにそれを望むでしょう。しかし、全体としての人類が平和の絶対的な必要性を知るとき、戦争そのものの終わりが達成されるでしょう。これらの事実を教えることがマイトレーヤの仕事です。それは人々がすでに知っていることを非常に効果的に伝えることです。すべての人が平和の必要を知っていますが、いまだに戦争が起こります。それは人々が、戦争を利用することでバランスを回復できると思っているからです。しかし、世界全体が一定の方向に進むとき、小さな部分もそれに従うことになるでしょう。

質問 覚者方は様々な宗教を統合するでしょうか。もしそうだとしたら、どうやってそれを行うのですか。

答 マイトレーヤは宗教的教師としてではなく、「霊的（スピリチュアル）」教師としてやって来られます。いのちのあらゆる側面は根本的に霊的です 私たちを益するあらゆる

もの、私たちを高次のレベルに導くものは、実際、豊的なことです。ハイアラキーの目的はすべての宗教を統合することではありません。それぞれの宗教は存続するでしょうが、覚者方の臨在と人間のより良い理解によって清められ、純化されるでしょう。次第に、必ずしも新しい宗教ではなく、崇拜というよりも呼びかけを通して、神を信じることではなく神についての認識と経験に関わる呼びかけを通して、神性への新たなアプローチ（関わり方）が現れるでしょう。

質問 『大いなる接近』という著書の中であなたは、預言者モハメッドであった覚者は今イスラム教に責任を持っていますか、という質問に対して「いいえ」と答えています。しかし、イエスがキリスト教について行うことと同じことを、モハメッドはイスラム教に対して行う（人間のつくり上げた独断的教義をゆさぶることなど）と述べたと記憶しています。

答 預言者モハメッドはイスラム教に責任を持っていますが、来るべき時代に世界に公に出て来る覚者方の一人ではありません。イスラム教を浄化する仕事（イエス覚者によってなされるキリスト教の浄化と同じような線に沿ってなされるその仕事）は、モハメッドであった覚者が指名するイニシエートによって実行されるでしょう。

質問 もしも、あなたの師やキリストが今日、国連安全保障理事会と世界の指導者たちに直接語りかけることができるかすれば、中東の、またイスラム世界全体との真の永続的な友好関係を固めるために何を助言されるでしょうか。

答 世界中に必要な不可欠な資源を分かち合うことで、正義と自由を創造することです。分かち合いは不可避であり、そのことを理解し実行するのが早ければ早いほど、すべての人々にとっての平和と安全も早く達成されるでしょう。これは中東にとっても、世界全体にとってもそうです。

質問 マイトレーヤは私たちが反応すべき想念を送り出しているでしょうか。

答 ハイアラキーは常に想念を送り出しています 世界のマインド・ベルト（想念帯）は人類によってつくられた想念で満ちており、その多くは全く価値のないものです。人類の大多数は高度なレベルにおいて覚者方の想念に同調することはできません。しかし、重要なアイディアもマインド・ベルトにあり、それに人類の中の敏感なマインドが波長を合わせます。例えば、突然、世界中で何人かの科学者が同時に同じアイディアを考えたとしても、それは、覚者がマイトレーヤによってマインド・ベルトに置かれたものです。覚者

方は、人類が前進するために特定のステップが必要だということを、例えば、あるテクノロジーが発見される必要があるということを知っています。覚者方は鼓舞する方々であり、世界の「黙想者」です。すべての文明における文化は、その時代のイニシエートたちによって創造されます。彼らが、覚者方によって鼓舞された者たちです。それは徐々に吸収され、実施され、その文化から文明が創造されます。文化がまず初めに生み出されます。

すべての偉大な教師たちや科学者、画家、あらゆる種類の芸術家たちの背後には、時代を通してハイアラキーの覚者方がおります。レンブラントがレンブラントであるのは、彼が彼の師であった覚者によって鼓舞された第三段階のイニシエートだったからです。ティツィアーノやモーツァルトも同様です。レオナルド・ダ・ビンチは四・四段階のイニシエートであり、ほとんど覚者でした。世界のすべての文化は、人類の意識の漸進的ぜんしんな拡大それが進化ですが、を刺激するために世界に送られた世界のイニシエートたちによって創造されてきました。

質問 覚者方との交信について、それは誰もが学ぶことができるようなものですか。

答 テレバシー（思念伝達）は人類の生来の属性です。誰もがテレバシー的ですが、大部

分は訓練されていません。非常に親密な人々、夫婦、恋人、母と子などの間では、テレパシーのコミュニケーションが起こることがありますが、それは当てにできるものではありません。またそれについて考えることさえありません。

覚者方やそれに応えることのできる弟子たちによつて用いられているテレパシーは、意図的で意識的なメンタル能力の使用であり、私たち皆が潜在的に持つていても大部分は開発されていない能力です。その能力は覚者方によつて高められることができますが、覚者方は楽しみのためや、何かをしてほしくてそうするものではありません。覚者方がそうするのは理由はあります。人間の目の前に現れることなしに容易にすばやく交信できるように、特殊な仕事をする弟子を訓練しているのです。覚者方が姿を現すのは、思考を向けるよりも多くのエネルギーを必要とします。思考はどこにもあり、マインドの界（メンタル界）は誰にでも開かれており、あらゆる思考がマインドの界層を通っています。覚者と弟子の間のように思考が方向づけられコントロールされると、即座の交信が起こります。時には、まだテレパシー的接触ができるような能力を開発していない弟子に覚者が姿を現すことがあります。進化の自然なプロセスを通して、弟子のオーラが磁力的になったとき、テレパシーはその結果として確立されます。それは学ぶようなものではありません。実践

によつて、よりスムーズに利用可能なものになります。

しかしながら、覚者方はアストラル界（感情・情緒界）では働きません。ですから、その人々の意識がアストラル偏極でなくメンタル偏極を達成するまでは、意識的方法で覚者方による接触（コンタクト）を受けるのは不可能です。

質問 ある人が覚者からのメッセージを受け取るとき、覚者はその目的のために彼らを選ぶのですか。

答 はい、そうです。覚者方は何事も偶然には行いません。覚者方が行うことにはすべてその背後に理由があります。彼らは途方もないエネルギーを用いることができますが、エネルギーについては「けち」であり、彼らのエネルギーとエネルギー全体を一オンスも無駄に使わないのです。

質問 テレパシー的な能力は弟子によつて違いますか。

答 もちろんです。もし覚者方がテレパシーによるコミュニケーションの受けられる弟子と接触することを望めば、テレパシーを使います。それを使う理由がなければ使



ません。もちろん覚者方は、完全なメンタル・コントロールを持ち、彼ら御自身の間ではもっぱらテレパシーを使います。

質問 聖書の黙示録には、イエス・キリストの帰還を示すキリスト信者への徴が挙げられています 国が国に対して立ち上がり、飢饉、地震、災難がかつてないほど世界に起こることなど。しかし、これらのことは起こらなければならないのであるから、恐れるべきではない。そして解放が近いことを喜ぶべきである、と。これらの聖典の記述が、この覚者（マイトレーヤ）によって決して引用されないのはなぜですか。あなたは隣人愛を説きますが、聖書に予言された世の終わりの徴についてはどうなのですか。

答 キリスト教の聖書には 世の終わり についての言及が数多くあり、私たちが現在そのような状態の中にいることには同意します。私はしばしばこれらの言葉を引用します。しかし、それには注意深い正確な解釈が必要です。それらはしばしば象徴的な表現であり、文字通りに受け取るべきものではありません。例えば、最も典型的には、それらが述べているのは 世の終わり ではなく、時代 パイシス（双魚宮）の時代 の終わりのことであり、それは私たちが現在経験している天文学的事実です。この事実のために、イエス

覚者のみならず、弟子イエスを通して三年間御自身を顕現されたキリスト・マイトレーヤがこの世界での公の生活に入って来られるのです。

質問 一九八二年に亡くなる少し前に、スワミ・ムクタナンダ<sup>註</sup>は信奉者に対して、次のように語りました。それは、「アメリカが中東の国々を荒廃させる時がやって来る。しかしそれに続いて世界に偉大な教師が現れ、荒廃の中を歩む彼の歩みの中から花が咲くだろう」というものです。(1)それは、アメリカのイラク侵攻、外交政策、アメリカの代理人であるイスラエル支援を通じて、今中東で起こっていることですか。(2)マイトレーヤの公の出現のタイミングは、現在の中東の出来事に関係していますか。(3)スワミ・ムクタナンダのこの予測は正確ですか。

答 (1)はい。(2)いいえ。(3)おおむね正確です。

註<sup>1</sup>シッタ瞑想を西洋に広めた瞑想のマスターであり第四段階のイニシエートであった。

質問 貧しい人々は、私たちが「キリストのからだ」と呼ぶところのものの重要な部分

ですか。この象徴的な言葉のリアリティ（実相）についてもっと説明してください。

答 貧しき者たちはマイトレーヤにとって、おそらく「キリストのからだ」の最も重要な部分ですから、その答えは然りです。

「キリストのからだ」というのは、キリスト原理（愛の原理）が目覚めている人々のことを意味します。マイトレーヤの仕事はこれらの目覚めた魂（人々）をグループにまとめ、彼らを進化の周期の中の第一と第二段階のイニシエーションに導くことです。これは絶えず続いていく過程です。彼は今でもそれを行っており、そしてこの過程は速められるでしょう。マイトレーヤは国から国を巡り、第一段階のイニシエーションの準備のままでいる人々を、そしてそれよりも数はずっと少ないですが第二段階のイニシエーションの準備のできている人々を、グループとして一堂に集めるでしょう。それが「キリストのからだ」です。それには貧しい人々も裕福な人々も、中産階級、中流の下、中流の上の人々も含まれます。つまり人類の魂であるキリストの聖なる光が裡（うら）に灯されている人々です。マイトレーヤはそれに働きかけ、育成し、強化し、彼らをイニシエーションの門に導いていけます。この最初の二段階のイニシエーションがその人を第三段階のイニシエーションのために整えるのです。第三段階のイニシエーションは世界の主であるサナット・

クマラの御前で受けるのです。

これはもちろんキリストである彼の大きな関心事です。なぜなら第三段階でサナツト・クマラの御前に来る者はすべて、その前に第一と第二段階のイニシエーションでキリストの御前に来なければならぬのですから。この意味で、キリスト教徒の言葉にあるように、キリストは「道」であり、「いのち」であるのです。

長い進化の周期の中で、最後の幾つかの転生体験（二十〜三十回かもしれません、でもそれ以前の転生回数に比較すればわずかです）は、五つの意識の大いなる拡大によって特徴づけられます。それがイニシエーションです。それは意識の拡大であり、第一イニシエーションで始まり、第五イニシエーション、すなわち復活のイニシエーションで最高潮に達します。それがあなた方を覚者（智慧の大師）にするのです。覚者方はすべてこれらの五段階のイニシエーションの体験をたどられたのであり、この会場にいるあなた方すべて、そしてこの惑星に住む人間すべてがやがてその同じ過程を通してでしょう。

「キリストのからだ」というのはキリスト教徒の象徴的な用語であり、裡うらにキリストが見いだされ、表されている人々、裡うらにキリスト原理が目覚めた人々を意味するのです。キリスト原理が裡うらに目覚めている者たちの数は十分でないので、キリストは世に出て来ること

ができないと考える人々や団体がいることを私は知っています。つまりそのように言う人々は、自分たち自身を平均的な人々よりもより特別だと見なしており、キリストが彼らにとつて現実であるという感傷的なアイデア（彼らにとつては現実ですが）を持つ人々だと私は思います。必ずしも宗教的な意味で述べているものではありませんが、それを含むかもしれません。キリスト原理が裡うちに目覚めている人々は何百万人もいます。

この世に転生している人々の中で、すでに第一段階のイニシエーションを受けている人々八十五万人の裡にキリストは、キリスト原理は目覚めています。それはとても大勢です。自分たちのように啓発されており、特別な人間の数はあまりにも少ないので、キリストが世に出て来ることはできないと考えている特定のグループの考えは全くばかげたことであり、大きなグラマーです。世界には、第二段階のイニシエーションを受けた人々が二十四万人いるのです。ですから、キリストは非常に多くの人々の裡に生まれているのです。第三段階のイニシエーションを受けた人々は世界に三千人から四千人います。

「キリストのからだ」とは、キリスト原理がハートの裡うちに目覚めている人々のことです。この「アクエリアス（宝瓶宮）の時代」の終わり（約二千五百年後）までには人類の大多数が第一段階のイニシエーションを受けるでしょう。そしてより少ない数の人々が第二段階

を受けるでしょう。さらに少ない数の人々が第三、第四段階、そして第五段階のイニシエーションを受けるでしょう。

これが「キリストのからだ」です。それはこの質問に示唆されているような貧しき者たちのみではありません。日常の必需品を欠き、苦悩の中に生きている貧しい人々に対して、マイトレーヤは特別に関心を持ち、特別の責任を感じ、特に愛しく感じられるのは確かでしょう。なぜなら彼らの必要が彼の愛を引き付けるのです。彼は「愛の主」ですから。

註イニシエーションに関するより詳細な記述はクレーム著『マイトレーヤの使命』第一、第二、第三巻を参照。

質問 私は『シエア・インターナショナル』誌を購読してもう十年以上になります。寄付金を出し、瞑想に参加し、何冊か本を読み、定期的にウェブサイトを読み、ロサンゼルスとロンドンではベンジャミン・クレーム氏に会いました。実際、私は、講演会に出席することができるよう、家族とロンドンで休暇を過ごす計画を立てました。私はクレーム氏の周りに醸し出される霊的力を感じるほどに敏感です。このために私は彼の話に耳を傾

け続けてきました。しかしながら、霊的な指導は啓発的だと感じる一方で、しばしば政治的には見当違いに思われます。

とりわけ、私はこの雑誌の「質疑応答」の欄を毎月注意深く読み、クレーム氏と『シエア・インターナショナル』誌の政治的傾向にますます戸惑っています。そのために、私はその組織により深く参加できません。他の情報源にいかなる裏付けも持たない突飛で無責任な断定があまりにも多く、私はプログラムの他の部分も疑い始めています。あなたの意見を隠してほしいとお願いしているではありません。意見を公にするのはいいことだと思います。しかしながら、それはあなたやおそらく他の人々への信用を制限すると思います。いずれにせよ、ご健闘を祈ります。

答 『シエア・インターナショナル』誌の政治的、経済的な要素について不満を感じておられるのは、きつとこの質問者だけではないと思います。雑誌の「霊的な」要素が純粹に「政治的な」要素によってますます侵食されていることに彼が戸惑っていることは理解できます。政治的発言の多くは現在のアメリカ政権を深く批判するものであり、アメリカ政府が現在の世界の混乱、恐怖、ストレスに多大な影響を与えていることを非難しています。質問者はアメリカ人であり、アメリカの行動を異なって認識しているので、記事が苦痛で、

悩ませるものであり、困惑を感じるのだと思います。ここ英国でも同じで、政府が嘘をつき、アメリカの行動を支援するのを見ると、多くの英国人が困惑しています。

私たちのアプローチは決して党派的ではなく、読者からの質問は疑いなく他の場所では得ることのできない真実の答えを求めているのだということを忘れるべきではありません。確かに、すべての読者が、答えを「突飛で無責任な断言」と感じてはならず、まさにハイアラキーの裏付けのあるものと見なしています。

『シエア・インターナショナル』誌の公言された意図は、新しい時代の思考の二つの主要な方向　政治的なものと霊的なもの　を一つにして、現在世界的に起こっている政治的、社会的、経済的、そして霊的な変化の底にある「統合」を明らかにすることです。『シエア・インターナショナル』誌にとって、人類の生活をより良くするものは、それが物質界にあるうが、メンタル界にあるうが、「霊的な」界にあるうが、すべて霊的なものです。

マイトレーヤはなぜ、戦争と不正義をやめるための政治的行動を呼びかける何百万の反対者たちと共にデモ行進に参加するのでしょうか。私たち皆が苦しみながら通り抜けている霊的危機は今日、政治経済の分野に集中しています。これらの分野の中でのみ、それを解決することができ、正しい人間関係の確立のための道を開くことができます。



質問 私が知っている過去の霊的教師たちは、政治には関与せず、霊的、精神的な発達に集中していました。私はあなたが政治に集中されることに戸惑っています。説明をお願いします。

答 なぜ私は政治に関心を持つのか。なぜなら私は、すべての人々のための愛と正義と自由に関心があるからです。政治、経済、それがリアリティ（現実）です。それが霊的なことです。どこまでで霊的であることをやめるのですか。いつ霊的であることをやめるのですか。人間の霊性の度合いをどうやって測るのですか。生命あるあらゆるものは霊的です。私たちは霊的な宇宙に生きています。それ以外ではあり得ません。問題は、私たちがそれを霊的なものにならないことにあるのです。私たちは、これまでに考案された最も腐敗した政治を持ち、最も腐敗した経済構造を持っています。それらは霊的ではありません。しかし霊的であるべきであり、霊的でなければなりません。

私が話しているのは霊的な政治、霊的な経済についてであり、キリスト御自身、世界教師、主マイトレーヤ御自身は、最初は、政治と経済に焦点を置かれるでしょう。私が言っていることは、マイトレーヤからのものです。これらは彼の考えであり、彼のアイディアです。政治、経済は最も霊的なものであるべきです。政治とはいかに人々が共に生きるか

についてであり、経済とはいかに私たちが世界の資源を分配するかについてです。もし霊的でなければ、今日そうであるように、政治も経済も良くないでしょう。どちらが霊的なのでしょうか。あなたが言う霊的教師たちか、あるいは私か。人々がどのように生きていくかに関心を持つのは誰でしょうか。家族を飢えから守るために、一日一ドル稼ぐために一日十六時間働かなければならない人々に、霊的精神的発達について話すことは無理です。今日の世界の危機は霊的なものであり、それは政治と経済の分野に集中しており、これらの分野でのみ解決できません。

質問　マイトレーヤの存在というこの“奇跡”と、人類の自由意志をどう結び付けることができるのですか。

答　実際には何の矛盾もないのです。覚者方にとっては、人間の自由意志は神聖なもので、決して彼らがそれを侵すことはありません。マイトレーヤが人間の日常生活に戻れることは、実際は奇跡ではありません。彼は法の下で、大計画に沿ってそれを行っており、彼の到来は長い年月をかけて準備されてきました。それは、ただ単に、大部分の人々が彼のことを、大計画のことを聞いたことがないだけです。

質問 人類が自由意志を持つとすれば、自由意志を侵さずにマイトレーヤがある時点で介入することがどうして可能なのですか。一九七七年にマイトレーヤがヒマラヤから降りて来る決断をされたとき、彼はこう言ったとあなたは言われました。「人類の用意ができていようがいまいが、私はやって来る」

答 彼の到来は、そのような宣言を公に行わない限り、私たちの自由意志を侵害したことはなりません。大部分の人々は、今でもマイトレーヤがこの世にいることに気づいていないと思います。

質問 マイトレーヤは、なぜ、いつもあなたを通してではなく、直接に語らないのですか。

答 吠えてくれる犬がいるのに、あなたは、自分で吠えたりしますか？ マイトレーヤのような御身分の方の到来は、かなり前もって準備されなければなりません。

質問 覚者方が公に出て来られるのには、人類が良いカルマをつくるまで待つ必要があるのなら、彼らもまたカルマに左右されているということですか。

答 覚者方は個人的なカルマをつくることはありません。しかし、人間と関わる彼らの活動は、世界のカルマによって条件づけられます。人類が良いカルマをつくらなければならぬということではなく、正しい方向へ向かつての第一歩を踏み出すだけでよいのです。

質問 現実的に言って、もしマイトレーヤが現れたら、彼を殺したい人々がいるのではないですか。そうしたらどうなるのですか。

答 その問題は起こりません。「現実的に言って」、多くの人々が彼を殺したいと思うでしょう。世界のために良いことをしている人であればそれが誰であれ マーチン・ルーサー・キング牧師やケネディー大統領のような その人を殺したいと思う人々がいつもいます。それはいつも起こっています。アブラハム・リンカーンは正しい関係のビジョンを持っていたために暗殺されました。しかしマイトレーヤに関しては、暗殺を試みることができませんが、失敗するでしょう。マイトレーヤを見ることさえできず、彼が随意に姿を消すことができ、全知遍在であり、肉体を創造し、一瞬のうちにそれを創り直すことができる人を、どのようにしたら殺すことができるのでしょうか。

質問 あなたは、イエス覚者はローマの近くにいると言われました。それは地理的な意味ですか。それとも彼は、それと知られずにキリスト教共同体に属しているのですか。

答 地理的な意味です。イエス覚者は長年ローマ郊外に住んでいます。彼はキリスト教共同体のメンバーではありませんが、バチカンにいる弟子たちを通して働いています。

質問 あなたは、ゴータマ王子は仏陀にオーバーシャドウされたと言われました。もしそうだとすれば、禁欲、瞑想、無執着といった彼のすべての修行は覚者によって与えられたこととなります。そうだとすると、彼が「知識」と靈的体験に到達する可能性が制限されたこととなります。あなたはどうか考えですか。

答 私は、ゴータマ王子は仏陀にオーバーシャドウされたと言いましたが、ゴータマ王子はすでに第四段階のイニシエートであり、あなたが言及された特質はすでに彼の中に存在していました。オーバーシャドウによって彼が得たのは、何百万もの人々に二千六百年にわたって靈感を与える高度な靈的地位です。

質問 何が起こったために、九万八千年ぶりに今、覚者方が世界に戻られるのでしょうか

か。

答 覚者方は、世界に戻るだろうということを長い間ご存じでした。彼らは彼らの進化の周期の終わりに近づいており、それは彼らが、すべての界（物質界、アストラル界、メンタル界）において同時に機能することができると彼らの能力を示すために、集団として、グループ形成で世界に戻ることを必要とします。唯一の疑問は、それがいつになるかということでした。世界は核兵器を持っています。そのほんの一部だけで地球上のあらゆる生命を破壊することのできる原子爆弾を（密かに保持している国を含めて）二十八の国が持っています。だからこの惑星の全生命の破壊を防ぐために、覚者方はマイトレイヤと一緒に出て来られるのです（マイトレイヤが世界に戻る意図を発表されたのは一九四五年、第二次世界大戦の終わりでした）。今のまま進めば、私たちはすべての生命を破壊します。先進国と途上国の間にある分割に内在する緊張は、世界規模の戦争の種子を秘めています。その戦争は核戦争になるでしょう。

質問 地上にいる十四人の覚者方は転生した（赤ん坊として生れた）のですか、それともただ地球に現れたのですか。

答 彼らは御自身の成人としての肉体を持って、現代世界における彼らの役割を担うために隠遁所から出て来られました。

質問 『シエア・インターナショナル』誌一九九四年三月号に、マイソールにアシュラムを持つ南インドの聖者スリ・ガナパティ・サッチダナンダ・スワミジについての記事が載っていました。彼はサイババやスワミ・プレマナンダと同じような奇跡を行い、『シエア・インターナショナル』誌の記事で述べられた以外にも、ヒプーティやロケットなどを物質化します。マハシヴァラトリの夜には、スリ・ガナパティジもまたシヴァリンガムを物質化します。しかしサイババやスワミ・プレマナンダとは違い、口からではなく、火の儀式の間に火から取り出すのです。このためにスワミジは儀式の間半時間ほど火を焚たいている穴に入りますが、巨大な炎によってもやけどしません。彼の弟子たちは彼をヒンズー教の神ダッタトレーヤというアバターであると信じており、彼を通してブラーム、ヴィシュヌ、シヴァのエネルギーが働くとしています。あなたの師は、彼が南インド・ロツジの覚者方のサークルにどう当てはまるのか、そして、私たちの知っている南インドの他の二人の偉大なアバター、サイババとスワミ・プレマナンダと彼との関係を説明してくださいか。

答 スリ・ガナパティ・サッチダナンダ・スワミジは、人類にとつてのこの危機と変化の時代に転生して来られた少数のアバターたちのグループの一員です。手法やアプローチは様々ですが、底にある目的は地球という惑星に仕えることです。

質問 アリス・A・ベイリー著『キリストの再臨』に次のように述べられています。「世界の天帝、日の老いたる者と呼ばれる霊存在、神の玉座の御前に在られる七つの霊、東洋の霊的指導者である仏陀、西洋の霊的指導者であるキリスト、これらの方たちすべてが、この惑星上に実際に物質界にて存在するという事実が、このクライマックスの時期に我々に知らされる」。この文脈における「物質界」という言葉が意味するのは、(1)サナット・クマラは主マイトレーヤと同じようにこの地球上に生きている一人の人間だということですか。(2)七つの霊もまた人間の形で顕現しているのですか。(3)仏陀は実際この時代に人間の肉体を持って地球上に存在しているのですか。あの文章は確かにそのように読めます。

答 (1)はい。(2)はい。(3)キリスト・マイトレーヤ以外は、上に名前の拳がった方々はみな、最も高位のセンターであるシャンバラにおいて、「エーテル」物質体として存在しておられます。



## 何をなすべきか

「わたしがここに居ることを、わたしが戻ったことをすべての人々に知らせなさい。そして大宣言の日のために、神の贈り物であるその日のために、人々を用意させなさい。なぜならその日に、人は皆共に、神の意志の成就を祝うであらう。わたしの到来がもたらすものは、それ以下のものではない。」

(マイトレーヤのメッセージ第二十五信より)

質問 マイトレーヤについてのあなたの情報を読みましたが、それを日常生活の中でどのように活用すればいいかわりません。私はそれを信じますが、非現実的にも思えます。アドバースをいただけますか。

答 マイトレーヤの到来は世界の変化を意味します。この惑星、生態系の必要についての理解の変化、すべての人々が十分に養われるような経済システムの変化、あらゆる場所の人々間の関係の変化です。人類は一つであるということをも真に理解することが、この

深遠な変容の絶対的な必要性を示すでしょう。それは新しい世界をつくることです。

あなたはこの惑星で独りではありません。ですから、これらの変化があなたとあなたの生活に関わるものであることが分かるでしょう。そしてそのことによってマイトレーヤ到来のリアリティと意味についての感覚が深まるでしょう。

マイトレーヤは一人でやって来るのではなく、完成された方々である智慧の覚者方のグループの長です。人類がマイトレーヤと覚者方の助言と指導に真剣に耳を傾けるにつれて、この世界の変化のプロセスが起こり、それは次第に私たちの生活のあらゆる分野に及ぶでしょう。これはもちろん他のすべての人々と同じようにあなたにも影響を与えます。マイトレーヤの到来をこのように考えるならば、彼の到来が私たちにとって意味することがより深く理解できると思います。

質問 あなたからの情報を聞いた今、私たちは何をなすべきでしょうか。

答 自身は長年にわたる経験から一〇〇パーセントの確信を持っていますが、もしあなたが五パーセントでも確信を持つなら、私と同じようにすることです。あなたの能力及ぶ限り、人々に告げ、メディアに話し、記事を書き、会を開くことです。この出来事が

起こっていることに耳を傾けるすべての人に話しなさい。あなたの知っていること、信じていることをただ話すのです。

もしあなたがいくらからでも確信するなら（すべての答えを知っていなくとも構いません。ただ知らないと言えばいいのです）、あなたの信じていることを話しなさい。このようにしてあなたは証人となり、人々は耳を傾けるでしょう。彼らは必ずしも納得しなくてもいいかもしれませんが、情報を耳にするでしょう。彼らの心（マインド）は可能性に対して開かれるでしょう。それが重要なことなのです。

質問 今、私にできることは何ですか。私はちっぽけな一人の人間にすぎません。

答 あなたは一人ではありません。世界中の何百万もの人々の一人です。正しく思考する何百万もの善意の人々の一人です。彼らに加わりなさい。彼らも、あなたと同じように世界の平和を欲しており、世界にある不正義（非公正さ）が平和を妨げていることを知っています。それを知らせなさい。他の人々やグループに加わりなさい。人類は善に向けての途方もない力（フォース）であり、変化は民衆の上げる声を通して起こるでしょう。すべての国で民衆の声が沸き上がるでしょう。それは、人々が知るうが知るまいが、マイト

レーヤによって鼓舞され、導かれ、活性化されるでしょう。民衆の一致した意志が政府に変化を強いるでしょう。

質問 善は悪に勝利するでしょうか。

答 はい！ もちろんです。終わりは始めから知られています。善は必ず勝利します。なぜならそれは、この惑星に魂を吹き込んだ神聖な存在の意志だからです。しかし、私たちがそれを行わなければなりません。それはひとりで起こりません。マイトレーヤはどのように言われます。「ひとりで起こるものは何も無い。人は行動し、その意志を実行しなければならぬ」。私たちがどんな理想を持っていても、どんなに平和を望んでいても、食物が十分にあり、何百万の人々が飢えないことを望んでいても、何週間も食べていないために膨らんだお腹を抱えている幼児がいなくなることをどんなに望んでいようと、それは、私たちが行動し、それを実施させるまでは、実現しないのです。

質問 キリストや覚者方がこの世にやって来るといふあなたの主張が正しければ、それは一般の人々が対処するにはあまりにも巨大な、大きすぎる経験ではないですか。

答 マイトレーヤと覚者方は、私たちの見地からは完成された霊的存在ですが、率直で、素朴で、人類に対するアプローチにおいて完全に尊敬できることが分かるでしょう。彼らは、一般に想像されているような遠く離れた神のように振る舞うことは決してないでしょう。彼らは、私たちと同じような人間ですが、欠点のない人間です。彼らはユーモアのセンスがあり、アプローチが率直で、すべての人々の内的な霊的本性を私たちよりもよく知っています。マイトレーヤは愛の主であり、豊的ハイアラキーはこの惑星で神の愛が表現される中心です。そのことが私たちに対する彼らのアプローチを示しています。それは無条件のものです。

質問 あなたの情報やマイトレーヤについて、誰にでも話してよいですか。

答 誰にでも話さない！ あなたに耳を傾ける人々誰にでも。あなたがほんの少ししか信じていないとしても、そのレベルで話さない。あなたが完全な確信を持っているなら、そのレベルで知らせなさい。他の人々に話さない。そうすることであなたはマイトレーヤの到来のための期待と希望の風潮をつくることになり、彼は私たちの自由意志を侵すことなしに私たちの生活の中にお入りになることができます。それが今日あなたに

できる最も重要なことです。

質問 世界の歴史の現時点で、私たちができる最も重要な奉仕は何ですか。

答 ハイアラキーの外的顕現の事実を知らせ、マイトレーヤと覚者方の存在と計画を知らせることです。

質問 新しい（アクエリアスの）時代の開始に当たって、私たちができる簡単な変化は何ですか。

答 分かち合いを実行することです。正義と平和を生み出すことです。正しい人間関係をつくり、アクエリアス（宝瓶宮）の時代にとっての鍵である和合と統合を生み出すことです。私たちはみなひとつであり、ひとつの人類社会の兄弟姉妹であることを認識しなさい。見かけ上の違いは重要ではありません。どんな国や人種であろうと重要ではありません。私たちはみな過去に、様々な人種や国々に転生してきました。今はオランダ人でも、次の人生では中国人になるかもしれないし、アフリカ人かルーマニア人になるかもしれません。今彼らと友だちになっておくことです！

質問 私はあなたのウェブサイトを見つけて、マイトレイヤと彼の教えについて知ったことをうれしく思います。それは私の目を開き、私の疑問に多くの答えを与えてくれました。しかし、私には理解できないことがあります。マイトレイヤについて読んで以来、私は非常に敏感になってしまいました。テレビで悲しいことや恐ろしいことを見るたびに、あるいは年老いた女性が道を歩いたり、何か美しい物を見たりしてさえも、涙が出てくるのです。誰かがその人の悲しみや苦痛を私に話すと、私はそれを、まるで自分がその人であるかのように、感情的にあるいは肉体的にさえ感じます。私はそれをコントロールできないので、自分に何かできることはないか知りたいのです。友人や世間一般の人々の目には私はおかしな人間に思われ始めたようです。

マイトレイヤについて知って以来、私は内的な葛藤を感じるようになりました。マイトレイヤの教えを、私の物質的な生活やこの物質的な社会の中にどうやって組み込んでいけばよいのか分かりません。世界の問題を考えることなしに終わる日は一日もありません。それは私を無気力にさせ、私は罪悪感と無力感に襲われます。あなたが心理学者でないことは存じていますが、何かアドバイスがあれば、きっと私の助けになると思います。

答 この反応は、マイトレイヤの言葉の持つアイデア、思想、内的な意味に対する敏

感な反応がいかにかにハートを開くかの素晴らしい表現です。この場合には、それが起こっているのです。この人はマイトレーヤが「マインドの正直さとスピリットの誠実さ」と呼ばれるものに（正しく）反応しています。それは私たちすべてに内在していますが、不幸にもめったに表現されません。それは人類の基礎にある一体性と和合の表現です。しかしながら、マイトレーヤは、無執着の開発をも提唱されています。それは仏教徒が平常心と呼ぶものであり、それが欠けているのでこの人は困難を感じるのです。この方は世界のあらゆる痛みや苦しみを生き生きと経験することができるようになりましたが、それについて何かをしようと決めたとき、その治療のために関わろうと決めたときに、無執着への最初のステップを取ることができます。医師や看護師が感情的に巻き込まれることなく非常に厳しい体験に対処することができますように、無執着は必要な仕事を実行することを可能にします。それゆえにマイトレーヤは私たちが獲得すべき特質として、無執着を非常に強調されるのです。マイトレーヤ御自身は全知遍在であり、世界の無数の人々の痛みや苦しみ、恐怖や苦悶を一瞬一瞬体験されますが、無執着であり喜びに満たされています。そうであれば彼らを助けたり、自らの使命を果たすことはできないでしょう。

無執着を得るのに理想的な方法は奉仕に関わることです。この質問者は、その方向に向



けた最初のステップとして伝導瞑想グループに加わることを考えてもよいかもしれませんが。もしこう言ってもよければ、この質問はマイトレーヤ、「愛の主」の思想とアイディアに対する美しい、そして素晴らしい反応であると思います。

質問 あなたの情報信じ、マイトレーヤを見るのを待ち望んできましたが、だんだん信じるのが難しくなっています。なぜ彼はすぐに公に現れないのでしょうか。世界の状況は確実に悪化しています。多くの人々はもうニュースを聞くのに耐えられません。あまりにも多くの苦しみと不正があります。

答 その感覚は理解できますが、それはただの感覚にすぎず、マイトレーヤが無視することのできない法を考慮していません。それは人間の自由意志の法です。過去三十年間のいつでも、私たちが今日の悪を正し、分かち合いの原則を実行し、世界に正義と平和を回復させる手段を取っていたならば、私たちはマイトレーヤをとつくに見ていたでしょう。責められるべきなのは私たち自身であり、マイトレーヤ（や私！）ではありません。

質問 私は、覚者方があまりに上手に隠れているのを悲しく思います。私たちは用意が

できており、世界の日々の愚かさにもうんざりしています。なぜ彼らは今出て来てくださらないのでしょうか。用意のできている者たちのために。

答 これも同じアイディアです のんびりと座って、神や覚者方に出て来て掃除してもらうのを願うのです。私たちがそれをしなければなりません。私たちが散らかしたゴミは、私たちに責任があるのです。のんびり座って神や覚者方が私たちのためにそれをするに頼ることはできません。私たちがそれを欲しなければ、決して起こりません。

人類は自由意志を持ちます それは最大の贈り物であり、人類の裡なる神性です。自由意志がなければ私たちは進化しないでしょう。その自由意志は覚者方にとって不可侵のものであり、彼らは決してそれを侵害なさいません。ですから覚者方が出て来て、私たちのためにすべてを片付けることはできないのです。この世界が多くの人々にとって素晴らしい世界でないことを彼らはご存じです。成功したヨーロッパ諸国の、豊かで富裕な人々にとつては良い世界かもしれませんが、周囲何百マイルに何も存在せず、与えるものが何もないために子供たちが死んでいくのを見るしかなく餓死する人々が世界には何百万人もいます。きれいな飲み水さえありません。

私たちは非常に自己満足に陥っています ヨーロッパ人、アメリカ人、日本人は、そ

の快適で小さな生活の中にいて（すべてがそうだと言うのではなく、一般的な意味で言っています） 圧倒的多数の人々がどんなふう生きて死んでいるのか考えることもありません。そのことを認識しなければ、私たちは決して変わることはないでしょう。それを変えたいならば、行動しなければなりません。さもなければそれは起こりません。

質問 あなたは（講演の終わりに）マイトレーヤは私たちが正しい選択をなすことをご存じであると言われました。それは、最後にはすべては良くなるのだから、何も心配することはないという印象を与えました。しかし、物事を変えるには私たちは犠牲を払い、努力する必要があるのではないですか。私たちは変化を起こすよう刺激される必要があります。

答 はい、本当に、全くそのとおりです。それが肝心なのです。私たちがそれをしなければなりません。私たちが変化を起こさねばなりません。マイトレーヤは言われます。「何事もひとりで起こるものはない。人は行動し、その意志を実行しなければならぬ」(メッセージ第三十一信)。私たちはただ座ってほかの誰かがやってくれるのを待ってはいけません。変化を起こしたければ私たちがそれをしなければなりません。変化を要求し、デモ行進に参加し、連帯し、合法的なあらゆる方法を使って変化を生み出すことのできる人々

に变化への欲求を伝えなければなりません。誰もが、道を先導し、变化を要求し、すべての人のための正義と自由を要求する機会を持っています。なぜそうしないのですか。私の話を何度も聞きに来るより、世界の平和と正義と自由の旗を掲げて行進したらよいのです。

それが变化を起こす唯一の方法なのです。それはマイトレーヤの鼓舞を受けるかもしれませんが。彼のエネルギーがそれを生み出すかもしれませんが。しかし、私たちがそれをしなければならぬのです。私たちが要求しなければなりません。

民衆の声が支持を得てきていますが、まだよく耳を澄まさないと聞こえません。もっと大きな声にする必要があります。マイトレーヤにできるのは、人間を教育し、知らせ、鼓舞し、頼りになる器うぐい。世界のすべての国の民衆の声 をつくることです。それに対して世界のどんな国の政府も立ちはだかることはできません。明確な表現能力を持つ民衆を生み出すことです。平和、正義、自由を求める、知らされ、教育された世界的世論がとても必要です。そのようにして变化は起きるでしょう。

質問 例えば、マイトレーヤに話しかけたり、助けを求めるには、どうすればいいでしょうか。

答 マイトレーヤは、彼に接触するための単純で直接的な手段を与えられました。この目的のために与えられたマイトレーヤの「手」<sup>註</sup>を使いなさい。単にそれを見れば、即座に彼の注目は援助を求めた人に引き付けられるでしょう。

註 マイトレーヤの『手』の写真は本書の巻末に掲載されている。

質問 『シエア・インターナショナル』誌がマイトレーヤの奇跡をあまりに重視することに驚いています。私自身は全く疑ってはいませんが、奇跡について語り過ぎると多くの人々を道から遠ざけるように思うのです。ある意味で、私のアプローチは次の言葉に表されます。「おお主よ、あなたの奇跡 にもかかわらず、私はあなたを信じます」。私は「奇跡」という言葉そのものに抵抗があるのかもしれない。なぜなら、実際には私たちが「奇跡」と呼ぶものはマイトレーヤにとっては全く自然なことであり、私たちがそれに驚いていること自体が驚くべきことなのかもしれません。「コメントをいただけますか」。

答 奇跡についての報告について、質問者のような反応をする人々は他にもいますが、これらはマイトレーヤが臨在することの徴<sup>しるし</sup>であり、多くの人々にとっては、彼の存在が事

実であることを明らかに示すものです。マイトレーヤは次のように言われました。「徴を求める者はそれを見つかるだろう。しかし私の出現の仕方はもっと単純である」(メッセージ第十信)。宗教的な人々にとつて奇跡は希望の徴であり、多くの人々は、(どんな名で呼ばれようとも)「教師」の存在を受け入れ信じる前に、そのような奇跡を求め、要求さえします。

質問 光のパターン<sup>註</sup>の数が増えているように思うのは、私の想像でしょうか。それは至るところにあるように思われます。

答 はい。光のパターンの数はますます増えており、今では世界のほとんどすべての国で見ることが出来ます。

註＝巻末の写真を「参照ください」。

質問 世界中に出現している光のパターンによって人々が癒されているという話を多く聞きます。それには治療の効果があるのですか。

答 光のパターンそのものは治療の光ではありませんが、マイトレーヤはときどき 奇

跡的な 治療を行うために、光のパターンを利用なさっています。

質問 マイトレーヤは彼の正体を知っている人々に現れているようであり、マイトレーヤの正体を彼らが知っているということ、マイトレーヤもまた知っている、ということ、彼らは知っている等々です。これは彼の出現が新たな段階に入ったことを示すものですか。

答 はい。マイトレーヤは確かに、彼の出現を伝える仕事に関わっているグループに、ますます頻繁に現れています。マイトレーヤであるとすでに確認されている姿でさえ現れています。このことは彼の外的な出現が近いという印象を与えますし、私はそうだと思います。

質問 マイトレーヤは御自身をより頻繁にお見せになっており、変装した姿ではありませんが、真実の姿をより多くお見せになっているように思うのですが、この解釈は正しいですか。

答 いいえ、正しくありません。多くの ファミリア(想像でつくり上げた人間、あるいは実存する人間の姿形を模倣する) の姿を取って、マイトレーヤは長年現れてきたのと同じ

頻度を保っておられます。しかし前に述べたように、マイトレイヤのものすでに確認されている模倣（ファミリア）で、より頻繁に現れています。

質問 私はあなたのウェブサイトを定期的に読んでいます。覚者方が貴重な時間を使って誰かに現れ、あなたと共に働く人々と、時には一〜二時間も過ごすのはなぜか教えてください。彼らはとても忙しく、世界には多くの問題があり、癒したり救ったり慰めたりすべき人々はたくさんいます。ですからそれは合理的なことに思えません。

答 その答えは次の事実の中にあります。マイトレイヤや覚者方が誰かに現われるとき、その人々が見たり話したりするのは覚者やマイトレイヤそのものではなく、ファミリア、すなわち想念形態であるということです。覚者はそれを御自分の意識の一部を使ってつくることができます。覚者は意識を分割して、何千もの別々の活動を同時に行うことができます。マイトレイヤの場合、彼は文字通り全知遍在です。

質問 いったんマイトレイヤが公に現れ、私たちが行動を始めるとき、私たちの活動は彼によって強化され、より効果的なものになるでしょうか。



答 マイトレーヤはすでに世界におられますが、彼が公に出現すれば、私たちが正しい方向 すべての人の一体性、正義、自由 に向かって行うあらゆる行動は、彼の援助とエネルギーを呼び起こすでしょう。彼は私たちの行動を強力にしてください、変化は途方もないスピードと正しい順序で進行するでしょう。

質問 (1) (これまでに) マイトレーヤについての情報を聞いた人々は何人くらいいますか。

(2) そのうち、その可能性に心を開いている人はどのくらいですか。(3) 実際に信じているのはどのくらいですか。

答 (1) 約三千万人です。(2) 約二千万人です。(3) 約二百万人です。

質問 (1) およそどれくらいの人々が、彼らの魂の目的の一部として、この時代にマイトレーヤとハイアラキーの道を整えるために転生しているのですか。(2) そのうち、この呼びかけに応じて実際にこの過程に関わっているのはどのくらいの割合ですか。

答 (1) 四千六百人。(2) 七十パーセント。

質問 今のこの時代に転生していることがなぜそんなに重要なのですか。

答 今は地球の歴史上ユニークな時代です。新しい宇宙の周期 アクエリアスの時代がちょうど始まっています。その結果、次の二千三百五十年くらいの間に、生活のあらゆる領域にとつともない変化が起こるでしょう。とりわけ人間の意識の巨大な変化が徐々に起こり、それは深さと広さにおいて、これまでの歴史におけるどんな変化よりも大きなものになるでしょう。これは、アクエリアスのエネルギーと、九万八千年ぶりに初めて起こる霊的ハイアラキーの仕事の外的顕現によってもたらされる途方もない刺激の結果でしょう。キリスト・マイトレーヤ、そして彼の弟子たちの一団がアクエリアス（宝瓶宮）の時代全体を通じて実際に肉体で地上に臨在し、人類が平和と自由と正義のうちに進化することを助けてくれるでしょう。

したがって、世界に奉仕する途方もない機会がすべての人々に与えられており、生活のあらゆる部門に新たな仕組みをつくる仕事があなた方を求めています。このような時代に生きていたくないという人がいるでしょうか。

質問 輪廻転生を信じるかどうかは、その人の人生にどんな影響を与えますか。

答 たとえ知的なアイディア（観念）としてであっても、何度も生れ変わるのだということとを「信じる」ならば、それが人生の大きな恐怖、つまり死の恐怖を取り除くことは明らかでしょう。それはこの人生における釣り合いの感覚と 合法的 な感覚を与え、必然的に地上における私たちの存在を支配する基本的な法則であるカルマの法則（原因と結果の法則）への理解につながります。

質問 私たちは特にマイトレーヤの出現の準備の仕事に関わるために転生してきたと言われましたが、それについてももう少し説明してください。本当にここにいる（この研修会に出席している）私たちすべてがこの目的のために今転生しているのですか。

答 マイトレーヤは非常に明確に言っておられるのに、あなた方はまだ彼を疑うのです。それについてもっと説明して欲しいと言いますが、それが本当か、本当でないか、どちらかです。あなた方の確信を強めるために、それ以上私が付け足せることは全く何もありません。あなたは信頼について話をしますが、信頼とは確信の結果であり、確信は信頼の結果です。確信を持たなければなりません。信頼しなければなりません。また経験も持たなければなりません。

もしマイトレーヤがあなた方に、このグループはこの仕事をするために世に転生してきたのだと言われるならば、あなたはそれを信じるか、信じないか、のどちらかです。これをもつと説明してくださいと私に尋ねるくらいなら、あなたが信じていないということは明らかです。これが本当であるという確信を實際持つておらず、したがって、あまり何もしないのです。すべての人についてではありませんが、この部屋にいる大多数の人が、自分自身を磨く、こと（それも實際あまりやっていないのですが）以外に、あまり何もしていないと言えると思います。両方ともというわけにはいきません。

誰もが、自分を弟子として見られ、認められたがりです。弟子（ディサイプル）とは規律（ディシプリン）という意味です。それが語源です。規律ある者です。もしあなたに規律がないならば、もしあなたが働いていないならば、奉仕していないならば、この情報でできる限りの方法で、エネルギーと時間を費やしてできる限り頻繁に伝えるという仕事をしたいならば、規律を持たないのです。あなたはそれを信じないからやらないのです。

あなた方はこの仕事をするためにこの世に転生して来たと、マイトレーヤが言われたのです。誰かがこれをやらなければならないのです。分かりますか。誰かがしなければなりません。

マイトレーヤが一九九〇年四月にロンドンで会議を召集したとき、彼はある寺院に（今おられるところとは異なった寺院ですが）住んでおられて、彼はそこにいるスワミ（僧侶）たちに会議への招待状を書くように頼みました。約三百五十名の人々が招待され、その三分の二の人々が来ました。彼らはみな世界で強力な力を持つ人々　国王、政治家、ジャーナリスト、経済専門家、ビジネスマン、宗教の指導者等々でした。あらゆる種類の人々、かなりの程度の感受性と知性を持った人々であり、さらにそれ以上のものを持つ人々もいました。しかしスワミたちは招待状を書こうとしませんでした。すると誰がそれをやったと思いますか。マイトレーヤです。世界教師であり、ハイアラキーの長であり、愛の体現者であるマイトレーヤ御自身が手書きで招待状を書かれたのです。「誰かがそれをしなければならぬ」と彼は言いました。彼はスワミたちに強制することも、不満を述べることもしませんでした。誰かがやらなければならぬと言っただけでした。しかしスワミたちは、そのような種類の仕事をやるうとはしませんでした。彼らは宗教生活の中に浸かり過ぎていたのです。それで宗教にはまり込んでいないマイトレーヤがカードを書いたのです。

誰かがしなければならぬ。誰かがこの情報を知らせなければならぬ。それはひとりで起こりません。マイトレーヤが言われるように、「人は行動して、自分の意志を実施し

なければならぬ」。あなた方はやらなければなりません。人任せにすることはできません。それは自己満足です。

あなた方がこの理由のために今この世にいるということを、私はあなた方に証明することはできません。この仕事をするためにあなたが転生して来たかどうかを、私が告げることはできませんが、しかし、もしこのグループに語りかけているマイトレーヤがそう言われるならば、私はそれを信じます。あなた方はどうか知りません。マイトレーヤを信じなくても構いません。誰も彼を信じると頼んでいません。彼を信じるか信じないか、どちらかです。彼があなたに信じるように頼むからではなく、私があなたに彼を信じるように頼むからではなく、あなた自身でそれをしなければなりません。あなたが彼を信じようと信じまいと、私は構いません。

それを言われた方はマイトレーヤであり、その言葉はマイトレーヤの心（マインド）から来たものです（もちろん私を通してですが）。彼が言われた言葉ですから、私はそれが真実であることを信じます。あなた方はこの仕事をするためにこの世に出て来たのだと私は信じます。あなた方がそれを非常に強力にやっていないということも本当だと思いません。しかし、私は偏見を持っているのかもしれない。あるいは期待し過ぎるのかもしれない。

マイトレイヤはおそらく私よりも期待していないのでしょう。なぜなら彼は、あなた方のことを私よりよく知っているからです。

しかし驚くでしょうが、わずかでも役に立つのです。少しの活動でもあなた方が見ることのできない効果があるのです。このストーリーについて話をしなさい。これは世界中で最大のストーリーです。これまでに語られたことの中で、この話よりも重要で、もっと啓発的なものはいまだかつてありません。それは私ゆえではありません。私は自分の役割を果たしているにすぎません。これは、これまでの世界の歴史の中で最も重要な出来事です。途方もないことが生じるのです、世界の完全な変容、あなた方が夢想することさえできない、あらゆるサイエンスフィクション（空想科学小説）をもってさえ想像することのできないような変容です。二十五年後の世界がどのようになっていくか、私たちは想像することはできません。

ですから、マイトレイヤが、あなた方はこの仕事をするために世界に転生して来たと言われるとき、私は彼が本当に、正確に、単純にそれを意味しておられるということを信じます。あなた方はこの仕事をなすためにこの世に出て来たのです。だからやりなさい。それのみです。やりなさい！

質問 もしマイトレイヤが間もなくテレビに出演する機会を利用されるつもりならば、グループにとってフェアや講演会や配布資料で何に焦点を当てるのが最も有益でしょうか。おそらくマイトレイヤは、分かち合いが不正とテロリズムに対する唯一の永続的な解決法であると主張されるでしょう。それが正しいならば、マイトレイヤの社会的関心、とりわけ分かち合いを鍵として焦点を当てることをあなたは助言されますか。

答 はい。そしてこの情報を知らせることの緊急性にも焦点を当てるべきです。

質問 『シエア・インターナショナル』誌裏表紙写真展は、一般の人々への素晴らしいアプローチの仕方だと思います。写真パネルはマイトレイヤの出現について語っていると限りませんが、世界の暗い部分を示し、人々を教育し、マイトレイヤの優先順位を明らかにします。あなたもこの方法を強く推薦されますか。

答 私は確かにこの方法を推薦します。これは素晴らしいアイデアであり、一般の人々に対する多くのアプローチの仕方の中の一つです。良識に適っています。それは『シエア・インターナショナル』誌の宣伝でもあり、単純なやり方です。単純さが鍵です。雑



誌の裏表紙を見ると、表紙や中の記事にも注目を引かれます。すべての内容がこのようなものであれば、これは非常に興味深い雑誌だと思ふことでしょう。

マイトレーヤ御自身が、写真記者の姿を装って、つい最近日本での写真展をおよそ二時間かけて非常に熱心にご覧になりました。それから彼は何度もそれを称賛されました。彼は、多くの人々が世界中でこれらの写真を見せれば、人々に正義の方向を示すのにとても急速な効果があるだろうと言われました<sup>註</sup>。これらの写真を広報の活動の流れの中で見せるなら、人々はそれが何についてのものかを理解することは明らかだと思います。

註<sup>1</sup>シエア・インターナショナル誌二〇〇〇年七月号の石川道子による記事「マイトレーヤはシエア・インターナショナル写真展を訪れる」をご参照ください。

質問 マイトレーヤの任務の一つは、私たちのハートを他の人々の苦しみに対して開くことで、写真展はその目的に役立つものですか。

答 確かにマイトレーヤの願いの一つは、私たちのハートを他の人々の苦しみに対して開くことです。彼は世界にエネルギーを放出するたびにそうしておられます。それが彼の

言われるすべてのことの中にあり、私が本や講演の中で言ってきたすべてのことの中にあります。私たちのハートを他の人々の苦しみに対して開くこと、それこそまさに彼の望んでおられることです。そのようにしてあなたは世界を変えるのです。彼はこう言われました。「あなたの兄弟の窮乏をあなたの行動の尺度となし、世界の問題を解決しなさい。その他の道はない」(メッセージ第五十二信)。彼はそのことをはっきり言われています。写真展がその目的の役に立つか？ それをなすための役には立つでしょう。

質問 愛と意識の状態について話していただけますか。

答 私が話しているのは愛の顕現についてです。愛とは、いとしい感情を思い出させるようなものではありません。人はよく胸に手を置いて、このように言います。「私は愛に満たされている。妻を、子どもを、祖父母を、地域の人々を愛している。私はあのイスラム教徒を好まない。イスラム教徒を憎む。あいつらが9・11の背後にいることを確信している。私は彼らを憎む」。これが、私たちが通常 愛 として理解しているものです。

愛はそんなこととは関係ありません。愛とは行動です。それは人類の必要に応えて行動する能力です。世界を愛することを学ばなければなりません。自分自身を愛することは容

易です。妻や子どもを愛することは容易です。自分の地域や国を愛することは比較的容易です。世界を全体として愛すること、すべての人々をひとつと見なし、すべての人々を尊重すること、世界が彼らに与えなければならぬ権利を与えること、それが愛です。行動する愛が重要です。

質問 なぜあなたは、世界の問題に対する答えは私たちの外部から来るといふ希望と期待を抱かせて人々をじれつたがらせているのですか。外部から押し付けられる平和は、それが神御自身によるものであつても、やがて別の形の圧制に変わるだけです。真の平和はまず個々人のハートの中の種子として植え付けられなければならず、それから最終的に確立されるまで養われ育てられなければなりません。それから初めてそれは成熟し、長く望まれ大いに期待された果実と共に世界に喜びをもたらすのです。

答 私も全く同意します。それが過去三十年ほどの間に起こっていることです。

質問 あなたの最初のアメリカ講演以来、キリストがより公に前面に出ることができるような何らかの変化が人類の意識に起こりましたか。

答 はい、外観にもかかわらず、人類は自らの問題に目覚めつつあり、ある程度は、その解決に向かっています。ハイアラキーの観点からは、真の進展がなされました。

質問 新しいエネルギーを一般民衆は感じるのに、なぜ政治家は感じないのですか。彼らもまた民衆の一人なのに。

答 はい、しかし政治家は権力に関心があります。彼らは権力を扱いたがっています。権力はエネルギーであり、他のすべてのエネルギーと同じように賢明にも愚かにも用いることができます。権力を愚かに用いる政治家は様々な危機を引き起こします。彼らの時は終わりがつあります。

将来の最も重要で強力な機構は、真に教育され、霊的な志向を持ち、認識を持つ世界世論です。真に地球を受け継ぐのは民衆です。

マイトレーヤは政治家のためにも到来しますが、特に民衆のために到来します。政治家は非常に利己的で、強力で、貪欲なので、自分で自分の面倒を見ることができません。たいの場合、彼らはそうします。

質問 なぜアメリカにいる私たちが、マイトレイヤの仕事のそれほど重要な部分なのですか。私たちは本当に大きな貢献ができるのですか。

答 アメリカは非常に大きく、非常に豊かで、非常に攻撃的で、それゆえに強い影響力を持ち、人類がたどる方向に大きな影響を与えます。それは良い方向にも悪い方向にも可能です。現在のアメリカ政府は世界にとって大災難となり得る非常に破壊的なコースをたどっているのです、非常に注意深い扱いと、その動機とそれを駆り立てているフォースについての明確な理解が必要です。

質問 サイババは彼の信奉者たちに、公の集会を開いて彼についての言葉を広めるよう要請しています。これは新しいことです。彼は人々の意識を高めてマイトレイヤのメッセージにオープンになることを助けているのですか。

答 はい。

質問 大祈願を毎日唱えることはマイトレイヤの到来を早めますか。 註

答 はい、そして彼らの仕事を外的に顕現しようと計画しておられる覚者方の出現を早

めます。

註「巻末の「大祈願」をご参照ください。

\* \* \*

「親愛なる友よ、わたしは今、あなたがたの近くにいます。

あなたがたの多くは長い間、わたしの存在を待ってきた。わたしはすべての人間の前に公に進み出て、わたしの外的な使命を今まさに始めようとしている。

わたしたちの間に距離はない。このことを知りなさい。このことを理解しなさい。

あなたがたが『手』をとおして、あるいは直接に、わたしの助けを求めるとき、その助けは確実にあるということを知るべきである。助けが与えられたことをあなたがたは認識しないかもしれないが、実際に与えられるのである。わ

たしがあなたがたを援助することを信頼しなさい、そうするためにわたしはやって来たのであるから。

すべてのものの利益のためにわたしと共に働くことを、あなたがたに強く勧める。

これは、あなたがたが今まで経験したことがないほど素早く、急速に成長する機会であり、そしてそれが、わたしたちが神と呼ぶあの御方の足元にあなたがたを連れて行くのである。世界に今、ほぼ毎日のように起こっている多くの問題を恐れてはならない。これらの出来事は過渡的なものであり、人々は間もなく自分たちの前には光に包まれた未来があることを理解するようになるであろう。そのようになるだろう。」

〔これは二〇〇七年九月二十七日にオランダのアムステルダムにあるシェア・ネザーランドのオフィスにおいて、テレビのドキュメンタリー番組のためにベンジャミン・クレームのインタビュウの最後に彼を通して、マイトレーヤから送られたメッセージである〕

## 教えの勉強と実践

「もうすぐあなたがたは、完全なる視界のうちにわたしを見るであろう。そしてその時、あなたがたの多くは、わたしとの出会いが初めてではないことに気づくであろう。あなたがたの多くは、以前に、ずっとずっと以前に、わたしに仕えた者たちであり、今、この世に転生して、再び仕える用意ができています。このことを知りなさい、我が兄弟たちよ、そしてわたしと世界に奉仕するため

に提供されたこの機会をつかみなさい。」（メッセージ第八十八信より）

**質問** 覚者は私たちが「系統だった教えの勉強」をすることを勧告しておられますが、勉強する上で、情報過多に陥り、それを吸収することができず、霊的消化不良になる危険をどのようにしたら避けることができるでしょうか。これを避ける実際的な方法はありませんか。

**答** 霊的消化不良を避け、学んでいる情報を最もよく利用する方法は、それを実践する



ことです。それを実行しなければなりません。あなたの人生に何らかの価値をもたらすためには、教えを実践に実践しなければなりません。

覚者の勧告は、教えを正しく使用するための基本計画を敷くために与えられます。聖書の章や節を暗記するように、アリス・ベイリーの教えを覚えている人々を私は知っていません。彼らはベイリーの教えのほとんどのページでもそらで引用することができます。しかし彼らは、必ずしも(ほんのわずかな程度以外に)教えを生きていません。アカデミックな知識のようなものです。それはそれで価値はありますが、主要な価値ではありません。教えについて何も知らなくても教えを実際に毎日生きることができません。その場合、その人は教えを読む必要はないでしょう。教えの背後にある偉大な科学を理解したいと思わないならば。しかしその科学もまた、本で読んで応用できるようなものではありません。その意味で、それは応用科学ではありません。それは術(アート)であり、かつ秘教の宗教的側面でもある科学です。それは宇宙の特性についての理解であり、いのちの特性についての理解です。

しかし、あなたが小宇宙的な意味でいのちを経験してきたのでなければ、大宇宙的な意味でいのちを理解することはできません。上にあることと下にある、です。あなたがもし、

大きなものをより局地的意味でより小さなあなたの裡で経験するならば、大きなものが何であるかを知ることができます。なぜなら、いのちは一つしかないからです。そのいのちは太陽系として顕現していますが、それはまた人間としても顕現しています。それは全く同じいのちです。ですからサイババはこう言うことができます。「はい、私は神です。でも、あなたも神なのです。神しかありません。それが存在のすべてです。ですから、あなたはどうして神以外のものになることができるのでしょうか」。違いは、彼は自分が神であることを知っており、さらに重要なことは彼はそれを顕現していることです。私たちはそうではありません。私たちはそれを知らず、顕現していません。たとえそれを理論的に知ったとしても、必ずしもそれを顕現していません。それを実際に顕すには、神を「存在 (Being)」という意味で知らなければなりません。それはあなたに偉大なる知識体系への糸口を与えるかもしれませんが、与えないかもしれません。各人の特定の光線構造と運命に  
よります。

直観を喚起するためには、低位マインドの必要条件を満たさなければなりません。アリス・ベイリーの教えは特定の述べ方で与えられており、難解です。わざわざ難解にされているのではなく、ジュワル・クール覚者は自分が語るうとする直観的なブツディレレベルの知

識を、私たちの低位の具体的マインドにとって意味のある もしそれが意味を呼び起こすならば レベルにまで降ろす仕事をしなければならぬから難しいのです。直観を通して教えを理解するということは、あなたにそれを理解させるために魂が関与することの意味します。魂から来る直観を呼び起こすことによつて、あなたは魂と接触しているのです。教えが 本で調べるようなものではなく、現実に関連するものとして 毎日のあなたの意識の一部となればなるほど、直観はますます流れ込み、教えに対して直観的理解がますます生じるようになるでしょう。もしあなたの直観的理解がそのようなものならば、あなたの人生もそのようになるでしょう。それは外に向かって放射します。なぜなら、放射することは魂の性質だからです。それがあなたの毎日の生活の認識となるとき、それは外部に放射され、伝わるでしょう。そうすると、あなたは弟子（ディサイプル）の創造性を得ることになります。本で勉強するようなものではありません。本の勉強を永遠にやっても向上しません。

質問 勉強の優先順位として、私たちはマイトレーヤの教えから始めるべきでしょうか。それとも、アリス・ベイリーの本かベンジャミン・クレームの本でしょうか。

答 側近を通して与えられたマイトレーヤの教えから始めるべきでしょう<sup>註</sup>。なぜならそれは最もシンプルで、最も直接的で、最もあなたの身近にあるからです。それが最初のステップです。それは最も難しいですが、最も取りかかりやすいものです、なぜなら、マイトレーヤは世界に対してそのように語るでしょうから 最もシンプルなレベルに降ろして語るのです。彼は世界全体に向けて語るでしょう。全世界が意識を変えなければなりません。彼は、この瞑想とかあの瞑想をしなさいとか、このチャクラをあのチャクラと整列させなさいとか、アンタカラーナ（光の橋）を築きなさいなどは言わないでしょう。

彼は心（マインド）の正直さと生氣（スピリット）の誠実さと無執着について語るでしょう。これが三つの教訓です。彼はこれら三つを進化のための三つの非常に強力な力として与えるでしょう。それは強力です。なぜならそれは本質的なものだからです。なぜなら、無執着を培うことを通してのみ、人は覚者となり、真我を実現する地点にまで前進することができるところです。心の正直さと生氣の誠実さを通してのみ、人は無執着になることができます。もしあなたが無執着でなければ、あとの二つを行うことはできません。あとの二つを行わなければ、無執着になることはできません。

人生とは実際、無執着に係するものです。無執着なくして、進化の旅路を一步も前に

進むことはできません。無執着をますます培うことによって、それ自体の性質のゆえに、あなたが肉体や感情や知的概念と自分を同一認することからあなたを解放します。このようにしてステップを踏んでいきます。ですから、私はあなた方にマイトレーヤの教えを読みみなさい、そしてそれを実践しなさい、と言いたいのです。クリシュナムルティを読みなさい。そしてそれを実践しなさい。それは、読むとか知っているとこの問題ではありません。実践するという問題です。マイトレーヤの教えもクリシュナムルティの教えも全く同じこと、同じプロセス 無執着 について述べています。

なすべきことは、非常に単純に毎日、教訓を実践することです。自分自身を見つめ、自分が物事をどのように行っているか、特定の人たち 地位や力においてあなたより優位にある人たち、地位や力、社会階級などにおいてあなたより劣っている人たち に対して自分がどのように反応しているかを見なければなりません。自分が異なった環境の下でどのように変化するかを見つめなさい。人々は自分たちが置かれた状況に応じて自分のパーソナリティーを変化させています。皇太子とか大統領の前に出たときにはある種の間になり、靴磨きの前ではまた別人になるというように。その日の瞬間、瞬間を見つめ、審判を下すことなく、これが重要です。感知しなければなりません。審判を下すことな

く、あなたは、自分がどのように反応しているかを、どのように人々を扱っているかを、あなたに向けられる要求に対してどのように反応しているかなどを感知しなければなりません。自分がそれをどのようにしているかを見なさい。そうすることによって、あなたはこれらすべての変化を、全く「あなたそのものではない」反射作用に気づきます。これらはすべて反応です。それらはあなたではなく、環境に対する反応でしかありません。それは正直でもなく、誠実でもありません。

註：マイトレーヤの側近から伝えられたマイトレーヤの教えは『いのちの法則』と題してまとめられ出版されている。

質問 幾つかの伝導瞑想グループで 健全な議論 が行われています。学習会や 秘教的な話し合いの会 を持つことが大切だと考える人々があり、また世界の状況と日々の大衆への情報提供に注目を向けることが、特にこの時代に大切だと考える人々もいます。このことについてアドバイスをいただけますか。

答 今は危機と緊張の時代であり、マイトレーヤの出現のために活動しているすべての

グループの揺るぎない注目と専念が必要です。幾つかのグループは、マイトレイヤと彼の計画について大衆に知らせることをやめて、「自己教育のための学習会」というグラマーに落ち込んでいます。彼らはマイトレイヤの出現がまだまだ先だと思い、急いで大衆に知らせる必要はないと思いつ込んでいます。彼らは間違っています。彼らの働きは十分と見なされるでしょう。

質問 どこから始めるのがよいですか。まず私たち自身を磨くことに努めるか、あるいはマイトレイヤと覚者方の降臨について、およびマイトレイヤの優先事項についての情報を広く伝えることですか。

答 自分自身を磨くことに努める。というのは、あなたのアプローチの仕方によって異なります。あなたの注目を自分自身に完全に集中させ、そうすることであなたは自分自身を磨いていると考えることを意味するかもしれません。人々が、「あなたは自分自身に夢中になっており、自分以外には興味を持たないですね」というと、あなたはこう言うかもしれません。「でも私は秘教（オカルト）の学徒だから、それをするのが最も大切なのです。秘教の教えを学ぶそのような弟子にとっては自分自身を磨くことが義務です。」

自分自身を磨く、高めるとは何を意味するのか。自分自身を磨くということは責任を背負うことを意味します。自分自身の性格を改善することに取り組み、そして他の人々を彼らの性格の特質によって認知するのです。人がより進化していればいるほど、その人の思考はより深く、より信頼でき、より創造的でしょう。これらはすべて人生の責任を受け入れるということの特徴です。

自分自身を 開発する とか、自分の注目を自分自身に集中する、すなわち自分を 磨く（高める）ということとは、通常全く何の意味もありません。それはしばしば何もしないことの、つまり外的世界に注目を払わない、マイトレーヤと覚者方の一団が世界におられることを世に伝えようとし、マイトレーヤの優先事項について、そして変化の必要について世に知らせようとし、ないことの言い訳でしかありません。

あなたが自分自身を磨くことと、マイトレーヤについて世界に知らせることは分離していません。同時に両方ができるのです。もしあなたがマイトレーヤについて本当に世に伝えているならば、あなたは自分自身を磨いているのです。そのように思えないかもしれませんが、しかし実際にそれをやっているのです。演壇に登って、五十人あるいは五百人の聴衆にマイトレーヤと覚者方のグループの到来について、そしてそれが人類にとって何を



意味するのか、その意義と結果について、それに関連する人類の行動（それは最も重要なこと）について話をするうちに、あなたは変わらざるを得ません。話の仕方を考え、まとめ、講演をするということは、あなた自身を磨いているのです。マイトレーヤの優先事項について話をする代わりに、別に行くというものではありません。自分自身を磨くことなしに、マイトレーヤの優先事項について語ることはできません。

秘教の教えの学徒のほとんどにとって自分自身を磨くということは、アリス・ベイリーの書物を読むことのようにです。彼らは明けても暮れてもそれを読み、ブルーの本をいつも小脇に抱えて、そして何時間もコーヒーショップに座り込んでそれを取り出し、ときどきページをめくりながら、あたりを見回し、それについて考えることが 自分自身に取り組んでいる ことだと思っています。これが多くの人々のやっていることです。全く無益です。アリス・ベイリーの書物は素晴らしいです。それは真剣に読まれるべきです。しかし、それはあくまでも書物にすぎません。それは思考と同様に行動を刺激することが意図されているのです。

自分自身を高めるといふことは、行動です。仕事であり、実際に働くことです。演壇に立つて、自分の不安や恐怖心を克服し、口を開いて、他の人々に話をするのです。たっ

た一人に向かつてだるうが、五、六人だるうが、五百、六百人だるうが関係ありません。二人に話をする事とも、二百人に話をする事とも、同じ努力が必要です。同じ言葉を語るのですから。二人ではなく二百人ならばラッキーですが、いずれにしろどこから始めなければなりません。

私がこの仕事を始めたばかりのころを思い出します。聴衆が四人しかいなくて、しかもその四人が全部、以前にこの話を聞いたことのある人々だったこともありす。始めのうちは容易ではありませんが、少しは勇氣を持たなければなりません。勇氣を持つためには、このストーリーをよく勉強し、何を言いたいのか、それについて考えることで、自分自身を磨いていかなければなりません。機械的に記憶することではなく、それを最もよく表現するにはどうするかを考えることです。それが人々にこの話を提供するための準備をするために働くということなのです。この話を提示することは自分自身を磨いていることです。そうすることであなたは成長するのです。

成長するために、自分自身を磨くのです。そして成長するための最良の方法は、人生の中で成長することです。世の中にあつて奉仕することでああなたは成長します。成長せざるを得ません。家において書物を読むことは、あなた自身を真に磨いていることにはなりません。

ん。それは逃避です。ただ書物に頼っているならば、たとえアリス・ベイリーの書物であろうとも、あなたは決して向上しないでしょう。

いずれにしろ、人々は書物を正しく読みません。あまりにもたくさんの本を、私の本でさえ、読み過ぎています（いや、私の本をたくさん読み過ぎることはできません、ちょっと口をすべらしてしまいました！）。しかし、もしあなたがそれらを正しく読むならば、今語っていることと全く同じことを、私は本に書いていることが分かるでしょう。

あなたは行動することで変わります、行動すること、本当は自分自身に取り組んでいるのです。マイトレーヤについて世に知らせることと分離した活動ではありません。もしあなたにとって最も重要なことは何かと尋ねるならば、それはマイトレーヤの到来でしょう。彼はキリストです。偉大なるアバターです。あなたを通して世界を変えるために、彼は来られたのです。もしあなたがコーヒーを飲みながら、アリス・ベイリーの書物を読み、あなた自身を磨いている だけならば、マイトレーヤはどのようにしてあなたを通して、世界を変えることができるのですか。

質問 自己満足がすべての悪の根源であると言われますが、私たち自身や他の人々のう

ちにある自己満足感にどう対処すべきでしょうか。

答 あなたが対処できるのは、自分自身のうちにある自己満足感のみです。それを除去しなさい。あなただけが、あなた自身の自己満足感を取り除くことができるのです。それは性格の欠陥です。一種の分離感であり、あなたはそれを克服しようとしなければなりません。他の人々については、もしそれが全体としての世界に強い影響を及ぼすような自己満足感であるならば、あなたができることは、説得し、意見を述べることだけです。もし、より小規模な個人レベルのことならば（ある程度、自己満足していない人はほとんどないでしょうから）、彼らが自分自身でそれを克服するに任せることです。

それは深刻なグラマー（幻惑）であり、世界には分離というものは存在しないという事実について無知であることの結果です。顕現している宇宙全体にある最小の原子とその他の原子との間に分離はありません。すべての魂が、そして私たちすべてが肉体に転生している魂なのですが、宇宙にある他のすべての魂と関連しているのです。

ですから、あなたが實際出来ることは自分自身の自己満足感に対処することのみです。もしそれに気がついたら、取り除きなさい。それに気がつかないならば、あなたは自由になれませんが、世界を助けることはできません。なぜならあなたは、あまりにも自己満足的

なのでその必要を見ることさえしませんから。マイトレーヤは自己満足をあらゆる悪の根源であると呼ばれます。お金のことではありません。お金は単なるエネルギーであり、エネルギーは良くも悪くも使われます。それは非個人的です。お金は非個人的なエネルギーであり、良い使い方も悪い使い方もできます。広く一般的な規模で良く使うこともできるし、あるいはそれを蓄えて、すべてを自分自身や自分の家族のために増そうとし、そして自分の子供たちに相続させ、彼らがそれをまたその子供たちに渡すことを願うこともできます。

それは恐怖心から生じる大きなグラマーです。人々は恐れるから、世界に直面できないから、自己満足に陥ります。自分の責任に直面し、人生の真の目的と意味に直面するのをあまりにも恐れており、そして自己満足的になります。他の人々のことを忘れず。海の向こうの人々、異なった皮膚を持ち、異なった宗教を持つ自分の知らない人々とのつながりを認知しません。

それが人々を自己満足感に陥らせるのです。それは都合合なのです。自己満足は人間としての真の責任からあなたを切り離します。あなたは責任ある『存在』としてこの世に転生しています。赤ん坊は、生れた当初は、自己満足的な大人よりもずっと理非の分別があ

ります。赤ん坊は魂としてこの世に入ってきてます。目的を、通常幾つかの目的を持って生まれて来ます。そのうちの最も基本的な目的は正しい人間関係の確立です。

魂は、もしその反映であるパーソナリティー（肉体人間）が自己満足していれば、正しい人間関係をつくることはできません。自己満足は単に懐手（懐手）をして、世界を包含するための努力をしないことです。それはあなたがいくらかの金を貯め込んで、いくらか快適で、安全であるときのみ、そうすることができなのです。そうしてその中にどっぷりどっぷり、世界はどこかへ行ってしまい、あなたをそっとしておいてくれることを、あなたを煩わせないことを願うのです。自己満足とは、自分よりもずっと哀れむべき環境にある他の人々のことを知ろうとしないことです。

質問 私たちは信頼について、そして「すべてが良くなるだろう」ということを知ることについて話をしました。そこに自己満足感が忍び込んでくるのではないかというコメントを述べた人々がいました。信頼と、しかも仕事をしなければならぬこととのバランスについてコメントをお願いします。

答 信頼は自己満足とは全く関係ありません。自己満足は恐怖心の結果です。信頼は確

信の結果です。あなたの魂がこれは本当だと告げるあの確信、これは信じられることであり、信頼できると思うあの信頼の確信です。マイトレーヤが覚者が言われました、「信頼しなさい。すべては良くなるだろう。あらゆる事柄は良くなるだろう」と。だからといって彼らは、あなたが懐手なぐさをして何もしないで自己満足的になることを期待しているではありません。

信頼とは何かを理解しなければなりません。信頼とは確信です。これはそうであろう、例えば、すべてが良くなるだろう、そしてやがてそうなるだろうということの確信です。だからと言って、その間、あなたは何もしないで、自己満足的になり、「構わないよ、世界に何百万もの飢えている人々がいます」とも、あるいはマイトレーヤについて知っている人々は世界にほんのわずかしかいかなくても、私には関係ない。それについてももう少し何かをすることはできるけれど、別にどうということはない。すべては良くなるだろう」というようなものではありません。それは自己満足であり、信頼ではありません。それらは異なつたものです。

覚者が「すべては良くなるだろう」と言われるとき、彼はそれを意味しており、恐怖心を除去するためにそれを言うのです。恐怖心が行動を妨げます。もしあなたがすべては良

くなるだろうという確信を持つならば、あなたの行動を抑制する恐怖心から解放されて働くことができます。あなたが全く行動しなくてもよいということの意味しません。それと逆です。あなたが信頼して、恐怖から解放されればされるほど、より役に立つことができます、あなたの行動の範囲もより大きくなるのです。

信頼と自己満足は大きな差があります。あなたが信頼（確信）を持つならば、自己満足していることはできません。もし自己満足しているならば、あなたは信頼（確信）を持ちません。

質問 『シエア・インターナショナル』誌の二〇〇七年十月号に載った覚者の記事「一歩」の中に、普通の 人々と世界にいる弟子たちの間にある隔たりが除去されるとありますが、それについてコメントをお願いします。

答 このことに関して覚者が意味されたことは、マイトレーヤと覚者方が公に世界で働かれ、教え、メディアなどからの質問に答えるようになるので、そのような会合に出席したり、そのようなラジオやテレビの番組を視聴する一般の人々に直接に教えることになるだろうということです。彼らは人々に不朽の智慧の教えのより簡単な基本的な面について



理解させるでしょう。そうすることで、アリス・ベイリーやH・P・ブラヴァツキーの書物を読まない平均的な一般の人々と、それらを読む人々の間に現在存在する隔たりを縮めるでしょう。

現在は、ある程度不朽の智恵の教えを少しでも読んだ人々と、読んだことのない一般の（普通の）人々との間に隔たりがあります。それゆえに、弟子たちが平均的な一般の人々に話を理解してもらおうのが困難なのです。これまででは弟子たちによって行われてきたこの活動に、比較的単純なレベルにおいて、覚者方御自身がアプローチすることで、この隔たりを縮めようとする試みです。

これは、人類一般に、人生のまさに土台である秘教の教理の法則に親しんでもらうための非常に歓迎すべきことだと思えます。今日、近代西洋文明の中にいる平均的な一般の間は、（おそらく第五光線の影響ゆえに）濃密な物質界より上位にあるものの存在を認知しない、あるいは受け入れない傾向があります。しかし不朽の智恵の教えの学徒は、これは始まりであり、基本的な時点であり、すべてが相対的であり、その相対性には終わりが無いということを知っています。永遠に拡大していく「真相」についての意識があります。

今、一般の人間と平均的な不朽の智恵の教えの学徒との間の隔たりに橋を架けるために、

覚者方は御自身で直接に大衆に接近して基礎的な秘教の教えを伝えようとしています。それは当然、教えを読み、ある程度それを実践している人々と、そうではない人々との間に橋を架けることになり、隔たりを縮めるでしょう。

## 予想される出来事 現在および近未来

質問 アリス・A・ベイリーの『光線とイニシエーション』第二部の中に、途方もない一節がありました。一九四七年に書かれたものですが、現在の世界状況について非常に多くのことを語っているように思われます。ジュワル・クール覚者は次のように述べられています。「今日の世界における緊張、とりわけハイアラキーにおける緊張はあまりにも大きいので、もう一つのおそらく究極的な世界危機を生じさせるであろう、あるいは惑星の霊的生活の急速化が起こり、長らく待望された新しい時代の状況の到来は驚くほど早められるだろう。……アメリカ合衆国の利己主義は国家の若さに起因するものであるが、それは次第に経験と苦悩をもたらさだろう。この偉大なる民族の魂にとって幸運なことに、アメリカ合衆国には多くの苦難が待ち構えている。世界の弟子である人類の運命は、アメリカ、イギリス、ロシア、そしてフランスの手に握られている。人類は第一イニシエーションの準備である試験を通過しつつある。それは厳しく残酷なものであり、まだ完全に終わってはいない。カルマをつかさどる大主（その数は四人である）は今日、これらの四大国を通し

て働いている。しかし、すべてのカルマがそうであるように、これは解放し自由にさせようとするカルマである。来るべき危機において、真のビジョンと新しい自由、より幅広い霊的な視界が達成されなければならない。その危機は、もし正しく対処されるならば、再び究極的な恐ろしい惨事に発展する必要はない。……ユダヤ人（編注「シオニスト」）は再び部分的に悪のフォース（勢力）への扉を開いた。それはもともとヒトラーと彼のギャングたちを通して働いたものである。その扉の『封じ込め』は成功裏に達成されなかった。このことをすみやかに発見することは智慧の一部である。これらの悪の勢力は悪のトライアングル（三角組）を通して働いており、その一つのポイントは合衆国内のシオニスト運動に見いだされ、もう一つのポイントは中央ヨーロッパに、三番目のポイントはパレスチナ（編注「今のイスラエル」）に見いだされるだろう。……霊的ハイアラキーの書庫にある地図の中では、近東全域とヨーロッパ、ギリシャ、ユーゴスラビア、トルコ、パレスチナ、アラブ諸国、エジプト、ロシアは重い暗雲に覆われている。その雲は、イギリス、アメリカ、そして国連の多数国の正しい思考と計画によって消散されることができようか それとも爆発して世界中に災難をもたらすだろうか」

- (1)この「究極的な危機」はまだ将来に起こるのですか。  
(2)私たちは今その中に、あるい

はその初期の段階にいますか。(3)過去半世紀の急速な進化による変化によって、それは緩和されていますか。

答 (1)いいえ。(2)私たちはその初期の段階にいます。(3)ある程度は緩和されました。

質問 (1)「来るべき危機」とは冷戦と核の脅威でしたか。(2)現在の世界経済の危機のこ  
ともありますか。

答 (1)はい。(2)はい。

質問 (1)「合衆国に待ち受けている苦難」とは、イラク戦争への呵責かじやくの念ですか。(2)他  
の軍事的な企てですか。(3)経済崩壊の影響ですか。

答 (1)呵責の念ではなく、単独行動と国連の法のルールを拒絶したことの影響です。(2)  
はい。(3)はい。

質問 連日CIAのような機関を通して、他の国々を脅して(選挙のような)その国内問  
題をアメリカの利益のために操作していることを示す多くの証拠がアメリカで明らかにな

っています。(1)これはいつも行われてきたことですか、そして私たちは、マイトレーヤが予測されたとおり、腐敗が表面に出て来ているのを目撃しているのですか。(2)現在のアメリカ政府は政治的な腐敗を新たな深みにもたらしたのですか。

答 アメリカは若い国であり、パーソナリティーとして第六光線の理想主義と献身の低位の様相によって支配されています。したがってその光線のあらゆる悪徳を持っています。自分自身の利益への献身、他人の動機に対する疑念、好戦的で独善的、自己の動機についての自己欺瞞等々です。ですからその脅し戦術は特有のものであり、永続的なものです。

アメリカの住民と政府は、実際には彼ら自身の利益に仕えているのですが、世界中に自由と正義を広めっていると信じています。この自己欺瞞は、この第六光線の主要な特徴の一つです。この政治的腐敗は、したがって、常に進行しています。極端なキリスト教原理主義者に率いられた現(ブッシュ)政権は、単にそれを新しい深みにもたらしただけです。ジユワル・クール覚者がアリス・ベイリーを通して書いたとおり、世界は、第二次世界大戦後のマーシャル・プランのときのように、アメリカの第二光線の魂がその存在を感じさせるのを待っています。

質問 何カ月か前の『シエア・インターナショナル』誌でマイトレーヤは「困難なとき」が待ち受けていると話したとされています。これは何についてですか。現在の世界状況のことですか。

答 経済的な困難のことです。

質問 私はあなたが、イスラエルを悪のポイントと呼ぶことにショックを受けました。それはどういう意味ですか。

答 質問者がショックを受けたことに私は驚いています。イスラエルによるパレスチナ人への無情な圧制を見れば明らかです。イスラエルはその行動を、ブツシュ大統領によって提唱された「テロに対する戦争」の一部として正当化しています。ブツシュ氏は、テロリストでもなく、実際にアメリカに対する脅威でもなかったイラクを攻撃しました。一四五年の連合国による枢軸国の敗北のあと、私たちが「悪のフォース（勢力）」と呼んでいる 光のハイアラキーに「物質性の大主方」として知られている エネルギーは次第に彼ら自身の領域に封じ込められつつあります すなわち、この惑星の物質面の維持です。英国の統治軍とパレスチナ人に対抗して戦った（ユダヤ人）テロリストの行動によって、一

九四八年にイスラエル国家が樹立されたことは、ジュワル・クール覚者によれば、「あたかも悪のフォースが再び扉の中に（世界の舞台に）足場を確保したかのよう」なものでした。イスラエルは、イスラエルとアメリカのペンタゴンと東ヨーロッパの特定の国々を通して働いている悪のトライアングルの中心点をなしています。今私たちが目撃しているのは、この悪のフォースの爆発であり、これに対しては、人類が、光のハイアラキー（マイトレーヤと智慧の覚者方の一団）の援助を得て、共に対抗し、消滅させなければなりません。

質問 アリス・ベイリー著の『ハイアラキーの外的顕現』<sup>註</sup>の中に興味深い一節があります。世界で物々交換と分かち合いの原則が採用され始めるときに活動的になる、霊ハイアラキーの高位の弟子である「財政のアジャスター（調整官）」について述べています。(1)これはグローバル市場、またはグローバルな貨幣制度、または両方の調整について述べていますか。(2)この「財政の調整官」は、現在積極的に活動していますか。(3)その調整官は国際連合を通して働くでしょうか。(4)調整官は、特に財政の調整を行う目的のために国際社会によって創られる特別の機関または評議会の責任者でしょうか。



- 答 (1)両方です。(2)いいえ。(3)はい。(4)はい。

註「日本語訳「ハイライキ」の出現」二二八頁

質問 将来の時代における、特に都市部での、公共地や公共施設の重要性についてコメントしていただけますか。とりわけ、マイトレーヤの優先順位である生きる術すくとの関連でお願いします。

答 すべての都市には、建物があまりない公共地が必要です。私の師が述べられた、マイトレーヤの将来の優先事項の一つは、都市を美化することです。それは、今日の都市よりもはるかに多くの公園を造ることを含みます。余暇のため、レクリエーションのため、単に日向ぼっこして蝶々を眺めるための場所です。あるいは、寺院のための土地や、都市や街のための均衡や剰余のエネルギーを生み出すために特定の開かれた空間に作られるフオース（エネルギー）物体のための土地です。したがって、それは、テトラヒドロロンやピラミッドのような形態のエネルギー的特性についての研究であり、それらはその特定の形ゆえにエネルギー的な特性を持ちます。「パワーの形状」というのは、それを表す別の用語で

す。適切に整理させるときに、地球全体を通して気候を変え、都市の大気の特質を高めるために利用される「パワーの形状」がたくさん存在します。

質問 次の数十年に、アメリカそして世界にはどんな未来があると思われますか。

答 十分な数の人々がマイトレーヤの提唱される変化を速やかに受け入れるならば、私たちはアメリカと世界の他の地域の生活を非常に急速に変えることができるでしょう。いったん分かち合いと正義のアイディアが人々の想像力を捉え、分かち合いが正義をつくり、したがってそれが平和への唯一の道であり、テロと戦争を終わらせる道であるという単純な常識が理解されれば、何百万もの人々がマイトレーヤの隊列に加わるでしょう。

マイトレーヤがどれほど雄弁であるか、彼がいかに素朴な人間で、豊富な知識を持ち、剃刀のように鋭いマインド（識心）であらゆる問題を説明することができるかをあなた方は知りません。彼の愛と智慧は無限であり、神の愛とすべての時代を通じての智慧をお持ちです。すべての人々のハートの中に入り、彼の愛のエネルギーを解き放つ能力は、世界を変えるために彼が用いる剣<sup>of</sup>です。「裂開の剣」とは愛のエネルギーのことです。

人々がこのエネルギーに反応するにつれて、世界は分かれるでしょう。マイトレーヤの

提唱する線に沿って変化を要求する人々と、恐れて過去に目を向け、彼を反キリストと見なし、怯えて何をしていいか分からない人々に分かれるでしょう。彼らは傍らに立つて状況を見守り、歴史上初めて世界の変容に参加するという、この与えられた機会を失うでしょう。それぞれの立場で、自分自身の神性を示すことは、各個人にかかっています。

マイトレーヤは分かち合い、正義、自由、正しい関係について語っています。それらはみな聖なる原理です。自由、正義、そして正しい関係は人生の基礎にあつて、人と人との間の、そして国と国との間の正しい関係をつくります。

競争は戦争へと導き、正しい人間関係の確立を妨げます。正しい人間関係の創造が、私たちの進化における次のステップです。それを手に入れたとき、真に聖なる生活が始まります。分かち合いへの最初のステップは、あなた方の神性への最初のステップである、とマイトレーヤは言われます。これよりも単純で真実なことがあるでしょうか。

質問 私たちが直面している問題にもかかわらず、この惑星に光がゆつくりと差し込み始めているのは素晴らしいことです。私の質問は次のことです。様々な情報源から絶え間なく災難や大災害などあらゆる種類の終末的で陰鬱な出来事がこの惑星にやがて起こると

耳にします。その大半は、隕石や地球内部の力によって起こるとされています。地軸の移動が起きたり、小惑星が地球に衝突したりする惧れおそはあるのですか。それともこれらの主張は、単に闇のロツジの影響を受けやすい人々による恐怖心を煽おほるためだけのものでしょうか。

答 私には『シェア・インターナショナル』誌や著書の中でこの種の質問を何度も扱ってきました。しかしこのことだけは言わせてください。これらの終末的で陰鬱な予言はすべて恐怖心を煽るための宣伝であり、そうでなければ人類をいつまでも囚われの状態に置くとする悪の勢力による意図的な創造物です。確かに世界の多くの地域で気候変動や混乱や困難は起こるでしょうが、破局や大災害に至るほど誇張された強さでは起こりません。

ある人々の感情的な欲求を満たすには災害がいくらあっても不十分なようです。この破局妄想の広がりには、メディアがそのセンセーショナルな報道によって大きな役割を果たしています。それは新聞や雑誌の売り上げのためにはよいのでしょうか。

変化は、それが小さなものであっても大きなものであっても、人々にとってはいつも困難です。世界を大きく変容させるような変化は特に多くの人々にとっては恐ろしいものです。彼らが知らないのは、キリストであり世界教師であるマイトレーヤの力（パワー）で

す。彼は大勢の弟子たち（覚者方）と共に、肉体を持たれて私たちの中に今存在するので、彼らのエネルギーが人類の持つ最良のものを刺激し、変化を認識させ、実施させていきます。マイトレーヤが言われたように、「恐れるでない。終わりは始めから知られている。すべては良くなるだろう。あらゆる事柄は良くなるだろう」。

質問 私たちが利己的で競争的でも、世界を変えることはできるとマイトレーヤは思われますか。

答 はい。誰もが利己的で競争的であるわけではありません。おそらく大部分の人々は部分的に利己的で、部分的に利他的です。人間は入り混じっており、百パーセントこれかあれかというわけではありません。利己主義と利他主義には程度があります。非利己的な行動をする用意のある人々、世界に正義と分かち合いを求める用意のある人々は大勢います。

かつて一九二四年に、マイトレーヤは、アグニ・ヨガの本で次のように述べました。「十人の真の人間まことがいれば世界を救うことのできる時代があった。それから一万人でも十分ではない時代が来た。私は十億の人間を召集する」

五、六年前、私は師である覚者に、マイトレーヤはもう十億人を召集されたかどうかを

尋ねました。師は、然り、マイトレーヤは十五億人を召集したと言われました。世界人口六十五億のうち、十五億人です。それは善意の人々であり、変化への用意があり、利他的で、新しい機構しくみと生活様式を受け入れる準備ができていて、とマイトレーヤが思う人々です。今では（二〇〇六年現在）彼は十八億人を召集することができます。それは十分以上の数です。

それに加えて、私たちには選択の余地がありません。死ぬか生きるかの選択を迫られたら、あなたはどちらを選びますか。マイトレーヤは言われるでしょう。あなた方は選択しなければならぬ。分別があるならば、いのちを選びなさい。そして、世界がそれまで見たことのない、輝かしい黄金の文明を創りなさい。あるいは、絶滅に直面するか、と。あなたはどちらを選びますか。

これまで、マイトレーヤほどの力を備えたアバター、教師はいませんでした。恐れてはなりません。世界は貪欲さと利己主義から、人類の真の特質を示す世界に急速に変化するでしょう。

マイトレーヤの見地からは、人類は素晴らしいのです。マイトレーヤは人類を愛しておられます。私たちの貪欲さや利己主義にもかかわらず、愛するというのは、彼が愛の主だ

からというだけではありません。そのために彼は人類を愛することができます。それだけではなく、彼は人類の裡うちに神の光を見ているのです。彼は魂の王国であるハイアラキーの長であり、人類の魂を知り、魂はすべての人間に宿ることを知っておられます。いかに利己的で憎悪に満ちていようと、彼はその神の光を私たちの裡に見るのです。それを当てるにすることができのです。

\* \* \*

「我が友よ、わたしはあなた方が想像するよりもずっと近くにいますのである。わたしのハートはあなた方のハートと共に着実に鼓動している。わたしのハートはあまりにも多くの人々の苦難に泣く。しかるに、今わたしの言葉を聞く人々のハートは開かれており、助ける意志があることを、わたしは知っている。恐れるでない、我が友よ。困窮するすべての人々を助けるために勇敢にそ

して喜んで与えなさい。あなた方がこれをなすとき、あなた方が出でたあの本源なる神（神性）の領域に入るのである。それは神御自身の行為である。

だから、我が友よ、来るべき大いなる変化の顕現をもはや（ただ）待つのではなく、それらの変化をあなた方の行動によってもたらしなさい。広範に（大きく）考えなさい。あなたの兄弟姉妹たちはあなた方自身であり、世界中同じであると考えなさい。これをなしなさい、我が友よ、そして非常に間もなくわたしを見なさい。

わたしのハートはあなた方すべてを抱擁する」

「このメッセージは、二〇〇六年四月六日にフランスのパリ市で、ラジオ番組（Radio Ici & Maintenant）でのベンジャミン・クレームのインタビュウの最後に、マイトレーヤからクレーム氏を通して視聴者に送られた」





# 最初のステップ

覚者による記事

マイトレーヤが世界の前に現われるとき、人々はこの方を以前から知っていたことを、そして、彼の教えは予想外のものではなく、彼らの思考のレベルを越えるものでもないことを悟るだろう。彼の教えは実に単純明解であり、すべての者が理解できるだろう。

まさに彼の素朴な単純さこそは人々をびっくり仰天させるだろう。にもかかわらず、ほとんどの人は彼らが聞く教えを新しい方法で、突然悟ったような真理として、新しく彼らのより深いレベルに触れる真理として経験するだろう。アイディア（理念）は単純かもしれないが、それは人々の心（ハート）に共鳴し、新鮮で活気あるものとして感じられるだろう。そのようなになるだろう。そのようにして、マイトレーヤは人間の心（ハート）に触れて、世界中の兄弟姉妹たちを援助することによって自分たち自身を助けるように懇請するだろう。人々がマイトレーヤの呼びかけを聞くと、彼が言うことを深く熟慮し、しばし

ば聞いたことのあるそれらの言葉に不思議なくらい感動するだろう。彼らの心（ハート）はかつてないほどに反応するだろう。そして新しい理解と緊急性が彼らの反応を強化するだろう。

かくして、マイトレーヤは世界中の人間を行動と変化へ活気づけるだろう。後ろのほうに立って（様子を見て）いた者たちは前面に出て来て、正義と分かち合いを、自由と平和を呼びかける騒ぎに参加するだろう。

もちろん、多くの人々はマイトレーヤを無視するだろう。多くの人々が彼のアイディア（理念）を忌まわしく、危険なものと思い、あるいはユートピア的で達成不可能なものと考えるだろう。またより陰険で恐れている者たちは彼の内にアンチキリストを見、自分たちの恐怖の体現として彼を見るだろう。ある者たちは、もし彼らにその力があるならば彼を直ちに磔はりつけにしてしまいたいだろう。多くの者はどちら側に加担することもできず、塀の上にそっと座っているだろう。

応えることのできる者たちの数は増大し、分かち合いと正義を求める彼らの声を高めていくだろう。彼らはマイトレーヤの周りに集い、彼を支持し、そして彼らのリーダーとして、師として、教師として、案内者として、彼を見るだろう。

かようにして、強力な世界の世論が形成され、変化を求めらるるだろう。政府は民衆のこれらの要求に抵抗することがますます困難になり、ある程度の変化を実施することを強いられるだろう。

民衆の力は増大し、マイトレーヤによつて強化される彼らの声はますます強力になり、彼らの要求もより明確になるだろう。彼らのスポークスマンが世界に向けて語ることを民衆は要求するだろう。そして大宣言の日、すなわち新しい夜明けの最初の日の舞台が用意されるだろう。

大宣言の日に、初めて、マイトレーヤは彼の本当の御身分と名前を確認し、その日は、歴史を通じて、人類の進化の転換点として突出するだろう。それは特別な日として、新しきものの始まりとして、人類の神聖化として、人類を待つ栄光の未来への門口として、年代記に記されるだろう。その日は遠い先ではない。

(二〇〇六年十一月号)

# 人の子

## 覚者による記事

多くの者はキリストの再臨を狼狽ろうばいと恐怖感を抱きながら待つ。彼の再臨は、人間生活のすべての部門に大きな変化を起こすだろうと彼らは感じる。キリストの価値観は人々の思考方法や生活の様式を当然ながら変えるだろうと、彼らは正しく推測する。そしてそのような見通しに青ざめる。なおまた、何世紀にもわたって教会が提示してきたキリスト観は非常に神秘に包まれたものなので、多くの者はキリストの審判と全能の力とを恐れる。彼らはキリストを神として、悪人を罰し、信仰深い者に報いるために来られる方として待つ。そのような歪曲されたキリスト観が人間の意識に広く浸透したのは、誠に遺憾である。そのような者は存在しない。キリストの真の特性を理解するためには、神の同等な子供たちの一人として見る必要がある。人間はそれぞれに潜在的に完全な神性を賦与されており、その神性の顕現の度合いのみが異なるのである。

キリストがその神性を完全に達成されたということは彼の栄光であり、その業績にわれらは敬礼する。この業績が確かに稀であることは議論の余地なく真実である。しかし人間にとつて、キリストの驚くべき事實は、彼が人間の一人であるということである。人間の試練と苦悩の中で、彼が知らないものは何もない。人間がまだにたどっている道の一步を、彼もまた労を惜しまずたどってきたのである。人間の体験の全展望の中で彼が分かつたものは何もない。かくして、彼は真に「人の子」である。

キリストが予告なしに人類の直中に現れたとしたら、彼を認知する者はほとんどいないことは疑う余地がない。彼は一般的な予想からあまりにもかけ離れているので、気づかれることなく群衆の中を通り過ぎる。このようにして今日、彼は兄弟たちの中におり、彼の使命を始めるために人間の招待を待つ。毎日彼を見ている者たちの多くは、彼を知らない。また彼を認知する者たちもいるが、彼らは語ることを恐れる。さらに他の者たちは、彼こそがあえて彼らが望み得ないあの御方であるかも知れないと願いながら待ち、そして祈る。全世界の前における大宣言のみが、人間の目と心（ハート）に彼の存在を確立するだろう。その最も特別な日を待つ間、キリストの再臨の理由を、われわれのマインド（識心）の中に明確にしよう。キリストが御自身に課せられた任務の特質を理解しよう。われわれの識

心（マインド）の中に神の事実を確立するために、彼はやって来た。聖なる神秘を再び創造するために、彼はここに居る。人間に、いかにして愛するかを、そしてさらにまた愛することを教えるために、彼はわれわれの中におられる。人間の同胞愛を確立するために、彼は再び地上を歩く。御父との、そして人との誓約を守るために、彼はこの重荷を受け入れる。新しい時代を迎え入れるために、彼は戻って来られた。過去の宝を強化し、未来の驚異を鼓舞し、神と人とを賛美するために、彼は高い山から降りて来られた。

キリストの優先事項を検討しよう。平和の確立、分かち合いの制度の開始、罪意識と恐怖心の除去。人間のハートとマインド（識心）の浄化、いのちと愛の法則についての人類の教育、秘教への手引き、都市の美化、人々が旅行し、交流するための障害物の除去、すべての者が入手できる知識のプールの創造。

そのような仕事は、たとえ「人の子」にとっても、容易でないことは明らかである。分割と分離という往古の習慣は根強く、他方、恐怖心と迷信が何千万の人間をその魔力にかける。しかしながら、世界の歴史の中で、これほどよくその任務のための装備を整えた教師がやって来られたことはかつてなかった。マイトレーヤは、無知と恐怖、分割と貪欲に戦いを挑むためにやって来られた。彼の武器は、靈的理解と知識と愛である。彼の輝ける

錯は、真理そのものである。

(『覚者は語る』より)

註＝覚者のこの記事については、『マイトレイヤの使命』第三巻、第一章「マイトレイヤの優先順位」の中で、より詳しく述べられています。ご参照ください。





マイトレイヤの手形（説明は次頁）



“ わたしの助けはいつでもあなたがたの意のままである。  
ただ求めればよいのである ”

世界大師マイトレーヤからのメッセージ第49信

【右頁の写真】あらゆる信仰の人々（そして信仰を持たない人々）にまつわる奇跡の報告が世界のメディアに届く数はますます増大している。ベンジャミン・クレームの師（覚者）によれば、それは世界大師マイトレーヤの出現が非常に間近にせまっていることの徴である。

この写真は最も最近のとてつもない奇跡である　マイトレーヤ御自身の手形であり、スペインのバルセロナで洗面所の鏡の上に顕わされたのである。単なる手の痕ではなく、写真のように詳細な三次元のイメージである。

シェア・インターナショナル誌（2001年10月）にて最初発表されたこの「手」はマイトレーヤの癒しのエネルギーを喚起し、助けを求める一つの手段である。この手の上に（写真のコピーでも良い）自分の手を置いたり、あるいはただそれを見つめることによって、マイトレーヤの癒しと助けを喚起することができる（ただし、カルマの法則の許す範囲内で）。マイトレーヤが公に完全に姿を現して、私たちが彼の御顔を見るまで、これはマイトレーヤが私たちに接近することのできる最も近いものである。

## 光のパターン



米國コロラド州デンバーのホテルに、マイトレーヤによって光のサークルが現された。2000年11月撮影

## 光のパターン



(上) 北海道札幌の東急デパートの光の模様。マイトレーヤが宇宙の兄弟たちと協同して現されたもの。SI誌2007年10月号掲載

(下) フランス、ストラスブールのシルチガム地区で14カ月にわたって見られた光の模様。晴れのときは常に現れた。SI誌2005年8月号掲載



## 伝導瞑想について

「世界に対するダイナミックな奉仕と個人の強力な靈的發達の両方を提供するグループ瞑想である」

伝導瞑想はグループ瞑想であり、靈的エネルギーをその管理者であるこの惑星の靈的ハイアラキーの覚者方がよりよく分配するために確立されたものである。これらのエネルギーを一般の人々により入手しやすく、使いやすいレベルに下げる（変換する）手段である。人類のためになるより高位のエネルギーの渦、あるいはプールの創造であり、それはハイアラキーの覚者方との協同作業で行われる。

一九七四年三月にベンジャミン・クレームの師である覚者の指示の下に、最初の伝導瞑想グループがロンドンで形成された。今日世界中に何百という伝導瞑想グループが存在し、絶えず新しいグループが次々とつくられている。

伝導瞑想グループがハイアラキーとの間に連結<sup>リツク</sup>を提供し、それによってハイアラキーは世界の必要に応えることができる。この仕事の第一の動機は奉仕であるが、しかしそれはまた個人の成長にとつての強力な様式でもある。多くの人々が世界をより良いものにするための何らかの方法を探している。この奉仕への願望が強いものであつても、われわれの忙しい生活の中でそれを満たすことはなかなか困難である。われわれの魂は奉仕への手段を必要とするが、われわれは必ずしもその呼びかけに応えない。そうすると平衡を欠き、われわれ自身の裡<sup>うち</sup>に葛藤<sup>ゴツトウ</sup>が起こる。伝導瞑想はわれわれの時間とエネルギーの最小限の消費で強力に完全に科学的な方法で奉仕するためのユニークな機会を提供する。

ベンジャミン・クレームは世界中で伝導瞑想のワークショップを開く。伝導瞑想の間中、彼は世界教師マイトレイヤによつてオーバershadowされる。それによつてマイトレイヤはそこに参加している人々に大いなる靈的育みを授けることが可能になる。多くの人々がそのようなワークショップに参加した後で、鼓舞されて伝導瞑想をやり始める。そして多くの人々がその過程の中で様々な治癒の体験を報告している。

伝導瞑想に関する詳細は、ベンジャミン・クレーム著『伝導瞑想 21世紀のヨガ』をご参照ください。

# 大祈願

神の御心の光の源より

光をあまねく人の心に流れ入れさせ給え

光を地上に降らせ給え。

神の御心の愛の源より

愛をあまねく人の心に流れ入れさせ給え

如来（キリスト）よ地上に戻られ給え。



神の意志、明らかなる中心より

大目的が人の貧しき意志を導かんことを

如来は大目的を識りこれに仕え給う。

我らが人類と呼ぶ中心より

愛と光の大計画を成させ給え

悪の棲処すみかの扉とびらを封じ給え。

光と愛と力とをもて

地上に大計画を復興させ給え。

『大祈願』は、1945年6月にキリスト（マイトレーヤ）によって初めて使われ、人類に授けられた。世界を変え、マイトレーヤと覚者方の一団の帰還を可能にするエネルギーを、人類自身が呼び起こすことができるように与えられた。これはキリスト・マイトレーヤによって使われる形ではない。彼は神秘的な7つの節からなる古（いにしえ）の司祭のことばである古式文を使われる。それが、人類が理解し使用できる言語に（英語で）ハイアラキーによって訳され、今日、世界中50数国語に訳されている。

## 新しい時代の祈り

わたしは宇宙の創造主である。

わたしは宇宙の父にして母である。

すべてがわたしから来る。

すべてがわたしに戻る。

心と生気と肉体はわたしの宮殿である。

真我はそのなかにわたしの至高の存在と生成を實現する。

世界教師マイトレーヤによって授けられた『新しい時代の祈り』は偉大なマントラ（言霊）であり、喚起の効果を伴う是認のことばである。人と神とは一体であり、分離したものではないことを、われわれが是認するようになるための強力な道具（ツール）である。

「わたし」はすべての創造の背後にある神聖な原理である。真我はそこからいずるものであり、神の原理と同等である。

このマントラを使う最も効果的な方法は、注目を眉間のアジュナチャクラに保って、集中した意志で唱えるか、思うことである。マインド（識心）からの概念の意味を把握し、同時に意志が加わるとき、これらの概念は活性化され、マントラは働く。もし毎日、真剣にこの祈りを使うならば、われわれの裡うちに、われわれ自身が本当に真我であり、不滅の存在であるという認識が生じていこう。

アクエリアス（宝瓶宮）

天文学的には、今始まるうとしていて、およそ二千三百五十年続くアクエリアス（宝瓶宮）の時代を指す。秘教的には、水瓶の運搬人、マイトレイヤの時代を指し、またアクエリアスの豊的エネルギー、つまり統合と同胞愛のエネルギーを意味する。

悪

進化発展の過程を妨害するものすべて。

アジュナ・チャクラ

眉間にあるエネルギー・センター（チャクラ）。パーソナリティー（肉体人間）の指令センター。肉体（物質界）におけるその対応点は脳下垂体である。

アシユラム

智慧の大師（覚者）のグループを指す。霊的ハイアラキーには四十九のアシユラムがある。主要なアシユラムが七つと四十二のそれらの支部にあたるアシユラム。その各々は智慧の大師（覚者）に率いられている。

アストラル界

希望と不安、感傷的愛と憎しみ、幸福と苦しみのような反対の極にあるものを含む感情の界。幻想・錯覚（イリュージョン）の界であり、七つの亜界に分かれています。

る（最上亜界が第七亜界）。

## アストラル体

個人の感情・情緒体。

## アストラル偏極

通常意識が働く座がアストラル体にある（偏極している）場合を指し、進化段階の1.5～1.6段階くらいでメンタル偏極がはじまるまでをいう。

## アバター（大聖）

人類の呼び掛けと必要に応じて（遠方から）降ってこられる霊的存在。人間アバター、惑星アバター、そして宇宙レベルのアバターがいる。後者は「転生した神聖な存在」（例えば、サイババ）と呼ばれる。彼らの教えを人類が正しく理解し、徐々に応用すれば、それらの教えはわれわれの理解を拡大し、進化発展の次の段階を提供してくれるものとなる。

## アンタカラーナ

肉体の脳と魂を繋ぐ架け橋となる目には見えない光の導管であり、瞑想と奉仕を通して築かれる。

## アンチ・キリスト

神の意志の相のエネルギー。その下降局面においては、例えば時代の終わりに、キリスト原理の建設的エネルギーのための道を整えるために、古い形態や関係を破壊する。ローマ時代にはネロ皇帝を通して、現代ではヒトラーと彼の六人の側近を通して顕現した。

## イエス

智恵の大師（覚者）であり、キリスト・マイトレイヤの弟子。洗礼から磔はりつけまでの間キリストが彼を通して働くことができるようにした。次の時代にはキリスト教全体に再び息吹を吹き込み、再方向づけをするのに主要な役割を果たされるであろう。

## イニシエーション

転生している人間とその魂の間に、そして聖なるモナッドつまり「神の煌めき」との間に起こる継続的で段階的な統合と一体化の自発的な過程。各々の段階はそのイニシエートに神の大計画の意味と目的についてのより深い理解と、大計画における自分の役割についてのより十分な認識と、その成就に向けて意識的に知的に働く能力の向上を与える。惑星レベルのイニシエーションを指し、五段階ある。通常のイニシエーションの儀式はこれまでは眠っている間に行われ、物質界で行われるものではなかった。キリスト・マイトレイヤが公になられて、やがて物質界で、最初の二段階のイニシエーションの儀式を司るようになるだろう。

## イニシエート

少なくとも惑星レベルの第一段階のイニシエーションを受けた者、覚者方がイニシエートと呼ぶときは、第三段階がそれ以上のイニシエーションを受けた者を指す。

## イマム・マーディ

モハメッドによって始められた仕事を完成するために戻って来る方として、イスラム教の幾つかの宗派に待望されている人物。

## イリユージョン（錯覚）

メンタル界における幻想。魂がその道具として幻想下にあるマインドを使うとき、現象界について歪んだ描写を得てしまう。

## 永久原子

物質の三原子（肉体、アストラル、メンタル）の周りに新しい転生のための体が形成される。それらはその個人の死の瞬間の波動率を保持し、それまでに達成したエネルギー的進化の「地位」が次の転生へと持ち越されることを保証する。

## エーテル界

ガス状物質よりさらに精妙な四つの物質の界。まだほとんどの人には見えない。第四から第一へとさらに精妙になる。

## エーテル体

物質肉体に対応するエネルギー体であり、七つの主要なチャクラ（センター）と四十二の小チャクラ、すべてのセンターを繋ぐ網状組織、神経組織のすべての部分の根底にある無限に小さいエネルギーの糸（ナディ）で構成されている。エーテル体に生じる滞りは肉体上の病として現れる。

## エネルギー

秘教の見地からは、顕在する宇宙全体にはエネルギーのみしか存在しない。エネルギーは様々な周波数で振動しており、特定の周波数とそのエネルギーの形態を決定する。エネルギーは思考によって活動を起こし、方向付けることができる。

## オーバーシャドウ

師（覚者または智慧の大師方）の意識が一時的に弟子の肉体、感情体、メンタル体

に入り、それらを通して働く自発的、協力的過程。

## オカルト

“隠れた”の意。エネルギーの隠れた科学（秘教の項を参照）。

## 界

顕現のレベル。物質界、アストラル界、メンタル界、ブッディ界等。

## 覚者

（智恵の大師を参照）。

## 下降の孤（インボリユ-

霊がその対極にある物質に下降する過程。

## シモン）

## 神

この惑星に命（いのち）を吹き込む偉大な宇宙の存在。われわれが見ることのできるもの、できないものすべてを構成する。あらゆる法則とその法則に支配されるあらゆるエネルギーを体現する存在（ロゴスの項を参照）。

## カルマ

原因と結果の法則の東洋における用語。この太陽系におけるわれわれの存在を支配する基本的な法則。われわれのあらゆる思考、行動が原因を始動させる。これらの原因が結果を生じ、それらがわれわれの人生を、良かれ悪しかれ形づくる。聖書には、「自らが蒔いた種を自ら刈り取る」と表現され、科学的には、「すべての行動は同等で反対の反応を持つ」と表現されている。



## キリスト

靈的ハイアラキーの長、世界大師（または世界教師）、覚者方のすべてのマスター（長）を指すのに用いられる言葉。現在、主マイトレーヤが就任されている役職。

## キリスト意識

宇宙のキリストのエネルギー、キリスト原理としても知られている。われわれのためにキリストによって体現されているこのエネルギーは、現在、世界中の何百万の人々の心を覚醒している。つまり、進化のエネルギーである。

## グラマー

アストラル界の幻想。アストラルレベルで生じた感情的衝動によってマインド（識心）が覆われて、心（マインド）の目ではっきりとリアリティ（実相）を見ることが妨げている状態。例えば恐怖心、自己憐憫、批判、疑惑、独善性、過剰な物質主義など。

## クリシュナ

紀元前三〇〇〇年頃に現れた偉大なアバターで、白羊宮（エリ阿斯）の時代に主マイトレーヤの顕現のための器となった。アストラル/感情体をコントロールする必要を顯示することで、クリシュナは第二段階のイニシエーションへの扉を開いた。ヒンズー教徒は暗黒の時代、カリ・ユガの終わりにクリシュナの新しい転生を待ち望んでいる。

## グル

靈的教師または導師。

原因と結果の法則（作用（カルマの項を参照）と反作用の法則）

コーザル体

コーザル界における魂の表現体。人の発達の進化段階の意識が保存される器。

コーザル界

高位メンタル界の四つの垂界の三つ目であり、魂が宿る界。

光線（レイ）

宇宙の神聖なエネルギーの七つの流れであり、各々が偉大なる大生命（いのち）の表現である。考えられうる限りの様々な振動による相互作用が太陽系、銀河系、宇宙を創造する。偉大なる生命の表現である。これらのエネルギーの動きは螺旋状の周期をなし、すべての存在を顕現の中へ、また外へと引き寄せ、特定の特質と属性でそれを彩り、漲らせる。各個人の魂およびパーソナリティーは様々な光線の特質に支配されており、国家にも国家の魂とパーソナリティーの光線がある。

再生誕の法則

（転生の項を参照）

サナット・クマラ

世界の主。シャンバラに住むわれわれの惑星ロゴスのエーテル物質表現。一八五〇万年前に金星から来られた偉大な存在であり、この惑星に魂（いのち）を入れられた存在のためのパーソナリティーの表現（器）となるために、御自身を犠牲にされたのである。われわれが知ることのできるもっとも近い神の相。

時代<sup>エージ</sup>

地球と太陽と黄道帯の十二の星団との関係によって決定される世界の周期であり、一つの時代はおよそ二千五百年である。

シャンバラ

この惑星における主要なエネルギーセンター（中心）。それはゴビ砂漠上方の上位二つのエーテル界に存在する。そこからシャンバラのエネルギー（意志または目的のエネルギー）が流れる。それは人間で言えば頭頂チャクラに対応する。

ジュワル・クール覚者

またはDK覚者として知られ、アリス・ベイリーを通して、アリス・ベイリーの教え<sup>レ</sup>を伝えられたハイアラキーの覚者である。

進化

物質の霊化の過程。本源へ戻る道。幻想や錯覚の覆いを捨て去り、ついには宇宙意識へ至ること。

真我ノモナツド

神性の三重性を反映する純粹霊（一）聖なる意志またはパワー（父）（二）智慧・愛（子）（三）活動的知性（聖霊）。すべての人間の裡にある聖なる煌めき。

世界大師・世界教師

一定の世界周期における霊ハイアラキーの長を指す。覚者方すべての長（マスター）。主マイトレーヤが現在就いている職務。

世界の主

（サナット・クマラの項参照）。

ソラーロコス(太陽ロゴス)  
われわれの太陽系にいのちを吹き込まれる聖なる存在。

## 大宣言の日

世界中のテレビ・ラジオを通してマイトレーヤが御自身を世界に知らしめる日。テレビやラジオを見たり聴いたりしていない人々も、各人の自国語で思念伝達の方法でマイトレーヤの言葉を聞き、同時に何万何千の自然治癒が世界中で起こるだろう。マイトレーヤの公の使命の始まりとなる日。

## 大祈願

われわれの世界を変換するエネルギーを人類が喚起するために、人類が用いるようにマイトレーヤによって授けられたマントラであり、ハイアラキーによって分かりやすい英文に訳された古(いにしえ)のマントラ。多くの国の言葉に翻訳され、何百万人の人々が毎日使っている。

## 魂

高位我、裡なる支配者、裡なるキリスト、マインドの子、ソラーエソジェル。霊と物質、神とその形態、を結び付ける原理。形態のあらゆる顕現に意識と特色と特質を与える。

## 男女(肉体人間)

「ひとつなる霊(神)」の一個の煌めきである霊モナッド(真我)の物質界における顕現。

智恵の覚者（マスター・オ  
ブ・ウィズダム）

この世の生活が提供するあらゆる経験を通じて、その過程で完全に自分自身と自然の法則に対するコントロールを習得し、第五段階のイニシエーションを受けた方々。進化の大計画の管理者であり、この惑星に入ってくる大計画の成就をもたらすあらゆるエネルギーの管理者である。しばしば単にマスター（覚者）と呼ばれる。

デーヴァ・天使

人類と並行して進化している自然界に属する天使または天人。人間以下のエレメンタルから惑星ロゴスのレベルの超人的存在までいろいろある。人類のメンタル体、感情体、肉体を含む、われわれが見るあらゆる形態をつくる資質を知的に扱う「活動的な建設者」である。

チャクラ

脊椎に関連するエーテル体にあるエネルギーセンター（渦）で、七つの重要な内分泌腺。すべての体（メンタル体、アストラル体、肉体）の調整と活性化、およびそれらと魂、すなわち意識の中核、との相関性を司る。七つの主要なチャクラと四十二の小チャクラがある。

転生（再生誕の法則）

魂が三重のパーソナリティー（肉体人間）として、再生誕の法則の下に顕現すること。神が物質を完全に神の特質の染み込んだものにして自らの元へ戻すために、媒体（われわれ）を通してその反対の極である物質に自らを下降させる過程。進化の過程を通して人間が徐々にもっと如実にその生得の神性を顕示するまで、カル

マの法則がわれわれを転生へと引き寄せる。

## 伝導瞑想

グループ瞑想と奉仕の特殊の形態で、参加者は覚者方の霊ハイアラキーから送られるエネルギーを変換しより低い波動（振動）に変える道具として、そのエネルギーセンター（チャクラ）を提供する。それはこの惑星に人類がより入手可能で有益な「エネルギーの貯蔵庫」を提供する。個人の霊的成長にとっても強力な手段である。

## 統合の大聖（アバター）

意志、愛、知性、さらにわれわれがまだ名前すら付けていないエネルギーを体現している偉大なる宇宙の存在。一九四一年より、これらのエネルギーは世界に送られており、分裂を統合へと徐々に変換させている。

## トライアングル（三角組）

数分間の創造的瞑想のために毎日想念の中で繋がる三人で構成されるグループ。大祈願を広く世界に広め、強力に使用する方法として紹介された。

## 乗り舟（器）

高位の存在が低位の界で表現を見つける手段となる形態。例えば、肉体、アストラル体、メンタル体は低位の界における魂の乗り舟（器）を形成する。

パーソナリティー（肉体人間）  
物質界における魂の三重の乗り舟。メンタル体、情緒（アストラ）体、肉体・エーテル体からなる。

## ハイアラキー

（霊ハイアラキーを参照）。

## バイシス（双魚宮）

過去二千余年、太陽（および太陽系全体）がエネルギー的な整列状態にあり、バイシス星団から注がれるエネルギーが人類の意識に影響を及ぼし文化・文明がつくられた、現在後退しつつあるエネルギー。

## 秘教

人間および低位の自然界の進化の過程についての哲学。古くから蓄積された智慧の科学。宇宙とそこにおける人間の位置のエネルギー構造についての組織的かつ包括的説明を提供する。現象の世界の背後にある力（フォース）と影響力について述べる。またこれらのエネルギー/フォースを自覚し、徐々に征服していく過程。

## 波動

エネルギーの動き。すべてのエネルギーはそれぞれ特定の周波数で振動する。進化の過程は入ってくるより高位のエネルギーに対応して、振動率を上げることで進行する。

## ヒエアロフアント（導師）

イニシエーター。最初の二つの惑星レベルのイニシエーションではキリストが、三段階以上では世界の主（サナット・クマラ）が務める。

## 物質界

物質の最低の波動状態で、濃密な物質、液状物質、ガス状物質そしてエーテル物質を含む。

## 不朽の智慧の教え

世界のあらゆる宗教およびあらゆる科学的、社会的、文化的業績の根底にある古（いにしえ）からの靈的教えの体系。最初に一八〇〇年代後半にヘレナ・ペトロヴァ・ブラヴァツキーによって、そして今世紀になってアリス・A・ベイリー、ヘレナ・レーリツヒ、ベンジャミン・クレームによって、一般に書物を通して入手できるようになった教え。

## 仏陀

白羊宮（エリ阿斯）の時代の最後のアバター。紀元前五〇〇年頃にゴータマ王子を通して顕現された前の世界教師。智慧の体現者。現在彼は、シャンバラとハイアラキーの間の「聖なる仲介者」としての役割を果たしておられる。仏教徒はマイトレーヤ仏（弥勒菩薩）の名前で次の偉大な師の到来を待望している。

## ブツディ

普遍の魂またはマインド（識心）、高位の理性、愛ある理解、愛と智慧。覚者方が経験される愛のエネルギーを指す。

## ブツディ界

聖なる直観の界。

## ブラック・ロツジ

物質性の大主方の司るロツジ、進化の上昇の弧上にある人間から見るとき、闇または悪とも言われる。霊ハイアラキーの覚者方の司るホワイト・ロツジと対照する。



## ブララーヤ

死と再誕生の間はどこかにおける存在の状態であり、非メンタル、非アストラル、非物質状態。そこではいのちの衝動は休止状態の中にある。次の転生に入る前の完全な平安と至福の経験。キリスト教徒の天国の概念に相当する。

## 平和または平衡の霊

彼のエネルギーでマイトレーヤをオーバシャドウすることでマイトレーヤの仕事を助けている宇宙の存在。作用と反作用の法則を扱って働き、現在の混乱した状態を全く同じ度合いでその正反対の状態に変換するエネルギーである。

## マイトレーヤ

アクエリアスの時代の世界教師。キリストであり、われわれの霊ハイアラキーの長である。すべての覚者方の長（マスター）。

## マナス

高位マインド。

## マントラ（言葉）

公式化された言葉または一種の語句の組み合わせで、正しく使われればエネルギーを喚起する。

## 瞑想

自己の魂と接触し、ついには魂と一体になる科学的手段。また霊的印象付けに敏感になり、そうすることで霊ハイアラキーと協力する過程。

## メンタル界

マインドの界であり、メンタルプロセスが起こるところ。アストラル界の上位に

あり、四つの亜界に分かれる。

## メンタル体

メンタル界におけるパーソナリティーの道具。

## メンタル偏極

通常働く意識の座がメンタル界にある（偏極している）ことを指し、進化段階の1.6段階から徐々に始まり<sup>2.5</sup>段階くらいで霊的偏極がはじまるまでを指す。

## モナッド／真我

（真我／モナッドの項を参照）。

## ヨガ

低位の特質と高位の特質の統合。また、肉体、アストラル体、メンタル体のコントロールを習得するための様々な形態と技法。

## 霊（スピリット）

マイトレーヤによって用いられるときには、個人に命（いのち）を与え活性化するあらゆるエネルギー（いのちのフォース）の総体を意味する言葉。もつと秘教的には、魂に反映されるモナッドを意味するのに用いられる。

## 霊性（スピリチュアリテイ）

人間を現在の状態から進歩させ、どのような形であれ・肉体的、情緒的、直観的、社会的・成長へと促す活動の特質。

## 霊的三大祭り

白羊宮（復活祭）、金牛宮（ウエサク祭）、双子宮（キリストの祭り）の満月の日に

は特に強力に神のエネルギー、光と愛と意志のエネルギーが入手可能になる。

豊ハイアラキー（聖白色  
同胞団、啓発されたマイ  
ンドのソサイエティー）  
神の王国、豊の王国、魂の王国。覚者方とあらゆる段階のイニシエートから成り、その目的は神の大計画を実施すること。惑星上の愛と智慧のセンター（中心）。

ロゴス

神。惑星（惑星のロゴス）、太陽系（太陽のロゴス）、銀河系（銀河系のロゴス）など無限にあるものにいのちを吹き込む（魂を入れる）宇宙の存在。

惑星のロゴス

惑星に魂（いのち）を吹き込む神聖な存在。

# ベンジャミン・クレームの著書

シェア・ジャパン出版

## マイトレーヤ かくしがた こうりん 世界大師と覚者方の降臨

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

ベンジャミン・クレームはこの最初の著書で、いま明けようとしている新しい時代の世界大師マイトレーヤ（キリスト）の出現に関する背景と関連情報を提供している。あらゆる宗教グループによって様々な名称で待望されてきたマイトレーヤは、われわれが多くのイデオロギー派閥の間で協力を創造するのを助け、世界の善意と分かち合いを喚起し、広い範囲にわたる政治、社会、経済、環境面の改革を鼓舞するためにやってこられる。ベンジャミン・クレームは、過去2000年間で最も深遠な出来事をその正しい歴史的、秘教的な文脈の中でとらえ、世界大師の存在が世界の諸々の制度機構および平均的な人の両方に対してどのような影響を与えるかを描写している。クレームは智慧の覚者とのテレパシーによる接触を通して、魂と輪廻転生、死の恐怖、テレパシー、瞑想、核エネルギー、古代の文明、UFO、開発途上国世界の問題、新経済秩序、反キリスト、“最後の審判” などについて洞察を提供している。

初版1979年、改訂版1998年 B6判 / 378頁

## マイトレーヤからのメッセージ いのちの水を運ぶ者

ベンジャミン・クレーム伝 / 石川道子訳

マイトレーヤは御自身の出現に向けた準備期に、1977年から1982年まで、ロンドンでのベンジャミン・クレームの公開講演会のときに、彼を通して140信のメッセージを伝えた。使用された方法はメンタル・オーバーシャドウと、それによって確立されたテレパシー（思念伝達）であった。

分かち合い、協力、和合を訴えるマイトレーヤのメッセージは、読者に対して、彼の再臨のニュースを広め、そして豊かな世界で貧困や飢餓のために苦しんでいる何百万もの人々の救済に緊急に取り組むことを鼓舞する。マイトレーヤはメッセージ第11信で次のように述べている。

「あなたがたを取り巻く問題を切り抜ける道は、あなたがたの心の裡なる神の

まことの声に再び声を傾けることであり、この世の豊かな産物を世界中すべての兄弟姉妹たちと分かち合うことである。これをあなたがたに示すことがわたしの計画である……」

マイトレーヤの言は、世界が変化するこの重大な時期において、<sup>こよば</sup>智恵、希望、救済の独特な源泉となっており、こうした深遠だが単純なメッセージは、声に出して読むとき、彼のエネルギーと祝福を喚起する。

改定初版1999年、B6判 / 448頁

## 伝導瞑想 21世紀のヨガ

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

伝導瞑想は、豊いエネルギーを“ステップ・ダウン”(変換)することを目的としたグループ瞑想の一形態である。このようにしてそのエネルギーは、一般の人々にとって利用しやすく有益なものとなる。伝導瞑想は、覚者方のハイアラキーと協力しながら、人類の利益のために高度なエネルギーの渦もしくは貯蔵池を創造することである。

覚者の指導のもとにベンジャミン・クレームによって1974年に紹介されたこの瞑想は、簡単にできる奉仕の一形態であると同時に、強力な個人的成長の手段ともなっている。この瞑想は二つのヨガ、カルマ・ヨガ(奉仕のヨガ)とラヤ・ヨガ(エネルギーまたはチャクラのヨガ)を組み合わせたものである。それは、「新しい時代」に入るにあたって、そしてその先もずっと、人類の進化を助けているという知識のうちに、生涯にわたって関与することのできる奉仕である。世界中の多くの国で何百という伝導瞑想グループが活動している。

ベンジャミン・クレームはこの実際の啓発的な著書の中で、弟子の発達に向けた瞑想の根底にある目的のほか、伝導瞑想の目標、テクニック、結果も描写している。

改定三版1997年、A5判 / 248頁

## 叡知の種 覚者は語る

ベンジャミン・クレーム伝 / 石川道子訳

人類は舞台の背後から、高度に進化した光明ある一団によって導かれている。これらは智恵の覚者方と呼ばれ、進化の旅路をわれわれよりも先に歩まれた方々である。めったに公に世界に姿を現すことはなく、通常、弟子たち 科学、教育、芸術、宗教、政治など人生のあらゆる部門で活躍し社会に影響力を及ぼす男女 を通して働く。

英国の画家ベンジャミン・クレームはある覚者の弟子であり、テレパシーによって密接に連絡を取り合っている。クレームの師である覚者は、クレームが編集長を務める『シェア・インターナショナル』誌に、その創刊号(1982年)以来、人々を奮起させるような記事を毎号寄稿してこられた。その記事は、理性と直観、新しい文明、健康と治療、生きる<sup>じぶ</sup>技、統合の必要、正義は神聖なり、人の子、人権、再生誕の法則、飢餓の終わり、平和のための分かち合い、民衆のパワーの盛り上がり、最も輝かしい未来、協力など、幅広い主題に及んでいる。

これらの記事の主要な目的は、現在および間近な将来の必要について人々の注目を引くこと、さらにすべての覚者方の長であるマイトレーヤの教えについての情報を提供することである。本書には『シェア・インターナショナル』誌の創刊以来22年間にわたる223の記事すべてが収録されている。

初版2004年、B6判 / 640頁

## マイトレーヤの使命 第1巻

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

世界大師マイトレーヤの出現と教えについて説明した三部作の最初の作品である。人間の意識が着実に成熟するにつれて、今や古代の「神秘」の多くが明かされようとしている。本書は、進化の旅路を歩む人類にとっての手引書と見なすことができる。キリストの新しい教えから瞑想やカルマに至るまで、死後の生命と輪廻転生から治療や社会変革、イニシエーションと奉仕の役割から七種光線、そしてレオナルド・ダ・ヴィンチやモーツァルトからサティア・サイババに至るまで、この本が網羅する範囲は広大である。本書は世界大師マイトレーヤの仕事のために、そしてすべての者にとっての新しいより良い生活の創

造のために、背景状況を説明して道を整えている。本書は力強い希望のメッセージである。

再改訂版1998年、A5判 / 432頁

## マイトレーヤの使命 第2巻

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

心を鼓舞し温めてくれるこの本は、黄金時代の入口にあって苦悩している世界に新たな希望と手引きを提供している。本書は世界大師マイトレーヤの教えを、外的な実際のレベルと内的な霊的レベルの両方において提示している。世界の出来事についての比類なく正確な予報は国際的なメディアを驚嘆させ、奇跡的な顕現は何千もの人々に希望とインスピレーションをもたらしている。本書はベンジャミン・クレームの覚者との一連の独特なインタビューも収録しており、それは人類が直面する最大の問題のいくつかに光を当てるものである。

本書はとてつもなく広い範囲を網羅している。マイトレーヤの教え、意識の成長、新しい統治形態、商業至上主義と市場のフォース、分かち合いの原則、新しい時代、壁のない学校、光のテクノロジー、ミステリーサークル、真我、テレパシー、病氣と死、エネルギーと思考、伝導瞑想、魂の目的などである。また、「恐怖心の克服」や「奉仕への呼びかけ」に関するベンジャミン・クレームの啓発的な講話の内容を編集したものも含まれている。

改訂版1998年、A5判 / 768頁

## マイトレーヤの使命 第3巻

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

ベンジャミン・クレームは心踊るような未来のビジョンを提供する。世界大師マイトレーヤとその弟子たち、つまり智慧の覚者方が公に導きを与えてくれるため、人類はその神聖な潜在能力に値するような文明を創造するだろう。平和が確立され、世界の資源の分かち合いが普通のことになり、環境を維持することが最優先事項になるだろう。新しい教育は魂の事実と意識の進化について教えるだろう。世界の都市は偉大な美のセンターへと変容するだろう。

この本は広範囲な話題に関してこうした貴重な智慧を提供する。それには将来に向けたマイトレーヤの最優先事項や、「21世紀の挑戦」についての智慧の覚

者とのインタビューも含まれている。カルマと輪廻転生、人類の起源、瞑想と奉仕、進化の大計画、不朽の智恵の教えの基本的な概念などが本書で探求されている。画家でもあるベンジャミン・クレームがレオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、レンブラントといった10人の巨匠を、秘教的で霊的な観点から評論する興味深い講話の内容が収録されている。

本書は『マイトレーヤの使命』シリーズの最初の二冊のように、深遠な霊的真理と、今日最も頭の痛い問題に対する実際的な解決策とを組み合わせている。本書はまさしく、「この世界がかつて見たこともないような文明の創造を始める」用意の出来た人類にとって、希望のメッセージとなっている。

初版1997年、A5判 / 704頁

## 大いなる接近 人類史上最大の出来事

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

この予言的な書は、われわれの混沌とした世界の問題に焦点を当て、世界大師マイトレーヤと一緒に9万8,000年ぶりに世界に公に戻って来ようとしている完璧なる方々の一団、つまり智恵の覚者方の影響のもとで徐々に変化していく世界を描いている。

本書が網羅している話題には、困惑のアメリカ、民族紛争、犯罪と暴力、環境と汚染、遺伝子工学、科学と宗教、光の特性、健康と治療、教育、奇跡、魂と転生などがある。この書は途方もない智恵の統合であり、未来にサーチライトを投射して、明確なビジョンをもって、われわれが達成する最高の業績と、前方に横たわる驚嘆すべき科学的発見を明らかにする。戦争は過去のものとなり、すべての人間の必要が満たされる世界がわれわれに示されている。

初版2001年、B6判 / 448頁

## 協力の術<sup>すべ</sup>

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

本書は現代の最も切迫した問題と、不朽の智恵の教えの観点から見たその問題の解決策について論じている。この教えは数千年もの間、外的世界の根底にあるフォース（エネルギー）を明らかにしてきた。ベンジャミン・クレームはこうした教えを現代へとよみがえらせ、世界大師マイトレーヤと智恵の覚者方の



一団の間近に迫った出現のために道を整えている。マイトレーヤはこのますます高まっている認識をわれわれの中に鼓舞しようとされるだろう。

本書は、大昔からの競争の中にがんじがらめになり、古くて役に立たない方法でそれらの問題を解決しようとしている世界を見る。問題解決の答え 協力 は、われわれの手の中にある。すべての生命の根底にある和合の大切さをますます認識することを通して、正義と自由と平和の世界への道を示す。

本書で扱う話題には、協力の必要性、アメリカ合衆国と競争、有機体と組織体、奉仕の機会、失うことへの恐れ、カルマ、愛、勇気と無執着、グラマーの克服、覚者方の教え方、多様性の中の和合、合意、信頼などが含まれる。

初版2002年、B6判 / 358頁

## いのちの法則（マイトレーヤの教え）

ベンジャミン・クレーム監修 / 石川道子訳

かつての世界大師の教えは、その存在がある程度知られるようになる以前に与えられたものについてはその断片すらも伝わっていない。キリスト、仏陀、クリシュナの教えは、のちの信奉者の目から見たものしか伝わっていない。計り知れないほど高位の存在者の見解や洞察の一端が伝えられたのは今回が初めてであり、われわれは前途に広がる進化の旅路を理解できるようになった。世界大師はそのような旅路の概略を描くためにやってこられた。大師から受ける印象は、その知識と認識の広がりや深さには限りがないということ、大師は想像を絶するほど寛容で賢明であるということ、そして驚くほど謙虚であるということである。

本書を読んで内奥の変化を経験しない人はいないであろう。世界の事象に対する途方もなく透徹した洞察に大きな関心を抱く人もいるだろうし、自己実現の秘訣の明示、体得された真理についての簡潔な描写に啓示を受ける人もいるだろう。いのちの法則を理解することを願うすべての人にとって、こうした精妙で含蓄の深い洞察によって、読者はいのちの本源へと導かれ、山の頂きへと伸び広がる単純な道を示される。すべての生命の本質的な一体性が明瞭で味わいのある方法で強調されている。われわれの生活を支配する法則がこれほどまで自然で伸びやかに見えたことは、これまで一度もなかったように思われる。

初版2005年、B6判 / 400頁

## 生きる<sup>すべ</sup>術

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

二人の智慧の覚者方、つまりジュワル・クール覚者と、とりわけベンジャミン・クレーム自身の師である覚者の著作に刺激を受けて、本書の第一部は、絵画や音楽のような芸術の一形態として「生きる」という経験が考察されている。高度な表現レベルに達するには、特定の基本的原則についての知識と遵守が必要とされる。生きるという<sup>アート</sup>芸術（術）においては、原因と結果の大法則とそれに関連した再生誕の法則を理解してこそ、われわれは他者に害を与えない落ち着いた生活を実現し、それが個人的な幸せや、正しい人間関係、すべての人間にとっての、進化の旅路における正しい道へとつながっていく。

第二部「相対立する二極」と第三部「イリュージョン（錯覚）」では、人間が自分の内面においても外的な生活においても、限りなく続くように思われる苦闘を経験するのは、人間が進化計画の中で独特な位置 霊と物質が出合う地点 にあるからだとして示唆される。イリュージョンの霧を脱出して、自分自身の二つの様相を一つの完全なる全体へと統合させる手段は、ますます無執着になり客観的な自己認識を高めながら、人生そのものを生きることにある。

初版2006年、B6判 / 352頁

## 全人類のための世界教師

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

世界教師マイトレーヤは、完全に公に仕事をするために出現する用意を整えて構えておられる。本書はこの極めて重大な出来事の背景の全体像を提供する

1977年7月にマイオレーヤがヒマラヤの隠遁値から降臨され、人間の日常生活に戻られたことと彼のグループの覚者方の出現；マイトレーヤの臨在がもたらした途方もない変化；間近い将来における彼の計画、優先事項、勧告。さらに巨大な宇宙のアバターとして、計り知れない愛と智慧と力（パワー）を備え、同時に人類の友であり兄として、全人類を新しい時代のために導いていかれるために降臨されたマイトレーヤについて、クレームの師である覚者が書かれた一連の記事を中心に詳しく検討する。

初版2007年、B6判 / 224頁

心の扉シリーズ

## 不安感 一挙に乗り越え自在心

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

本書は、人間の感情の中で最も深く破壊的な抑圧的な感情である恐怖心をいかにして克服するか、それを一挙に乗り越える方法があるのか、恐怖や不安から解放されて自在に生きることが可能なのかなどについて、非常に分かりやすく説いている。『マイトレーヤの使命 第二巻』に掲載された「恐怖心の克服」の記事のみを引き出し、単行本の形で出版されている。

初版2000年、B6判 / 142頁

心の扉シリーズ

## 私は誰か 不朽（ふきゅう）の智恵の教えに学ぶ

ベンジャミン・クレーム著 / 石川道子訳

人類の霊的遺産についての概観を示し、不朽の智恵の教えへの明快な理解しやすい紹介である。ベンジャミン・クレームとのインタビュー形式で秘教の基本的な概念を説明する 教えの源、世界大師（教師）の出現、再生誕と輪廻転生、原因と結果の法則、進化の大計画、人間の起源、瞑想と奉仕などを含む。『マイトレーヤの使命 第三巻』にある「不朽の智恵の教え」の記事を単行本の形で出版している。

初版2000年、B6判 / 162頁

## 参考文献

アリス・ベイリー著

“ Externalisation of the Hierarchy [ハイアラキーの外的顕現] ”

Alice A. Bailey, Lucis Publishing Company, New York

日本語訳『ハイラーキーの出現』AAAライブラリー

アリス・ベイリー著

“ The Reappearance of the Christ [キリストの再臨] ”

Alice A. Bailey, Lucis Publishing Company, New York

日本語訳(シェア・ジャパン出版へお問い合わせください)

アリス・ベイリー著

“ The Rays and the Initiation [光線とイニシエーション] ”

Alice A. Bailey, Lucis Publishing Company, New York

日本語訳なし

## 月刊「シェア・インターナショナル」

シェア・インターナショナル誌は新しい時代の思考の二つの主な方向  
政治的と霊的を統合する。現在、世界的規模で起こっている政治的、社会的、経済的、霊的な変化の底に横たわる統合を示し、この世界をより正しい、慈悲深い線にそって再建するための実際的な行動を刺激することを意図する。

世界教師マイトレーヤの提示する優先順位 適切な食糧の供給、すべての者のための適切な住居、普遍的権利としての健康管理と教育、世界の生態均衡の維持 に関係するニュース、出来事、コメントを網羅する。

『シェア・インターナショナル』誌の特徴的記事は、ハイアラキーの覚者からの寄稿、新しい時代の世界教師としてのマイトレーヤの出現についての最新情報、秘教の教えの拡大、世界における政治、経済、環境、霊的变化に関するマイトレーヤの教えや洞察、世界の変容についての肯定的な展開のニュース、ベンジャミン・クレームによる読者質問欄、世界中の読者からの通信欄「編集長への手紙」などを含む。

発行 シェア・ジャパン

年間購読料：7000円（送料込み）

申込先：郵便振替 00880-2-75597

口座名「シェア・インターナショナル」

問い合わせ先：電話 / FAX 042-799-2915

#### 著者について

##### ベンジャミン・クレーム

スコットランド生まれの画家で秘教学徒のベンジャミン・クレームは、過去30年間にわたり人類史上最大の出来事に対して世界の準備を整えるために活動してきた。

彼の師である覚者の訓練監督のもとで、1974年から公の活動を始めて以来、世界中のテレビ、ラジオ、ドキュメンタリーに出演するとともに、世界各地で幅広くこの希望のニュースを伝える講演を行ってきた。本書を含む彼の13冊の著書は多くの言語に翻訳発行されている。世界70余カ国に購読者をもつ国際月刊誌『シェア・インターナショナル』の編集長でもある。

#### 訳者について

##### 石川道子(いしかわ みちこ)

東京に生まれる。最終学歴はアメリカのエール大学大学院修士号 国際政治学、特に第三世界開発問題の研究。後に、アメリカで新しい教育形態の実験的プログラムの開発および運営に従事する。1981年以来、ベンジャミン・クレームの共働者の一人として日米を中心に世界のネットワークの中で奉仕活動を続けている。クレームの著書を中心に編集、翻訳、出版の活動、さらに国際月刊誌『シェア・インターナショナル』日本語版の監修責任、他を務めている。

## 人類の目覚め

2008年5月1日 第1刷発行

定価：本体1300円+税

著者	ベンジャミン・クレーム
訳者	石川道子
発行者	石川道子
発行所	有限会社シェア・ジャパン出版 〒164-0003 東京都中野区東中野1丁目10-8-304 電話 / ファクス 042-799-0275 振替 00100-8-150964
印刷所	ヨツハシ株式会社

© 2008 Benjamin Creme  
ISBN978-4-916108-17-3 C0014 ¥1300E

表紙の絵はベンジャミン・クレームの油絵の複製であり、  
「炎の色のデーヴァ」(一九七六～七七年作)と題される。